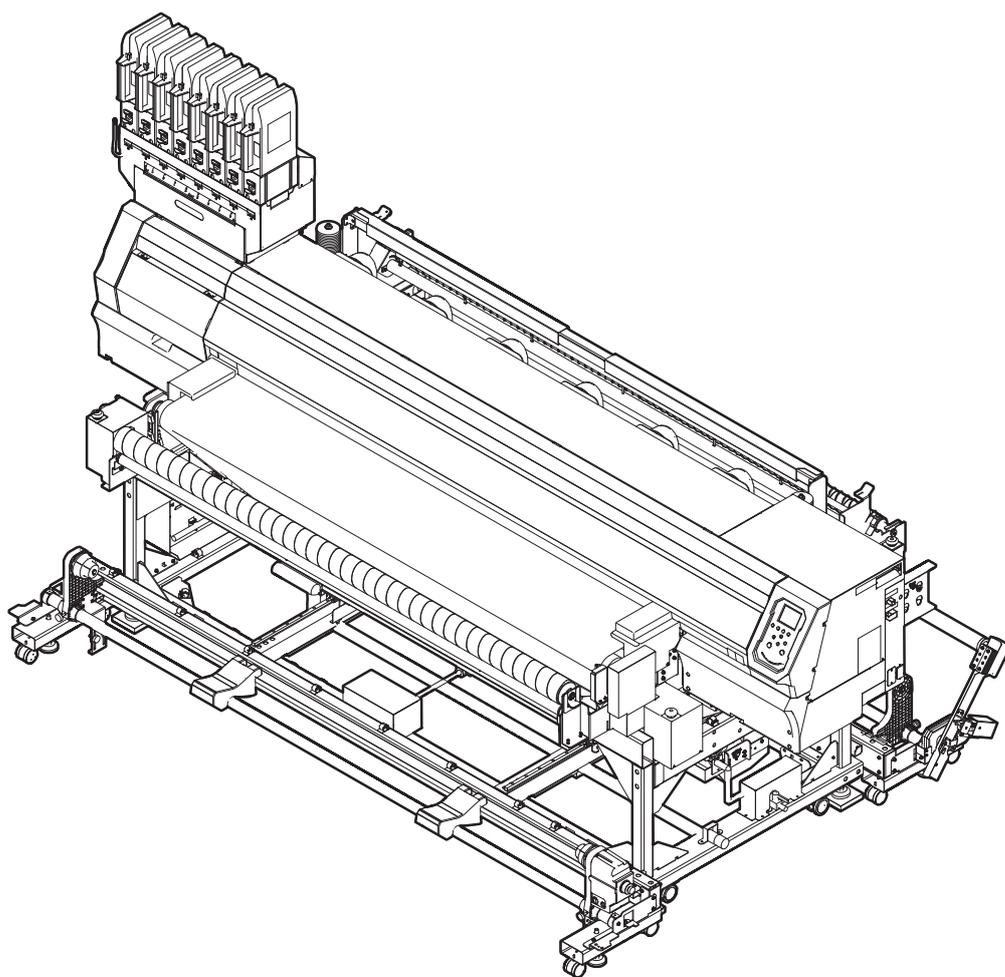


カラーインクジェットプリンタ

TX300P-1800B

取扱説明書



取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

目次

ご注意	v
ご注意	v
おねがい	v
電波障害自主規制	v
テレビ/ラジオの受信障害について	v
はじめに	v
使用できるインクについて	v
取扱説明書について	v
安全にお使いいただくために	vi
マーク表示について	vi
安全インターロックについて	viii
非常停止スイッチについて	ix
警告ラベルについて	x

第1章 ご使用の前に

本機の移動	1-2
設置場所について	1-2
使用環境温度について	1-2
本機の移動	1-2
各部の名称とはたらきについて	1-4
装置前面	1-4
装置背面/側面	1-5
操作パネル	1-6
キャリッジ	1-8
キャッピングステーション	1-8
ケーブルを接続する	1-8
USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する	1-8
LAN ケーブルを接続する	1-9
電源ケーブルを接続する	1-10
インクをセットする	1-10
インクパック取り扱い上のご注意	1-13
メディアについて	1-14
使用可能メディアサイズ	1-14
メディア取り扱い上の注意	1-14
使用制限のあるメディアについて	1-15
メニューモードについて	1-16

第2章 基本的な使い方

作業の流れ	2-2
電源を入れる/切る	2-3
電源を入れる	2-3
電源を切る	2-3

メディアをセットする	2-4
線出 / 巻取ユニットの設定	2-4
ヘッド高さを調整する	2-5
作図幅	2-6
布巻ローラーを取り付ける	2-6
テンションバーを使ってロールメディアをセットする	2-7
テンションバーを使わずにロールメディアをセットする	2-12
引き剥がしを使いメディアをセットする	2-14
引き剥がしを使わずにメディアをセットする	2-14
線出 / 巻取装置について	2-17
原点を変更する場合は	2-20
加圧ローラーのウェイト調整	2-20
引き剥がしセンサの位置調整	2-21
湾曲バーを使ってメディアのたるみを取る	2-21
シワ取りローラーの取り外しとコマ入れ替え	2-22
テストプリントをする	2-24
テストプリントを行う	2-24
メディアの送りを設定する	2-25
メディア送り補正の流れ	2-25
ヘッドクリーニング	2-26
ヘッドクリーニングについて	2-26
テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニングを行う	2-26
フィード補正の設定	2-26
フィード補正の設定	2-26
ドットの位置がずれたら	2-27
データをプリントする	2-27
プリントを開始する	2-27
プリントを中止する	2-28
受信したデータを消去する (データクリア)	2-28
プリント完了後の動作	2-28
メディアのムダを減らす	2-28

第3章 セットアップ

設定メニューについて	3-2
設定メニュー一覧表	3-3
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する	3-4
フィード補正の設定	3-5
ドットの位置がずれたら	3-6
ロジカルシークの設定	3-7
重ね塗りの設定	3-7
乾燥時間の設定	3-8
フィード速度の設定	3-8
MAPS4 の設定	3-8
オートクリーニングの設定	3-10
定期ワイピングの設定	3-11
外部ヒーターの設定	3-11
メディア送り量を変更して画質を向上させる (ベルト補正)	3-11
ベルト洗浄の設定	3-11
メンテナンス目安時期を設定する (カウンターリミット)	3-12

マシン設定メニューについて	3-13
マシン設定メニュー一覧表	3-14
オートパワーオフの設定	3-15
トップブロウの設定	3-15
メディア残量表示の設定	3-16
PG 着弾調整の設定	3-16
メディア検出の設定	3-16
乾燥フィードの設定	3-17
言語の設定	3-17
時刻の設定	3-17
単位 (温度 / 長さ) の設定	3-17
キープザーの設定	3-18
確認フィードの設定	3-18
余白フィード方式の設定	3-18
ネットワークの設定	3-19
イベントメール機能の設定	3-20
設定した内容を初期状態に戻す	3-23
ノズルチェックメニューについて	3-24
ノズルチェックメニュー一覧表	3-24
印刷中ノズルチェックの流れ	3-25
「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生時の印刷動作	3-25
印刷中ノズルチェックの設定	3-26
自動ノズルリカバリの設定	3-26
判定条件の設定	3-26
情報メニューについて	3-27
情報メニュー一覧表	3-27
情報を表示させる	3-28

第4章 お手入れ

日常のお手入れ	4-2
お手入れ上のご注意	4-2
メンテナンス液について	4-2
外装のお手入れ	4-2
引き剥がしローラーの清掃	4-2
ベルト補正ユニットの清掃	4-3
メンテナンスメニューについて	4-4
メンテナンスメニュー一覧表	4-5
キャッピングステーションのメンテナンス	4-6
ワイパーとキャップの清掃	4-6
ヘッドノズルの洗浄	4-7
インク排出路の洗浄	4-9
長期間使用しない場合	4-10
ヘッド周辺の清掃	4-13
ノズルリカバリ機能	4-14
設定値をリセットする	4-15
リカバリできない条件を確認する	4-15
テストプリント時にノズルリカバリを有効にするか設定する	4-16
オートメンテナンス機能	4-16
リフレッシュ間隔を設定する	4-16
チューブ洗浄間隔を設定する	4-17
クリーニング間隔とタイプを設定する	4-17
ノズル洗浄を中断する	4-17

インク充填	4-18
消耗品の交換	4-18
ワイパーを交換する	4-18
廃インクタンク確認メッセージが表示されたら	4-19
廃インクタンクを交換する	4-19
洗浄水を交換する	4-20
洗浄ユニットのメンテナンス	4-21
ベルト洗浄ユニットの清掃	4-21
吸水ローラーのクリーニング	4-22
地張り剤の塗り替え	4-24
地張り剤を剥がす	4-24
地張り剤を塗る	4-26
洗浄トレイとブラシの清掃	4-28
搬送ベルトのクリーニング	4-29
引き剥がしセンサのクリーニング	4-30
カウンターのリセット	4-30

第5章 困ったときは

故障かな？と思う前に	5-2
電源が入らない	5-2
プリントできない	5-2
メディア詰まり / メディアが汚れる	5-2
画質不良が発生したときは	5-3
ノズル詰まりを解消したいとき	5-3
インク IC 異常が発生したら	5-3
インク漏れが発生したら	5-3
メッセージを表示するトラブル	5-4
ワーニングメッセージ	5-4
エラーメッセージ	5-8

第6章 付録

仕様	6-2
本体仕様	6-2
インク仕様	6-3
インク種によるセットの違いについて	6-4
インクカートリッジのセット順	6-4
お問い合わせシート	6-5

ご注意

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本機の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。

また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

一例として、本機を使用したメディア等の損失や、作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。

本機を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。

電波障害自主規制

本機は、クラス A 情報技術装置です。本機を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

テレビ/ラジオの受信障害について

本機は、使用時に高周波が発生します。このため、本機が不適切な条件下で設置または使用した場合、ラジオやテレビの受信障害を発生する可能性があります。従って特殊なラジオ/テレビに対しては保証しておりません。

本機がラジオ/テレビ受信の障害原因と思われましたら、本機の電源を切り、ご確認ください。電源を切り受信障害が解消すれば、本機が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせでお試してください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

はじめに

この度は、カラー インクジェットプリンタ Tx300P-1800B をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。Tx300P-1800B は、1.9m 幅のメディアに昇華転写インク（4 色 / 6 色 / 8 色）でプリントする、高画質に対応したカラーインクジェットプリンタです。

使用できるインクについて

本機で使用できるインクは、昇華転写インク・分散染料インク・捺染顔料インク・酸性染料インク・反応染料インクになります。

- 重要!** ・使用できるインクについて、詳しくは P.6-3 「インク仕様」および P.6-4 「インクカートリッジのセット順」をご参照ください。

取扱説明書について

- 本書は、「カラーインクジェットプリンタ Tx300P-1800B」（以後本機と称します）の操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明いたします。
- 本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。
- 本書は、本機をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- 本書は、内容について十分注意して作成していますが、万一不審な点がありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- 本書が焼失／破損などの理由により読めなくなった場合は、新しい取扱説明書を弊社営業所にてお買い求めください。
- 取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。
© 株式会社ミマキエンジニアリング
All Rights Reserved. Copyright

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味をご理解し、本機を安全に正しくお使いください。

マーク表示の例

内 容	
	「警告」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
	「注意」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	「重要」マークは、本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。操作の参考にしてください。
	「ヒント」マークは、知っておくと便利なお知らせが書かれています。操作の参考にしてください。
	関連した内容の参照ページを示しています。
	△マークは、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

使用上の警告と注意

警告	
	<ul style="list-style-type: none"> 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外の電源コードセットは、本機には使用しないでください。火災や感電の原因になります。 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。

警告



・湿気の多い場所での使用は避けてください。また、本機に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。



・万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対に行わないでください。

・万一、金属、水、液体などの異物が本機内部に入ったときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

・インク漏れが発生した場合は、主電源スイッチをオフにして電源プラグを抜いてから、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

・地張り剤の塗り替え作業時は火気厳禁とし、周囲にある装置（ヒーター等）の電源は、必ずOFFにしてください。また、換気を必ず行ってください。



・本機やインクパックの分解・改造は、絶対にしないでください。感電や故障の原因になります。

・延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になります。

・電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。

・タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。

・電源コードが傷んだり、芯線の露出・断線などが見られるときはサービス実施店に交換を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

・電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

・表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になります。

・表示された電源周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

・危険な可動部に、指や体の他の部分を近づけないでください。

・本機を移動する場合は、最寄のサービス店にご相談ください。

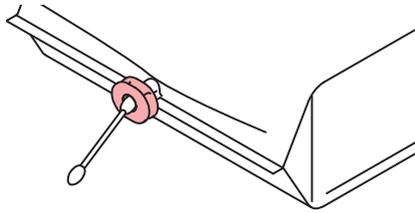


・本機の近くまたは内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。引火による火災や感電の原因になります。

・本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因になります。

使用上のご注意

 注意	
電源供給について	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレーカーは常時 ON にしておいてください。 ・側面にある主電源スイッチは OFF にしないでください。
電源ケーブルについて	
	<ul style="list-style-type: none"> ・極性付きのコンセントに接続してください。 ・必ず本機の近くにある電源コンセントに接続し、容易に取り外しができるようにしてください。 ・電源プラグは年に 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ホコリがたまると、火災の原因になります。
メンテナンス上の注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ・インクステーションやヘッドを清掃する際は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。 ・インク、メンテナンス液を取り扱う場合は、換気に十分注意して、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。 ・手袋は消耗品です。付属の手袋がなくなりましたら市販品をご使用ください。
	
本体の取り扱い上の注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ・換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用しないでください。 ・使用の際には十分な換気を行ってください。 ・湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。 ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。 ・メディアを交換するときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。 ・本機内部の掃除をサービス実施店に相談してください。本機内部にホコリがたまったら長い間掃除をしないと、火災や故障の原因になります。なお、本機内部の掃除費用については販売店またはサービス実施店に相談してください。
インクパックの取り扱いについて	
	<ul style="list-style-type: none"> ・インクは火気のない所で換気しながらお使いください。 ・万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。また、できるだけ早く医師の診察を受けてください。 ・インク、メンテナンス液の取り扱い前に必ず安全データシート (SDS) をお読みください。 ・誤ってインクを飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲み込ませないでください。その後、(財)日本中毒情報センター 中毒 110 番に連絡してください。 大阪: 072-727-2499 つくば: 029-852-9999 ・蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かくして呼吸しやすい姿勢で安静にしてください。また、直ちに医師の診断を受けてください。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ・インクが皮膚に付着した場合は、大量の水および石鹸または皮膚用洗剤を使用して十分に洗い落としてください。 ・インクパックは子供の手の届かない所に保管してください。 ・インクスロットを長時間空いたままにしないでください。スロット部分が乾燥し、装置内でインクが固まるなど、インク供給ができなくなることがあります。 ・インクスロットにインクパックがセットされていないと、プリンタのディスプレイにインクパックのセットを促すエラーメッセージが表示されます。前に使用していたインクと同色のインクパックをセットしてください。 ・使いかけのインクパックを台座から取り外したときは、綿棒などを使用してインクパックのコネクタ部内側に付着しているインクを拭き取ってください。コネクタ部内側のインクが乾燥すると、再使用するときにインク漏れの原因となります。
	
	<ul style="list-style-type: none"> ・エコケースを台座から取り外すときは、保護メガネ等を着用してください。インクが飛んで目に入る可能性があります。

ご注意とお願い

 警告	
インクパックの取り扱い	
<ul style="list-style-type: none"> ・当社推奨インクにより安全性を評価しています。安全にご使用いただくため、当社推奨インクをご使用ください。 ・インクパック内のインクを詰め替えないでください。詰め替えたインクを使用して生じた不具合について、弊社は一切の責任を負いかねます。 ・インクパックを寒い所から暖かい所に移した場合は、3 時間以上室温環境下に放置してから使用してください。 ・インクパックは、取り付け直前に開封してください。開封した状態で長時間放置しておく、正常にプリントできない場合があります。 ・インクパックは、冷暗所で保存してください。 ・インクパックや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。 ・インクパックを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。インクパックからインクが漏れる場合があります。 ・インクパックは、開封してから 3 カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、プリント品質が低下します。 	

警告

- 不要になったインクパック・廃インクは、販売店またはサービス実施店へお渡しください。なお、お客様自身で廃棄処理される場合は、産業廃棄物処理業者または各国の地域の条例に従って処理してください。
- ベルト洗浄水は、産業廃棄物処理業者に処理を依頼するか、各国の地域の条例に従って処理してください。

メディアの取り扱い

- 推奨メディアをご使用ください。
安定した高画質でプリントするには、弊社推奨のメディアをご使用ください。
- メディアの伸縮にご注意ください。
包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。包装を開けて、使用する場所で30分以上さらしてから装置に取り付けてください。
- カールしたメディアは使用しないでください。
メディア詰まりの原因になるだけでなく、画質にも影響を及ぼします。
また、カールのきついメディアは、カールを取り除いてから使用してください。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。

メディアとホコリについて

- メディアは袋に入れて保管してください。メディアに付着したホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になります。
- 夜帰宅する際は、メディアをロールハンガーに掛けっぱなしにしないでください。メディアの上にホコリが付着してしまいます。

定期交換部品について

- 本機は、定期的いくつかの部品を交換する必要があります。弊社サービスまたはお買い上げの販売店とアフターサービスの契約を行い、末永く安全に本機をご使用になることをお勧めします。

本機の廃棄について

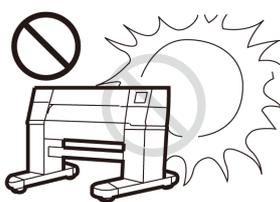
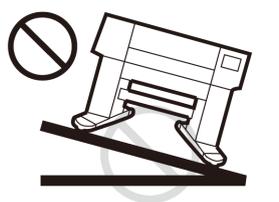
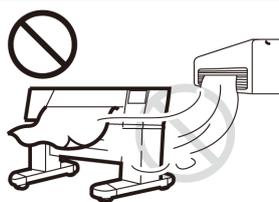
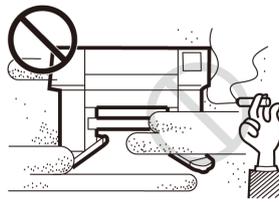
- 本機を廃棄するときは、お買い上げの販売店が弊社サービスにご相談ください。なお、お客様自身で廃棄処理される場合は、産業廃棄物処理業者または各国の地域の条例に従って処理してください。

メンテナンス上の注意

- 本機は、ホコリの少ない部屋で使用することをお勧めします。
- プリントをしていないときは、フロントカバーを閉じておいてください。開けたままにしておくと、ヘッドやノズルにホコリが付着し、プリント中にインク滴が突然メディアに落ちる場合があります。
このような場合は、ヘッドの清掃をしてください。
- インクステーションやヘッドを清掃するときは、必ず付属の手袋と保護メガネを装着してください。
- 本機の状態を良好に保つため、ワイパーとキャップの清掃をこまめに行い、ホコリや紙粉を取り除いてください。

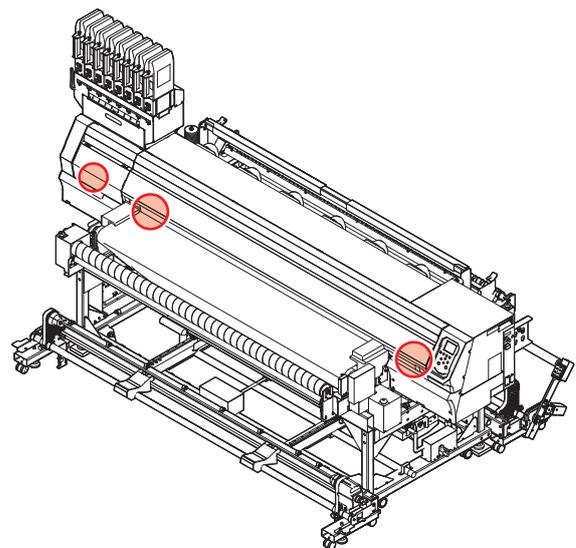
設置上のご注意

注意

直射日光が当たる場所	水平でない場所
	
振動が発生する場所	エアコンなどの風が直接当たる場所
	
温度や湿度の変化が激しい場所	火を使う場所
 <ul style="list-style-type: none"> 次の環境下でお使いください。 使用環境： 20～30℃ (68～86°F) 35～65% (Rh) 	

安全インターロックについて

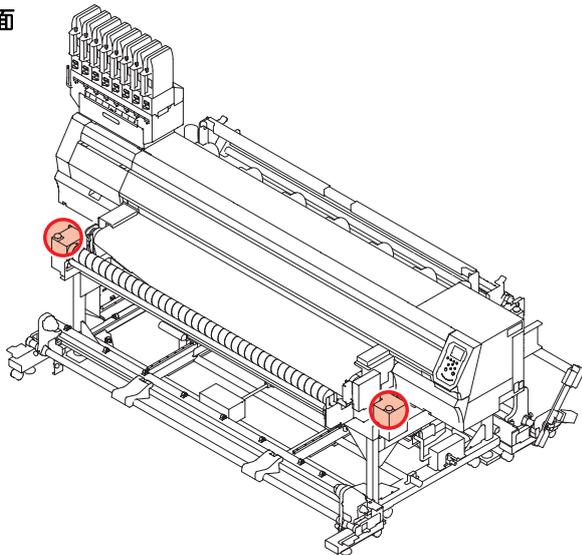
本機は安全のため、プリント中などにカバーが開いた場合に動作を中断させるためのインターロックが付いています。(下図の赤丸部分)



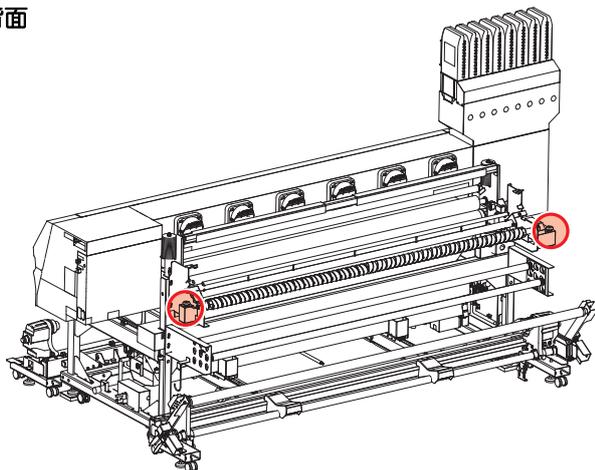
非常停止スイッチについて

安全上の理由で、本機を緊急停止したいときに押します。非常停止スイッチは、装置前面に2箇所、背面に2箇所あります。

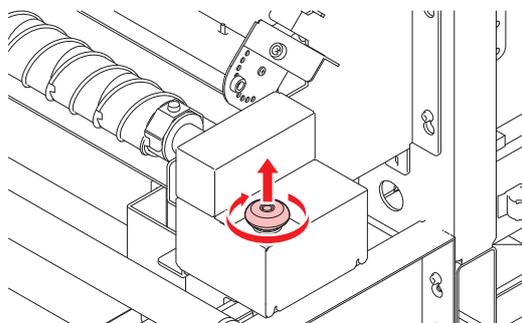
前面



背面



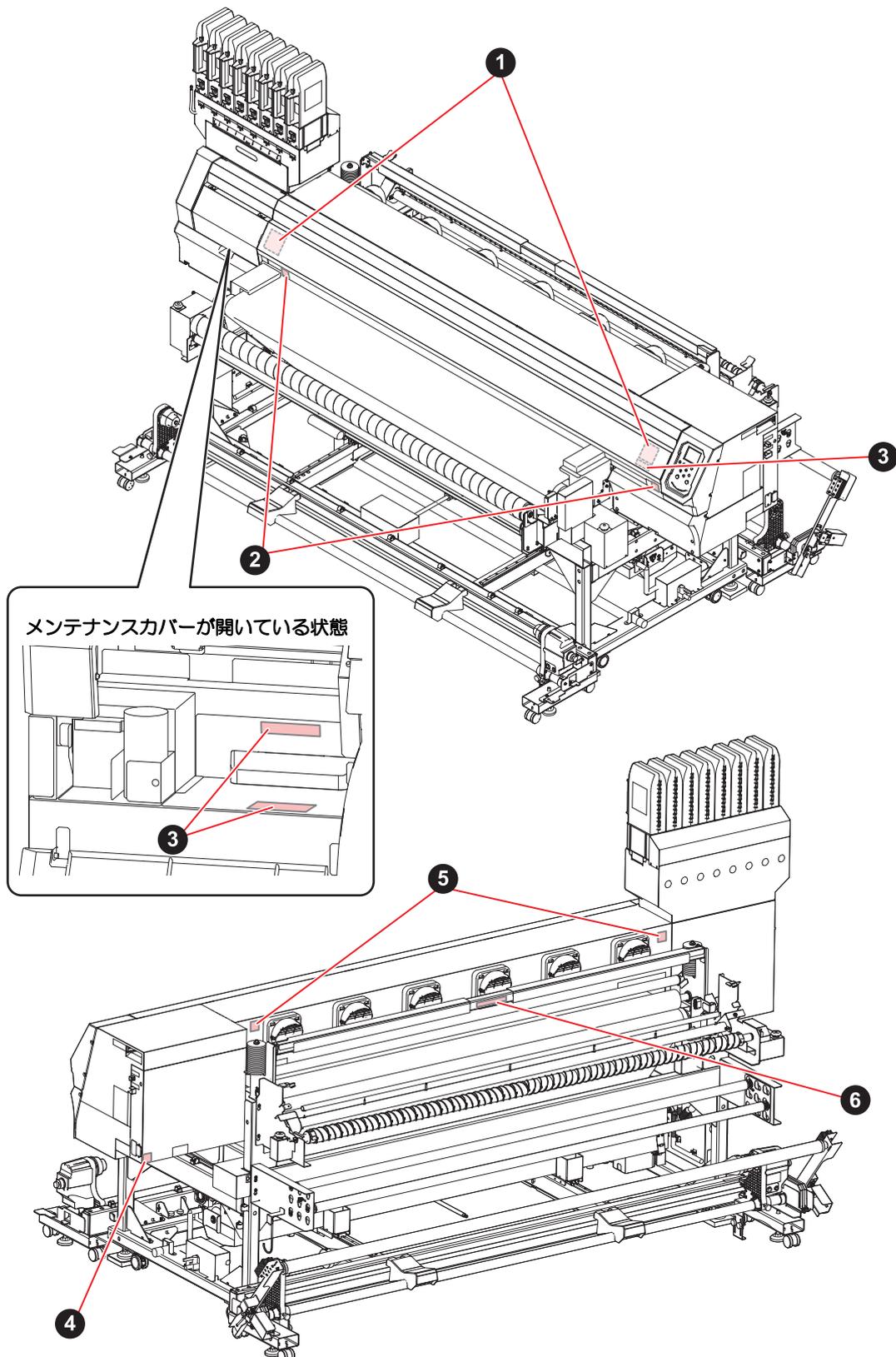
- 重要!** ・非常停止スイッチを押して緊急停止をした場合は、次のようにしてください。
- (1) コンセントを抜いてから、異常原因を取り除く
 - (2) 安全確認後、非常停止スイッチを解除する

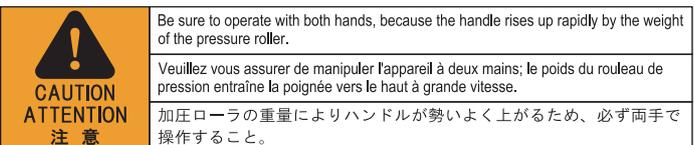


- (3) コンセントを接続する

警告ラベルについて

本機には、下記の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。
なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求めください。



No.	注文番号	ラベル
1	M910931	
2	M907833	
3	M903330	
4	M907935	
5	M913867	
6	M913939	

第1章 ご使用前に



この章では ...

本機の各部の名称や設置方法など、ご使用前に知っておいていただきたいことについて説明します。

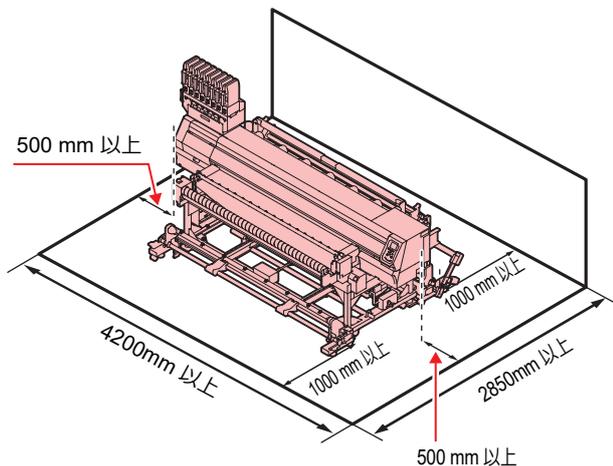
本機の移動	1-2	USB2.0 インターフェイスケーブルを	
設置場所について	1-2	接続する	1-8
使用環境温度について	1-2	LAN ケーブルを接続する	1-9
本機の移動	1-2	電源ケーブルを接続する	1-10
各部の名称とはたらきについて.....	1-4	インクをセットする.....	1-10
装置前面	1-4	インクパック取り扱い上のご注意	1-13
装置背面 / 側面	1-5	メディアについて	1-14
操作パネル	1-6	使用可能メディアサイズ	1-14
キャリッジ	1-8	メディア取り扱い上の注意	1-14
キャッピングステーション	1-8	使用制限のあるメディアについて	1-15
ケーブルを接続する.....	1-8	メニューモードについて.....	1-16

本機の移動

設置場所について

本機を組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。
 本体の大きさとプリントのために必要なスペースを考慮して設置します。

機種	横幅	奥行き	高さ	全体重量
Tx300P-1800B	3183mm	1912mm	1844mm	627kg



使用環境温度について

本機は安定したプリントを行うために、20 ~ 30 °C の環境でご使用ください。

本機の移動

本機を止むを得ず、段差のない同一フロア内で移動する場合は、下記のように行ってください。

重要!

- 本機の移設の際は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。お客様が本機の移設を行うと、故障や破損の原因になります。本機の移設は、必ず専門の担当者におまかせください。

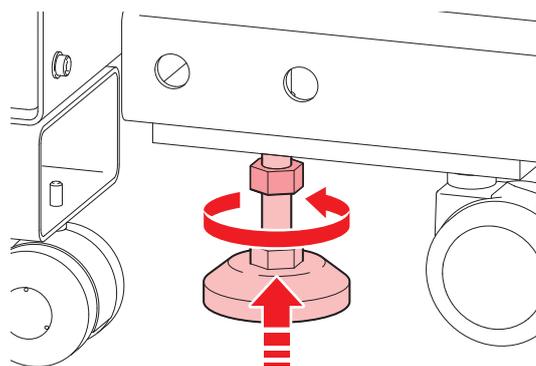


- 移動するときは、大きな振動を与えないください。
- 移動後は、アジャスタフットを下げ、各調整を行ってください。

1 本体から巻取ユニットを取り外す

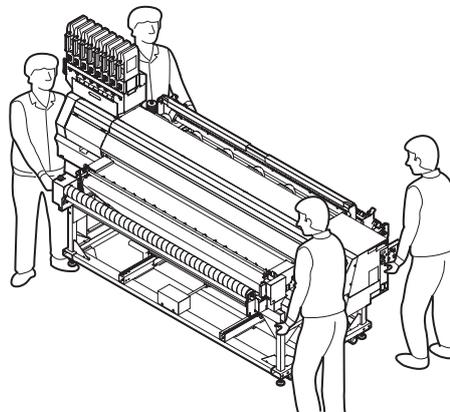
2 本体から繰出ユニットを取り外す

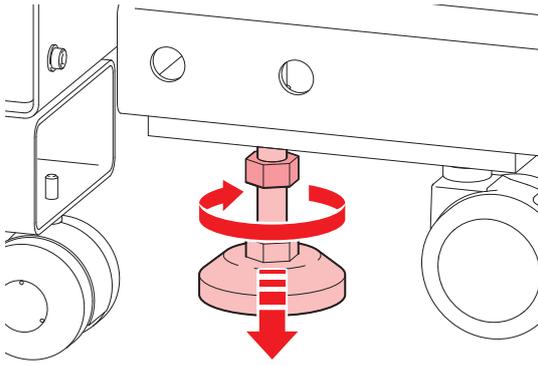
3 本体のアジャスタフットを上げる



4 図のようにして、移動する

- 本機を移動するときは、必ず4人以上で行ってください。
- カバーを押して移動すると、カバーが割れる可能性があります。



5 本体のアジャスタフットを下げる**6** 水平出しを行う**7** 蛇行調整を行う**8** 本体に巻取ユニットを取り付ける**9** 本体に繰出ユニットを取り付ける

各部の名称とはたらきについて

装置前面

メンテナンスカバー(上)

メンテナンス時にカバーを開けます。電源スイッチがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。

インクカートリッジ

各色のインクが入っています。

フロントカバー

メディアのセット、メディア詰まりの処置およびステーション内部のメンテナンス時に開けます。電源スイッチがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。

搬送ベルト

布を搬送します。

引き剥がしローラー

布を搬送ベルトより引き剥がします。

キャリッジ

印字を行うヘッドがあり、左右にスキャンします。

操作パネル

本機に必要な設定を行う操作キーや、操作項目を表示するディスプレイがあるパネルです。

洗浄液カートリッジ挿入口

洗浄カートリッジをセットします。

ロール置き台

メディアを置くための台です。

巻取装置

プリント終了後のロールメディアを自動で巻き取ります。

布巻ローラー

引き剥がしローラーに付着したインクを取り除いて布メディアの汚れを防ぎます。

廃インクタンク

廃インクを溜めるタンクです。

洗浄水バルブ

洗浄水を送るためのバルブです。

脚

本体を支える部分です。移動するためのキャスタが付いています。

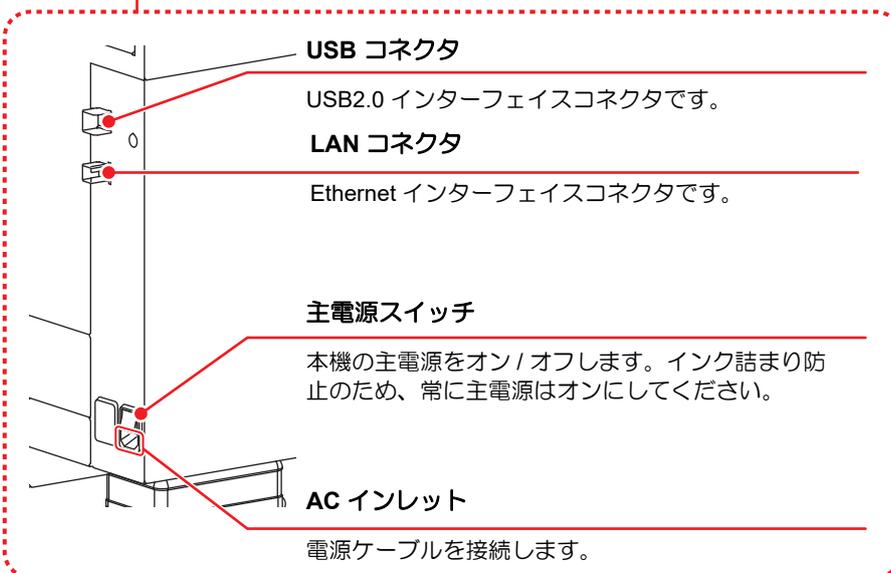
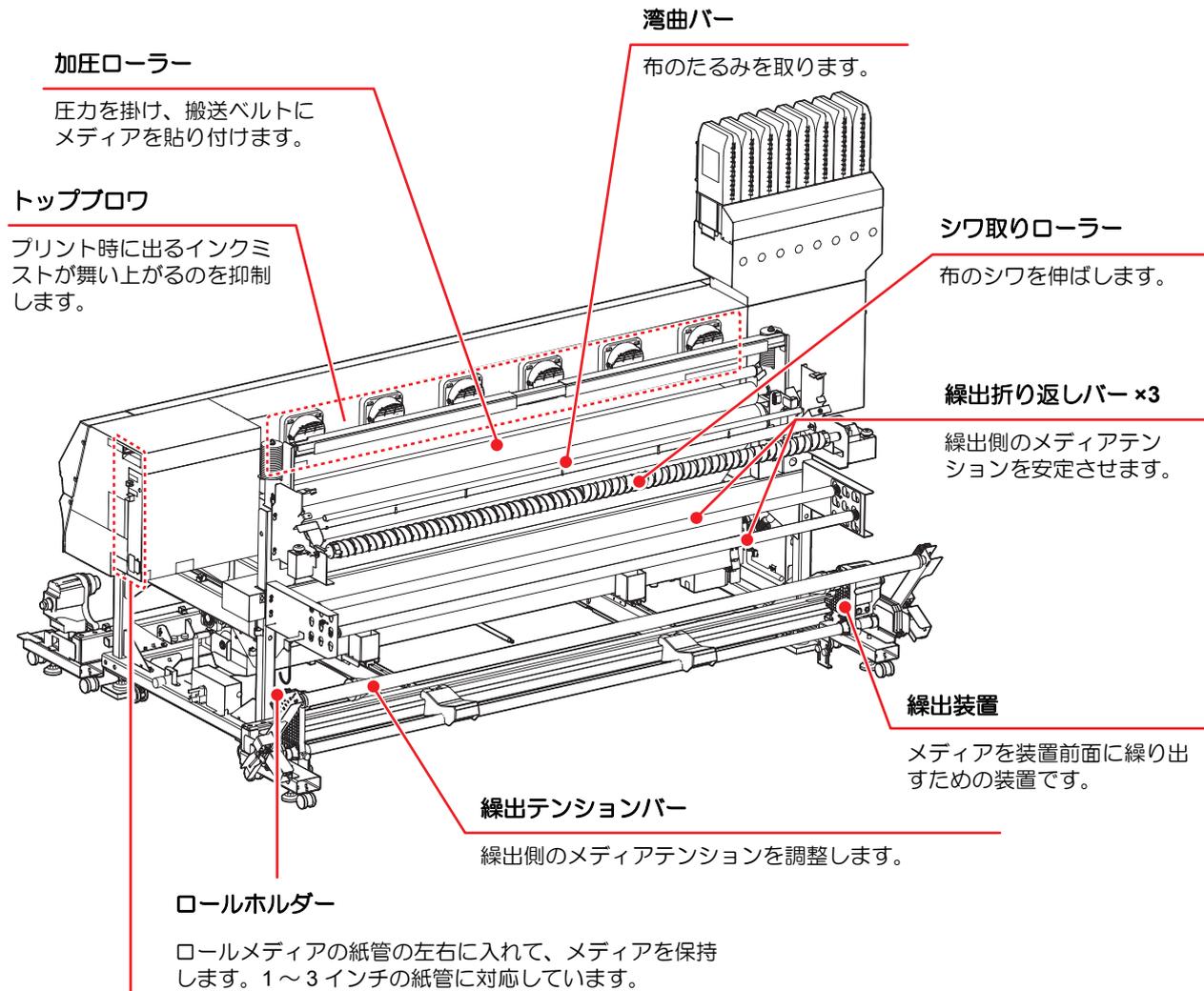
ベルト洗浄ユニット

搬送ベルトを洗浄します。

メンテナンスカバー(下)

メンテナンス時にカバーを開けます。電源スイッチがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。

装置背面 / 側面



操作パネル

操作パネルは、プリント方法の設定、各種操作に使用します。

SEL キー

ファンクションボタン ([FUNC1] ~ [FUNC3]) の機能を切り替えます。

[FUNC1] / [FUNC2] / [FUNC3] キー

各種機能の設定やテストプリントをするときなどに押します。ファンクションボタンの機能は、[SEL] を押すたびに切り替わります。

ジョグキー

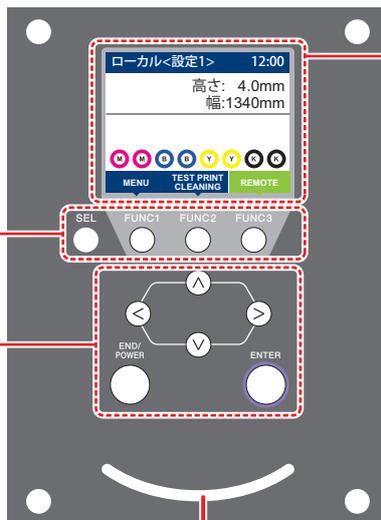
ローカルでのヘッドやメディアの移動、各種設定の項目選択に使用します。

[END/POWER] キー

直前に入力した設定のキャンセルや、設定メニューを1つ前の階層に戻す場合に使用します。また、電源のオン/オフをするときに押します。(電源を切るときは、長押ししてください。)

[ENTER] キー

1段下の階層メニューに移動する場合や、設定値の確定に使用します。



ディスプレイ

次の各項目が表示されます。

- 本機の状態
- セットしているメディアの幅
- インクの状態^{*1}
- [FUNC1] ~ [FUNC3] に割り当てられている機能^{*2}

状態表示ランプ

本機の状態 (プリント中、エラー発生中等) をランプでお知らせします。

ランプの状態	装置の状態
消灯	ローカルになっていて、プリントデータの受信やエラー等が発生していない状態です。
水色点灯	リモートに切り替えた状態です。
水色点滅	プリント中の状態です。 テストプリントなど、本機に内蔵しているパターン各種をプリントしている状態です。
青色点灯	本機にプリントデータが残っている状態です。
赤色点滅	エラーが発生しています。
赤色点灯	エラー (SYSTEM HALT) が発生しています。
黄色点灯	ファームウェアの更新を行っている状態です。



- 電源スイッチをオンにすると操作パネル下の電源スイッチが青に点灯し、オフになると消灯します。主電源スイッチ (P.1-5) をオンにしておく、電源スイッチをオフにしても定期的にインク詰まり防止動作を行います。(オートメンテナンス機能)

*1: インクの状態について

ディスプレイにインクカートリッジの状態 (インク残量 / エラーなど) をアイコンで表示しています。各々のアイコンについて説明します。

アイコン	内容
	インク残量を9段階で表示します。右に行くに従って、インク残量が少なくなっています。 インクフル 約 1/8 消費 約 1/4 消費 約 3/8 消費 約 1/2 消費 約 5/8 消費 約 3/4 消費 約 7/8 消費 ニアエンド
	インクエンド (4色インクセット使用時のみ) やインクニアエンドになると表示します。
	インクエンドまたはインクエラー (インク残量0、カートリッジ未装着など) 状態で、カートリッジが使用できないことを表します。
	インク期限切れ、期限切れ1ヶ月を示します。早めに使用してください。インク期限切れ2ヶ月を過ぎると使用できなくなります。

*2 : [FUNC1] ~ [FUNC3] に割り当てられている機能

[FUNC1] ~ [FUNC3] に割り当てられている機能の内容を説明します。

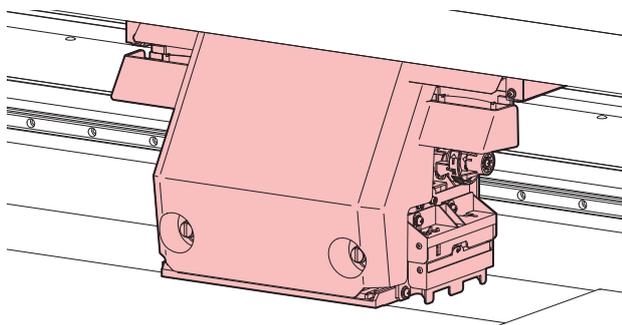
アイコン	内容
	各機能を設定する“MENU”が表示されます。
	テストプリント・クリーニング等のメンテナンス機能が表示されます。
	ローカルで、リモートに移行し、プリントを開始します。
	フィード補正、ドット位置補正等の調整機能が表示されます。
	データクリアを実行します。
	リモートにてプリントを中断し、ローカルへ移行します。
	MENU 画面等で、複数の項目がある場合、次のページへ移動します。
	MENU 画面等で、複数の項目がある場合、前のページへ移動します。
	警告メッセージが表示された場合など、確認の完了を行う場合に使用します。
	ヒーター設定を OFF にする場合など、機能を OFF や無効にする場合に使用します。
	何らかの設定や機能が割り当てられています。各機能の説明に従い、操作してください。
	クリーニングの対象ヘッド選択など、複数の項目を選択する場合に有効 / 無効を切り替えます。
	メディアの検出とメディアリセットを行います。



- 本機の状態によって、アイコンの色は変化します。
 アイコンの色が緑色のとき：本機がリモートの状態になっている
 アイコンの色が紺色のとき：本機がローカルの状態になっているとき
 アイコンの色が黄色のとき：ワーニングが発生しているとき
 アイコンの色が赤色のとき：エラーが発生しているとき

キャリッジ

キャリッジには、プリント用のインクヘッドやセットするメディアの幅を手動で設定する (☞ P.2-15) ために使う“LED ポインタ”が内蔵されています。また、メディアの厚さに合わせて、ヘッドの高さを調整するレバーが付いています。(☞ P.2-5)



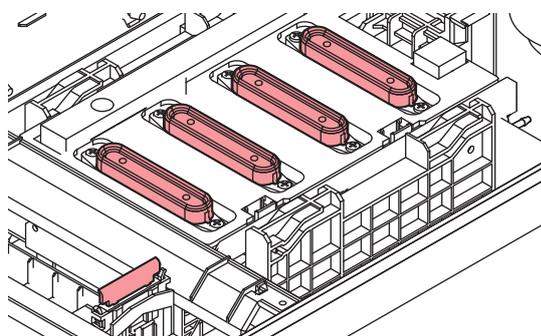
キャッピングステーション

キャッピングステーションは、インクキャップやヘッドのメンテナンスに必要なワイパーなどで構成されています。インクキャップは、インクヘッドのノズル乾きを防ぎます。

ワイパーは、ヘッドのクリーニングに使用します。ワイパーは、消耗品です。ワイパーが変形したりメディアが汚れる場合は、新しいワイパーに交換してください。

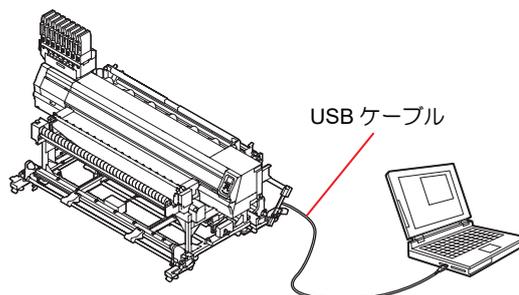


- キャッピングステーション内をクリーニングする場合は、必ず付属の保護メガネを着用してください。目にインクが入る危険があります。



ケーブルを接続する

USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する



コンピュータと本機をUSB2.0インターフェイスケーブルで接続します。



- ご使用の RIP が USB2.0 インターフェイスに対応している必要があります。
- USB2.0 インターフェイスがコンピュータに付いていない場合は、お近くの RIP メーカーまたは弊社営業所までお問い合わせください。

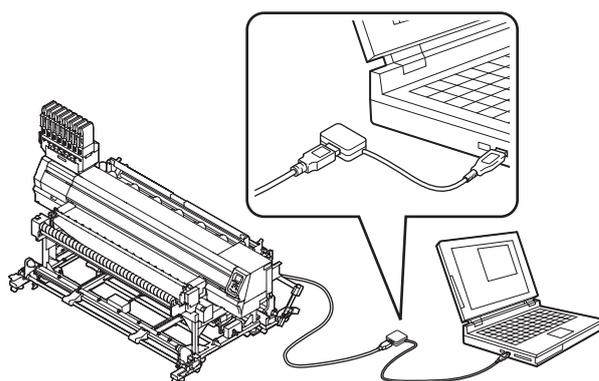
USB 2.0 インターフェイスについての注意事項



- ご使用の RIP が、USB 2.0 に対応している必要があります。

● 1台のパソコンに複数のTx300P-Bを接続する場合

1台のパソコンにTx300P-Bを複数台接続する場合、Tx300P-Bを正常に認識できない場合があります。複数のUSBポートが付いているパソコンの場合は、他のUSBポートに接続してTx300P-Bを認識できるか確認してください。USBポートを変えてもTx300P-Bを認識しない場合は、市販のUSB2.0リピータケーブルを使用してください。

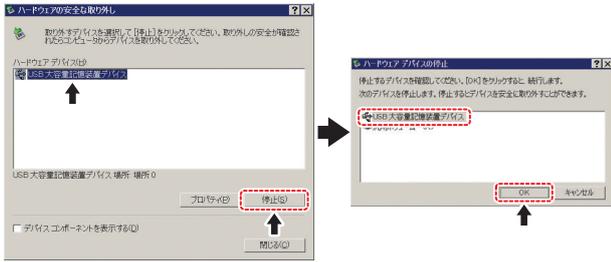


● USB ハイスピードモードの周辺機器について

Tx300P-B と USB ハイスピードモードで動作する周辺機器 (USB メモリ、USB-HDD など) を併用した場合、USB 機器が認識できない場合があります。外付けの USB のハードディスクドライブなどを接続したパソコンに Tx300P-B を接続した場合、Tx300P-B へのデータ出力速度が遅くなる場合があります。よって、プリント中にヘッドが右端または左端でいったん停止する原因になります。

● USB メモリの抜きかた

Tx300P-B を接続してあるパソコンに USB メモリを差してある場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。
[ERROR 10 コマンドエラー] 発生の原因になります。
スプールデータをハードディスクにコピーした後、プリント出力してください。



LAN ケーブルを接続する

LAN ケーブルを接続するときは、以下の注意事項を厳守してください。

- 重要!**
- カチッと音が出るまで確実に差し込んでください。
 - データ転送中は、ケーブルの抜き差しをしないでください。

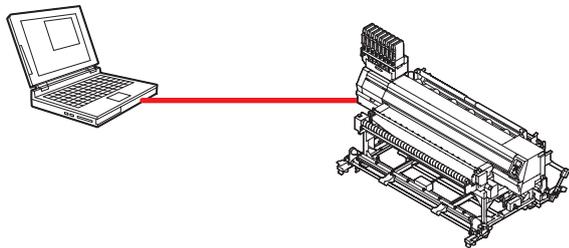
ネットワーク経由で印刷を行う場合

ネットワーク経由で印刷を行う場合、下記の環境でネットワークを構築する必要があります。
不適切な環境で構築を行うと、印刷が停止する原因となります。

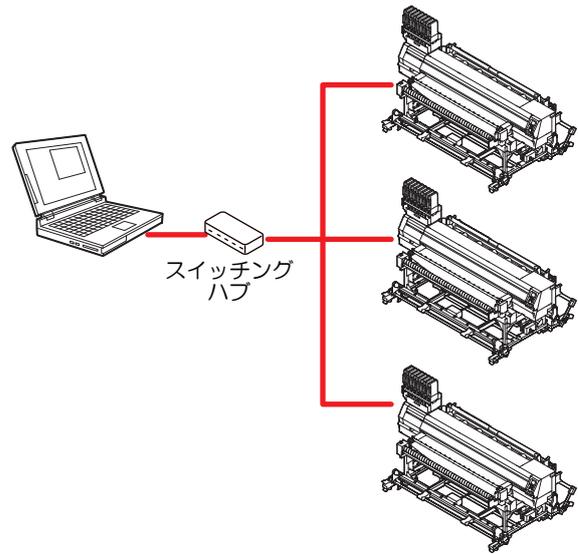
- カテゴリー 6 以上の LAN ケーブルを使用する。
- 1000BASE-T 対応の PC、スイッチングハブを使用する。

- 重要!**
- 印刷データを送信する PC とプリンタは同じネットワークとなるようにしてください。
 - ルータを経由した接続はできません。

● プリンタと直接接続する場合



● スイッチングハブを経由して接続する場合



プリンタに接続したPC、機器が1000BASE-T以外の場合、印刷できません。
接続後、以下を確認してください。

- (1) プリンタの画面表示を確認する。
- ローカル画面、メディア検出画面から [ENTER] キーを数回押し、情報画面を表示する。
 - LAN ステータスの項目に「1000Mbps」と表示されていることを確認する。

- 重要!**
- [100Mbps], [10Mbps], [接続なし] と表示している場合、LAN を使用して印刷を行うことができません。
 - [100Mbps], [10Mbps] の場合、イベントメール (3章「イベントメール機能の設定」) は使用できます。



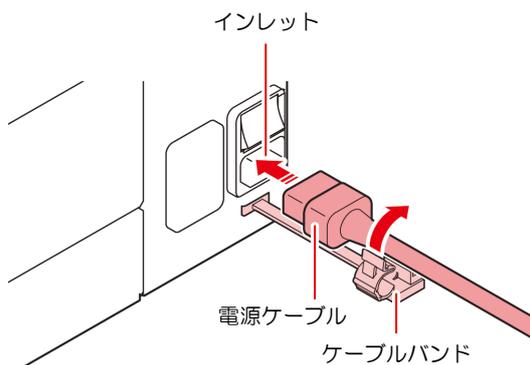
- (2) LAN コネクタの緑ランプを確認する
- 本体起動後、以下のように LAN コネクタのランプが点灯します。

色	状態	状態
緑	点灯	1000BASE-T で接続
	消灯	1000BASE-T 以外で接続
黄	点灯	リンクアップ
	点滅	データ受信中
	消灯	リンクダウン

- 重要!**
- 黄色のみが点灯もしくは点滅している場合、1000Mbps になっていません。PC、機器、ケーブルの仕様を確認してください。

電源ケーブルを接続する

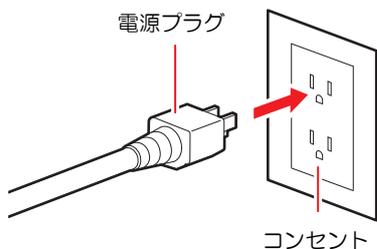
- 1** 電源ケーブルを本機のインレットに差し込む



- 2** ケーブルバンドを固定する

・本機に備え付けのケーブルバンドでケーブルを固定します。

- 3** 電源プラグをコンセントに差し込む



・付属品の電源ケーブル以外は使用しないでください。

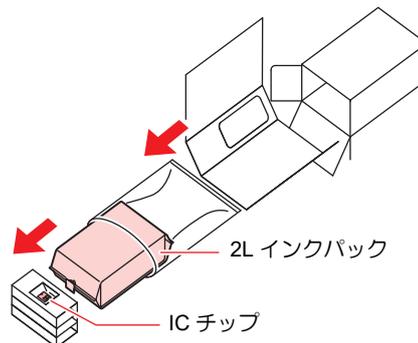
重要!

・必ず本機の近くにある電源コンセントに接続し、容易に取り外しができるようにしてください。
 ・電源ケーブルのプラグは、アース処理したコンセントに接続してください。感電・火災の原因となります。

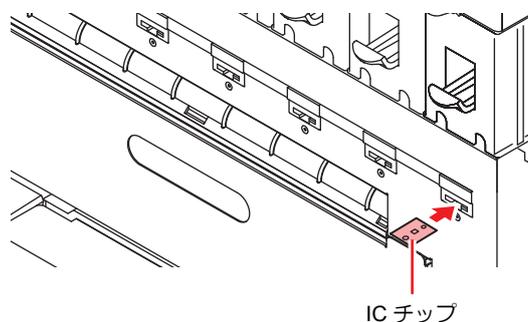
インクをセットする

- 1** 2L インクパックを用意する

・小さい段ボールからインクパックとICチップを取り出します。

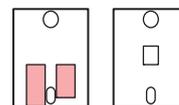


- 2** ICチップを取り付ける



・ICチップの向きに注意してセットしてください。ICチップが正しくセットされていないと、正常にインクの供給が行われません。

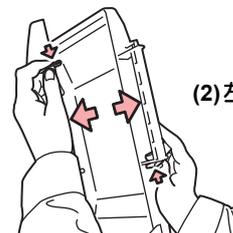
金属が付いている方を左側にして差し込む。
 セットするときは、金属部分に触れないようにしてください。
 (静電気によるICチップ破壊の恐れがあります。)



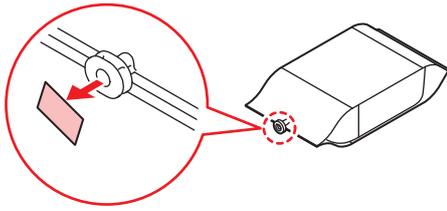
- 3** 2L インクパックを2L エコケースに入れる

(1) 図のようにして、2L エコケースを開ける

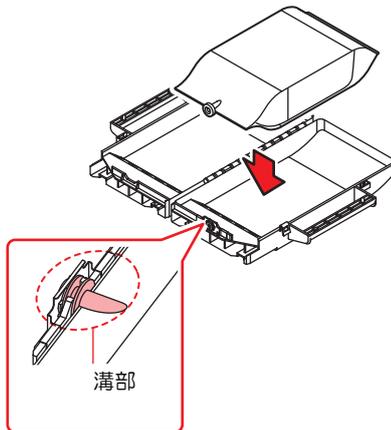
(1) ツマミを押しながら



(2) 左右に開ける

(2) 2L インクパックのコンネクタ部に付いているシールを剥がす

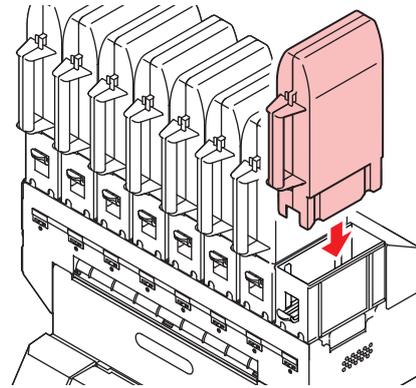
- シール残りがあると、2L インクパックを台座から取り外した際、インクが大量に漏れる可能性があります。必ずシール残りがないように注意してください。

**(3) コンネクタ部を下にして 2L インクパックを入れ、2L エコケースを閉じる**

- 2L インクパックを入れるときは、2L エコケース内にあるラベルに従って、形を整えてください。形を整えずにインクパックを入れると、インクを使い切れない場合があります。
- 2L エコケースを閉じる前に、2L エコケースの溝部にインクパックのコンネクタが合っていることをご確認ください。コンネクタが溝部に合っていない状態になると、インク供給ができなくなることがあります。

4**2L エコケースを台座に取り付ける**

- 2L エコケースから接続しているプリンタにインクが供給されます。
- 1～2分すると、接続しているプリンタのEMPTYランプが消灯します。



- 2L エコケースは、奥までしっかりと押し込んでください。十分に押し込まれていないと、インクが供給されない場合があります。

2L インクパックを交換する

ディスプレイに[インクエンド]や[インクニアンド]などが表示されたときは、次のようにしてください。



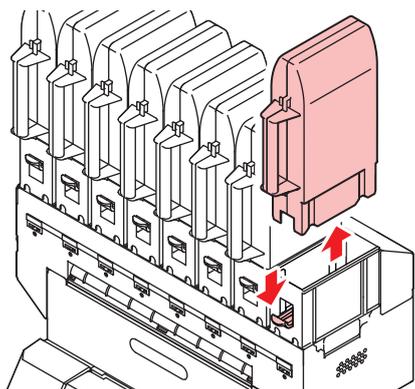
- 2L インクパックを交換するときは、保護メガネを着用してください。誤って、インクが目に入る可能性があります。



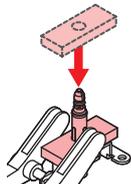
- 使用後、インクパックに 10cc 程度のインクが残りますが、実使用量が 2L になるよう充填されています。

● [インクエンド]が表示されたとき

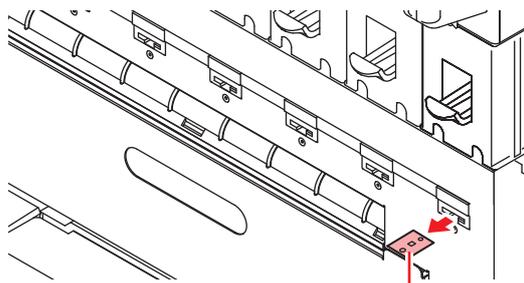
1 台座に付いているレバーを押し下げ、2L エコケースを取り外す



- 2L インクパック交換時、定期的にオスコネクタ吸収剤 (付属品) を交換することで、台座内の汚れを防止することができます。
- 2L インクパックの交換 5 ~ 10 回に 1 回の割合で、吸収剤を交換してください。
- 吸収剤交換時は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。



2 IC チップを取り外す



IC チップ

3 2L エコケースを開け、2L インクパックを交換する

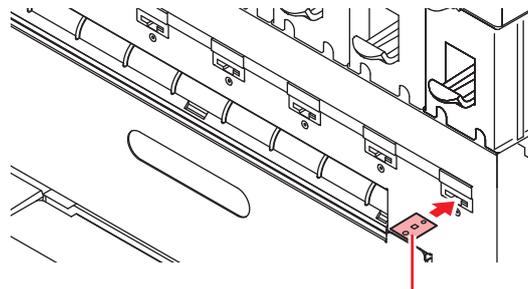
- 手順 2 で取り外した IC チップは、使い終わった 2L インクパックと一緒にしておいてください。(新しい 2L インクパックの IC チップを混同しないようにするため)

4

交換する 2L インクパックに付属している IC チップを取り付ける



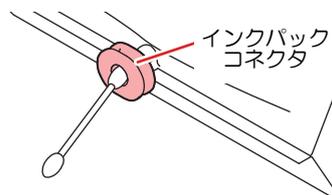
- IC チップの金属部分には触れないようにご注意ください。静電気が発生し、IC チップが破壊する恐れがあります。



IC チップ



- 2L インクパックを使いかけの状態を取り外すときは、次のようにしてください。インクの残量を正確に管理できなくなります。
- (1) 2L エコケースから使いかけの 2L インクパックを取り外す
- (2) 綿棒などを使い、2L インクパックのコネクタ部の内側に付着したインクを拭き取る



インクパック
コネクタ

- (3) IC チップを取り外し、2L インクパックと一緒に保管する
- (4) 再度使用するときは、2L インクパックをセットし、一緒に保管しておいた IC チップをセットする

● [インクニアンド]が表示されたとき

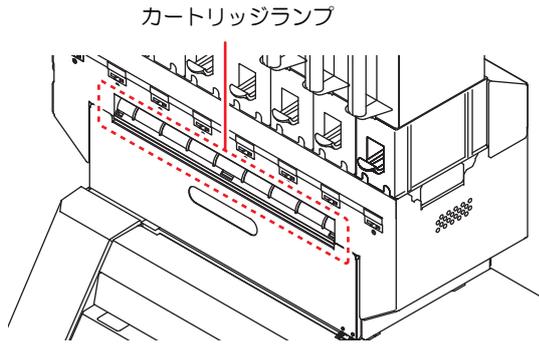
インク残量が少なくなっています。続けてプリントをすることはできませんが、プリント中にインクがなくなる恐れがあります。早めにインクパックの交換をお勧めします。



- [インクニアンド]表示中は、オートクリーニングは動作しません。(P.3-10)

インクカートリッジランプについて

インクカートリッジの下にあるランプで、セット中のインクカートリッジの状態を確認することができます。



カートリッジランプ

ランプの状態	説明
青色に点灯	異常なし(インク供給中)
消灯	異常なし
黄色に点灯 または点滅	次のいずれかのエラーを発生しています。 ・インクニアンド ・インク期限切れ(1ヶ月)
赤色に点滅	インク期限切れ(2ヶ月)
赤色に点灯	次のいずれかのエラーを発生しています。 ・インクエンド ・インク IC チップが挿入されていない ・その他のインクエラー (☞ P.5-7)

インク使用期限について

インクカートリッジには使用期限があります。使用期限を過ぎると、ローカルとガイダンスメッセージにメッセージが表示されます。(☞ P.5-4、 P.5-7)
カートリッジに記載してある期限の翌々月までは使用可能ですが、3ヶ月後になった時点で使用できなくなります。LED「赤」が早く点滅してお知らせするので、交換してください。

例) 消費期限の記載が4月の場合
5月：使用可能
6月：使用可能(LED 黄点灯)
7月：使用不可(LED 赤点滅)

名称について

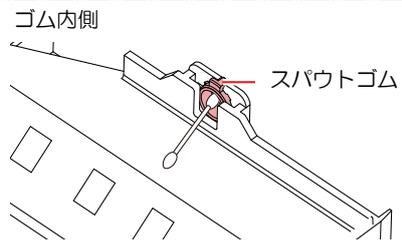
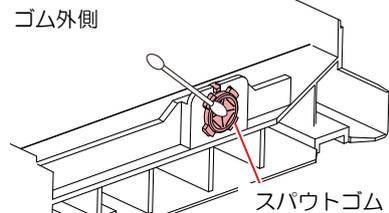
本書では、2Lインクパック/2Lエコケース/インク IC チップの3つを合わせて「インクカートリッジ」という名称で説明しています。

インクパック取り扱い上のご注意



- ・本機には専用のインクパックをお使いください。本機は、専用のインクパックを認識して動作します。インクパック等の改造により故障した場合は、保証期間内であっても保証の対象外になります。
- ・インクパックを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間以上、室温環境下に放置してから使用してください。
- ・インクパックは開封してから3ヶ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものはプリント品質が低下します。
- ・インクパックは冷暗所で保存してください。
- ・インクパックは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ・空になったインクパックは、産業廃棄物の処理業者に処理を依頼してください。
- ・新規設置およびスパウトゴム新品交換時の注意点
 - ・スパウトゴム表面をメンテナンス液で十分に濡らしてから差し込んでください。スパウトゴムを濡らさずにエコケースに差し込むと、ゴムが破損する恐れがあります。

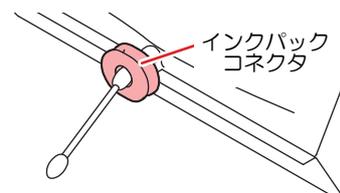
重要! ・この時、メンテナンス液はインク種にあったものを使用してください。



- ・使いかけのインクパックを使用する際の注意点
 - ・インクパックのコネクタ内側に付着しているインクを、綿棒で拭き取ってください。コネクタ内側にインクが残ったままインクパックを差し込むと、インクパックを再び使用するときインク漏れの原因となります。

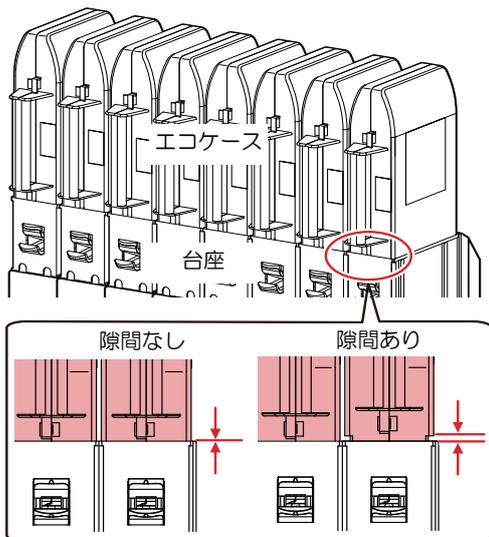


・綿棒は深く挿し込みすぎないでください。インクパックからインクが漏れ出し、止まらなくなる可能性があります。

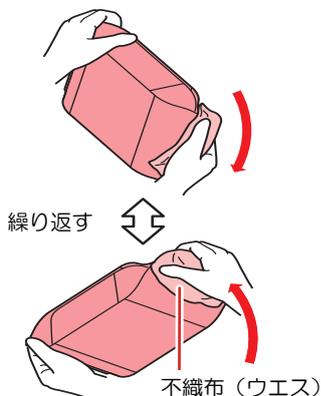




- ・本体にエコケースをセットするときの注意点
 - ・エコケースを根元まで十分に差し込んでください。台座をエコケースの隙間を確認し、隙間がある場合は、エコケースを差し込み直してください。



- ・エコケース内インクパックの攪拌方法について
パックを外して攪拌する場合 (推奨方法)
 - ・インクパックのコネクタと、スパウトゴム内側のインクを拭いてから再セットしてください。
 - ・攪拌はインクパックのコネクタを不織布 (ウエス等) で覆ってから行ってください。
- ・**エコケースごと攪拌する場合**
 - ・スパウトゴムを不織布 (ウエス等) で覆ってから攪拌してください。



- ・インクパックを強く振らないでください。強く振ったり、振り回したりすると、インクパックからインクが漏れることがあります。
- ・インクパックのインクを詰め替えないでください。故障の原因になります。また、インクを詰め替えて使用したことによって生じた不具合について、弊社は一切責任を負いかねます。
- ・インクパックは分解しないでください。



メディアについて

使用可能なメディアサイズと、その取り扱い方法について説明します。

使用可能メディアサイズ

機種名	Tx300P-1800B	
最大幅	1900mm	
最小幅	210mm	
最大プリント範囲	1880mm	
メディア ロール メディア □	厚さ	1.0 mm 以下
	ロール外径	Φ250mm 以下
	ロール重量	40kg 以下 (2 ~ 3 インチ紙管) 34kg 以下 (1 ~ 1.5 インチ紙管)
	紙管内径	1 ~ 1.5 インチ, 2 ~ 3 インチ
	プリント面	内巻き / 外巻き不問
	巻き終わり処理	紙管にテープ止め、または弱粘着

メディア取り扱い上の注意

メディアの取り扱いについて、次の点にご注意ください。



- ・布の前後処理は弊社推奨レシピをお使いください。それ以外の処理で発生したトラブルについては、責任を負いかねます。



- ・安定した高画質でプリントするために、弊社推奨のメディアをご使用ください。
- ・布をセットする場合、必ず布の厚さに合わせてヘッドの高さ調整をしてください。プリント布やヘッドを破損する恐れがあります。
- ・布の厚さに対して左右端のガミング処理 (布端ほつれ防止処理) やテンタ跡が厚くなっている場合は、布の左右端の厚さに合わせてヘッド高さを調整してください。
- ・布の左右端が厚くなっている布を使用すると、巻き取り時にロール左右端が盛り上がるために巻きスレを起こしやすくなります。巻きスレをすると布が斜行しやすくなり、ヘッドノズル面との接触などのトラブルの原因となります。
- ・インク付着によるぬれ伸縮率の高い布地や、弾力性の高い布地は、使用しないでください。ヘッドノズル面との接触や、プリントがずれるなどのトラブルを発生する原因になります。
- ・カールのきつい布は、カールを取り除いてから使用してください。カールがきついと、プリント品質に影響を及ぼしたり、ヘッドノズル面と接触し吐出不良の原因となります。
- ・使用する布を保管する場合は、袋に入れて保管してください。布に付着したホコリ、紙くず、および繊維くずを拭き取ると、静電気により逆効果になってしまいます。
- ・静電気を起こしやすいく布メディアを使ってプリントする場合は、添付の除電布をお使いください。また、加湿器などを使って、使用環境の湿度を上げてください。

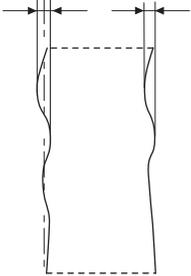
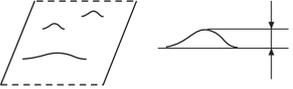
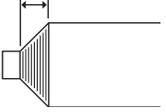
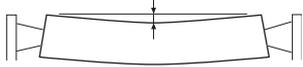
使用制限のあるメディアについて

下記のようなメディアは、プリンタ側での補正が困難な素材です。
 使用する場合は、任意のテストデータによるプリントを行い、使用可能かどうかを判断してください。

- 伸縮性の大きい素材 (ストレッチ材、縦方向に伸縮するニット等)
- 印字によって濡れると、伸び縮みの度合いが大きい素材
- 幅のバラツキが大きい素材
- 平坦面に広げたとき、部分的にシワ、たるみが発生している素材、全体に曲がっている素材
- ロール状態でのメディア幅端面の巻きズレが大きい素材
- 使用している紙管の強度が不足し、繰出し装置に取り付けたとき、たわんでいるもの

重要! 上記以外のメディアを使用する場合も、必ず任意のテストデータによるプリントを行ってください。プリント結果を確認してから、使用が可能か判断してください。

プリントできる布の条件

項目	条件	備考
幅バラツキ	片側側面で $\pm 5\text{mm}$ 以下	
広げたときの湾曲	一方向曲がり不可	
平坦面に広げたときのシワ (たるみ) 高さ	2mm 以下	
ロールエッジのズレ	$\pm 15\text{mm}$ 、 反物 (幅 500mm 以下) は $\pm 2\text{mm}$	
ロール内径	1 ~ 1.5 インチ, 2 ~ 3 インチ	
紙管強度	セット時のロール曲がり 5mm 以下	
紙管との固定	テープ 3 点以上または弱接着	
ロール外径	$\phi 250\text{mm}$ 以下	
ロール重量	1 ~ 1.5 インチ 34kg 以下 2 ~ 3 インチ 40kg 以下	
プリント面	外巻き / 内巻き不問	
巻きシワ	不可	

メニューモードについて

本機には4つのモードがあります。各メニューモードについて説明します。

ノットレディモード

メディアを検出する前のモードです。

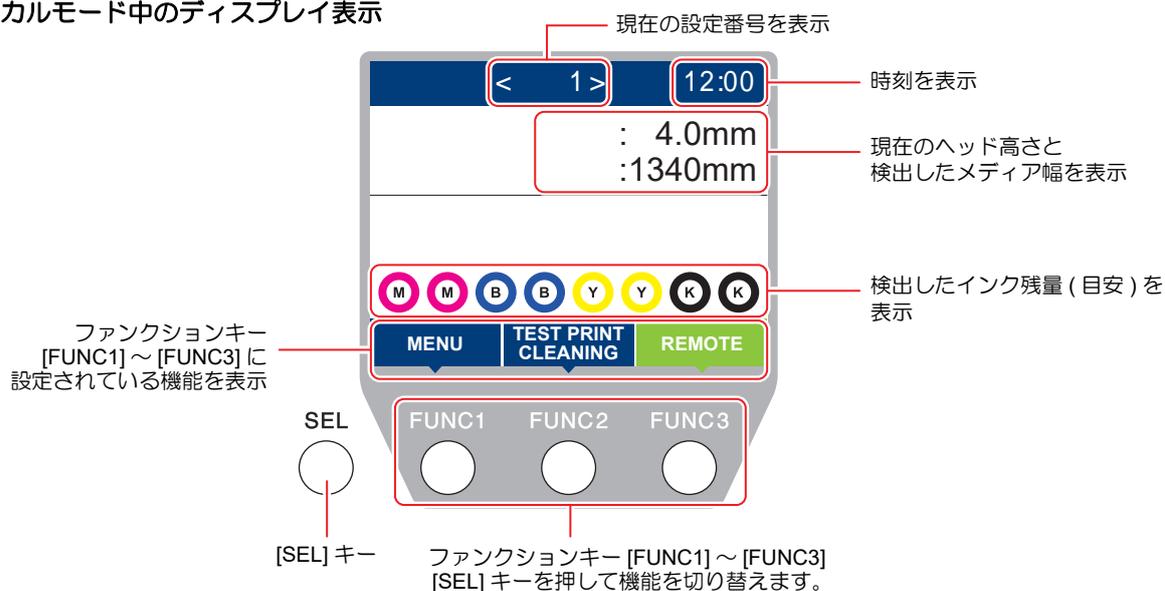
ローカルモード

ローカルモードは、プリント準備状態のモードです。

全てのキーが有効です。

コンピュータから、データを受信できます。ただし、プリントは行いません。

ローカルモード中のディスプレイ表示



ローカルでは以下の操作が可能です。

- ・ ジョグキーを押して、プリント原点やプリント範囲を設定します。
- ・ [ENTER] キーを押して、インク残量、カートリッジエラーの内容、機種名およびファームウェアバージョンなどを確認します。

メニューモード

ローカル時に、[FUNC1] キーを押すとメニューモードになり、各機能を設定できます。

リモートモード

受信したデータをプリントします。

第2章 基本的な使い方



この章では ...

プリントするためのインク／メディアの準備や、プリントまでの手順や設定方法について説明します。

作業の流れ	2-2	シワ取りローラーの取り外しと コマ入れ替え	2-22
電源を入れる / 切る	2-3	テストプリントをする	2-24
電源を入れる	2-3	テストプリントを行う	2-24
電源を切る	2-3	メディアの送りを設定する	2-25
メディアをセットする	2-4	メディア送り補正の流れ	2-25
線出 / 巻取ユニットの設定	2-4	ヘッドクリーニング	2-26
ヘッド高さを調整する	2-5	ヘッドクリーニングについて	2-26
作図幅	2-6	テストプリントの結果に合わせて ヘッドクリーニングを行う	2-26
布巻ローラーを取り付ける	2-6	フィード補正の設定	2-26
テンションバーを使ってロールメディアを セットする	2-7	フィード補正の設定	2-26
テンションバーを使わずにロールメディアを セットする	2-12	ドットの位置がずれたら	2-27
引き剥がしを使いメディアをセットする	2-14	データをプリントする	2-27
引き剥がしを使わずにメディアを セットする	2-14	プリントを開始する	2-27
線出 / 巻取装置について	2-17	プリントを中止する	2-28
原点を変更する場合は	2-20	受信したデータを消去する (データクリア)	2-28
加圧ローラーのウェイト調整	2-20	プリント完了後の動作	2-28
引き剥がしセンサの位置調整	2-21	メディアのムダを減らす	2-28
湾曲バーを使ってメディアの たるみを取る	2-21		

作業の流れ

1 電源を入れる / 切る

「電源を入れる / 切る」(☞ P.2-3) を参照してください。

2 メディアをセットする

「メディアをセットする」(☞ P.2-4) を参照してください。

3 テストプリントをする

「テストプリントをする」(☞ P.2-24) を参照してください。

4 ヘッドクリーニング

「ヘッドクリーニング」(☞ P.2-26) を参照してください。

5 データをプリントする

「データをプリントする」(☞ P.2-27) を参照してください。

電源を入れる / 切る

電源を入れる

本機には、2つの電源スイッチがあります。

主電源スイッチ：

本機の側面にあります。常時「オン」にしておいてください。

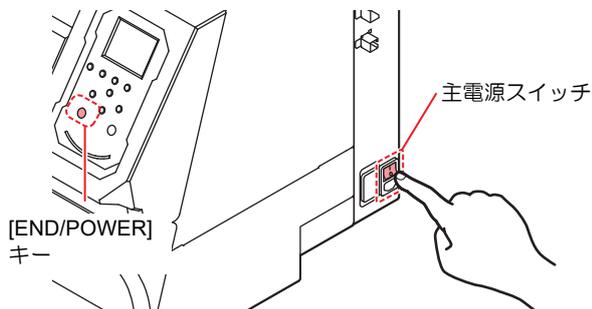
[END/POWER] キー：

通常、電源のオン/オフをするときはこのキーを使用します。

[END/POWER] キーがオフでも、主電源スイッチがオンになっていれば、定期的に電源が自動的に入り、ノズル詰まり防止機能が動作します。

1 主電源スイッチを入れる

- 装置側面にある主電源スイッチを「I」側に倒します。



- 電源をオンにするとファームウェアのバージョンを表示し、初期動作を実行します。

2 [END/POWER] キーを押して、電源を入れる

- ローカルになります。

3 接続しているコンピュータの電源をオンにする

- 重要!**
- フロントカバー/メンテナンスカバーを閉じてから電源を入れてください。
 - 主電源スイッチを「オフ」のまま長時間放置すると、ヘッドのノズル詰まりの原因となります。

電源を切る

プリンタの使用が終了したら、装置前面にある電源スイッチを押して電源をオフにします。

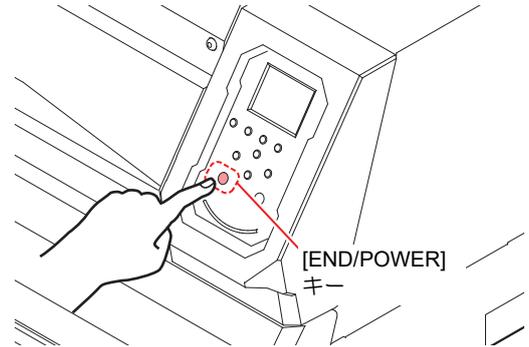
電源を切るときは、次のことを確認してください。

- コンピュータからデータを受信中ではないか、また、未出力のデータが残っていないか。
- ヘッドはキャッピングステーションに戻っているか。
- エラーは発生していないか。
([P.5-8 エラーメッセージ](#))

1 接続してあるコンピュータの電源をオフにする

2 [END/POWER] キーを長押しして、電源を切る

- 装置側面にある主電源スイッチは、切らないでください。
- 次に、本機をご使用になるときは、[END/POWER] キーを押してからお使いください。



電源を切るときのご注意

- **主電源スイッチは切らないでください。**
主電源スイッチが入っていると、定期的に電源が入りノズル詰まり防止機能（フラッシング機能）が働きます。主電源スイッチを切っていると、フラッシング等のオートメンテナンス機能が働かず、ノズル詰まりの原因となります。
- **フロントカバー/メンテナンスカバーは閉めた状態にしてください。**
カバーが開いていると、フラッシング等のオートメンテナンス機能が働かなくなります。
- **装置背面の加圧ローラーを上げた状態にしてください。**
降りたままだと、加圧ローラーがベルトに固着し、搬送不良の原因となります。
- **ヘッドの位置を確認してから電源を切ってください。**
ヘッドがキャッピングステーションに戻っていない状態で電源を切ると、ヘッドが乾燥してノズル詰まりの原因となります。このときは、再度、電源を入れ、ヘッドがキャッピングステーションに戻ったことを確認してから電源を切ってください。
- **プリント中は電源を切らないでください。**
ヘッドがキャッピングステーションに戻らないことがあります。
- **[END/POWER] キーで電源を切ってから、主電源スイッチを切ってください。**
装置の移動や装置のエラー対処等で主電源スイッチを切る場合、必ず、装置前面にある [END/POWER] キーを長押し、操作パネルのディスプレイ表示が消えていることを確認してから主電源スイッチを切ってください。

メディアをセットする

本機では、ロールメディアとリーフメディアをご使用になれます。
 使用できるメディアについては、P.1-14「使用可能メディアサイズ」を参照してください。



- ロールメディアをセットするときは、メディアを足などに落とさないように注意してください。メディアの重みでケガをすることがあります。
- ロールメディアをセットする場合は、2人以上でセットしてください。ロールメディアの重みで腰を傷める可能性があります。
- ヘッド高さの調整は、メディアをセットする前に行ってください。メディアをセットした後に調整すると、メディア詰まりやプリント品質の低下、ヘッドの破損の原因となります。

繰出 / 巻取ユニットの設定

繰出 / 巻取ユニットの設定では、次の項目を設定します。

- 繰出装置および巻取装置を使用する / しない
- 繰出テンションバーを使用する / しない
- 引き剥がしを使用する / しない
- 繰出 / 巻取装置のオン / オフボタンを押したときの動作

本機では、繰出 / 巻取ユニットの設定で繰出テンションバーの使用方法を選択することによって、次の2種類の方法でプリントできます。

繰出テンションバー	メディアのセット方法
使用する	P.2-7を参照してセットする
使用しない	P.2-12を参照してセットする

また、引き剥がしの使用方法を選択することによって、次の2種類の方法でプリントできます。

引き剥がし	メディアのセット方法
使用する	P.2-14を参照してセットする
使用しない	P.2-14を参照してセットする

- ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す
 • マシン設定メニューが表示されます。
- ▲ ▼** を押して“繰出/巻取ユニット”を選び、**ENTER** キーを押す
- ENTER** キーを押す
 • “繰出ユニット”が選択されます。
- ▲ ▼** を押して設定値を選び、**ENTER** キーを押す
 • 設定値：ON/ OFF
 • OFF を選択した場合は、手順7に進みます。
- ▼** を押し、**ENTER** キーを押す
 • “繰出テンションバー”が選択されます。

- ▲ ▼** を押して設定値を選び、**ENTER** キーを押す
 • 設定値：ON/ OFF
 - ▼** を押し、**ENTER** キーを押す
 • “巻取ユニット”が選択されます。
 - ▲ ▼** を押して設定値を選び、**ENTER** キーを押す
 • 設定値：ON/ OFF
 - ▼** を押し、**ENTER** キーを押す
 • “引き剥がし”が選択されます。
 - ▲ ▼** を押して設定値を選び、**ENTER** キーを押す
 • 設定値：ON/ OFF
 - ▼** を押し、**ENTER** キーを押す
 • “繰出 / 巻取スイッチ”が選択されます。
 - ▲ ▼** を押して設定値を選び、**ENTER** キーを押す
 • 設定値：継続 / 一時
 継続：スイッチを押すごとに、巻取動作のオン / オフを切り替えます。(動作中の巻取装置は、再度オン / オフスイッチを押すまで止まりません。)
 一時：スイッチを押している間だけ、巻取動作を行います。(スイッチを放すと、巻取動作は止まります。)
- 重要!** • モーター直結ユニットをお使いの場合、“継続”に設定しても、自動的に“一時”で設定した動作になります。
- 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す
 • **重要!** • 繰出 / 巻取ユニットの繰出テンションバーの設定は、メディアをセットする前に行ってください。メディア幅を設定した後は、繰出テンションバーの設定はできません。
 • メディア幅を検出した後でも、繰出 / 巻取ユニットのオン / オフを変更することはできません。
ON から OFF にした場合：
 繰出 / 巻取ユニットは動作しない
OFF から ON にした場合：
 トルクリミッター取り付け時は、テンションバーを使わない巻取動作のみ行う
 モーター直結ユニット取り付け時は、巻取動作を行わない
 • メディアセットの途中で繰出 / 巻取方法を変更したいときは、セットしたメディアを元に戻し、手順1から操作しなおしてください。

ヘッド高さを調整する

ヘッド高さ(メディアからヘッドノズル面までの高さ)を設定します。

プリント時やメンテナンス機能などでヘッドがベルト上へ移動する動作が行われる際に、設定されているヘッド高さ位置に移動します。

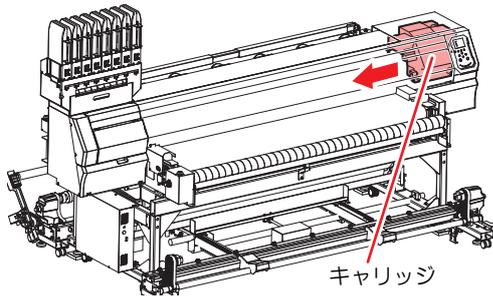
ヘッド高さの上限は、メディア厚により変化します。
設定値：[2.0 mm～7.0 mm] (0.05 mm単位)

1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す

・マシン設定メニューが表示されます。

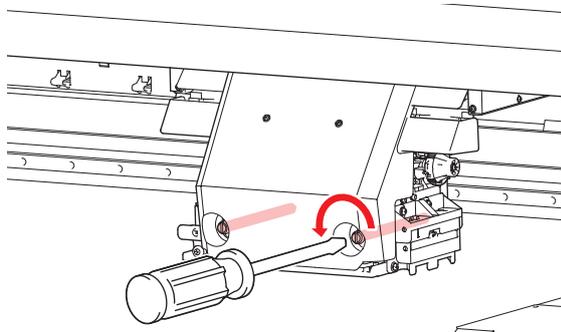
2 **▲** **▼** を押して“ヘッド高さ”を選び、**ENTER** キーを押す

・キャリッジがベルト上へ移動します。



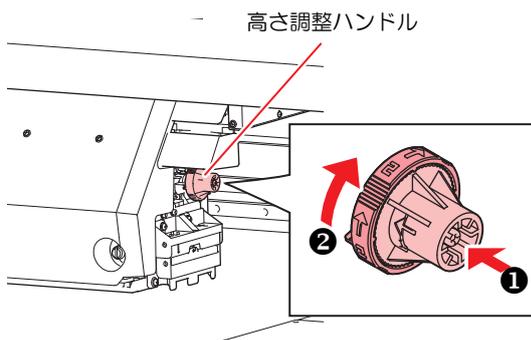
3 正面にある高さ調整ネジを緩める、**ENTER** キーを押す

・マイナスドライバー等を使って、1回転程度回して緩めます。



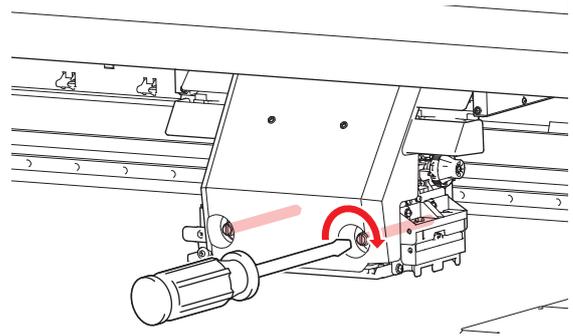
4 高さ調整ハンドルをメディアに応じて調整する

・①を押しながら②を回して調整します。
・ディスプレイ表示を見ながら、適正な値に調整してください。



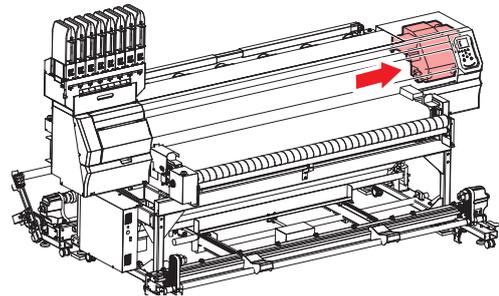
5 キャリッジを固定する

・ネジは緩まないように確実に締めてください。



6 **ENTER** キーを押す

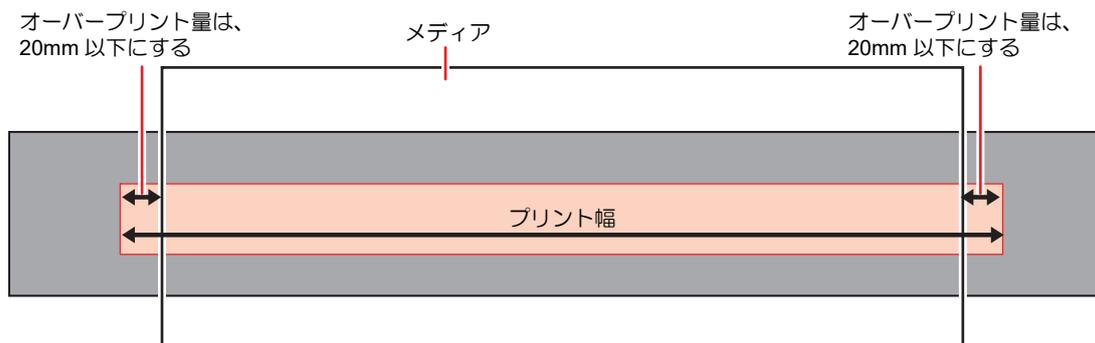
・自動的にキャリッジがステーションに戻ります。



7 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

作図幅

作図幅：1880mm
 オーバープリント：1900mm



布巻ローラーを取り付ける

目の粗い布などにプリントしたとき、布の裏側に残ったインクが引き剥がしローラーに付着し、布メディアを汚してしまう場合があります。

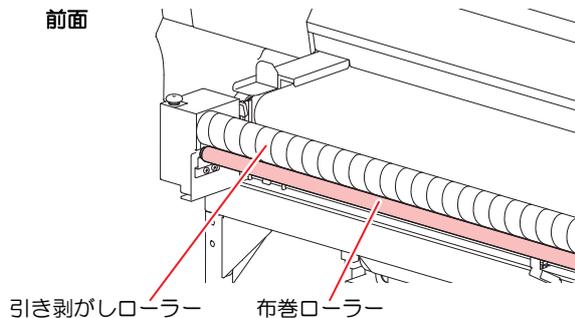
布巻ローラーを取り付けておけば、引き剥がしローラーに付着したインクを取り除いて布メディアの汚れを防ぐことができます。

- 重要!**
- 出荷時には布巻ローラーに布は巻かれていません。以下のサイズの吸水性の良い布をご用意ください。
 - 素材：綿天竺、綿ブロードなど
 - サイズ：195cm x 70cm

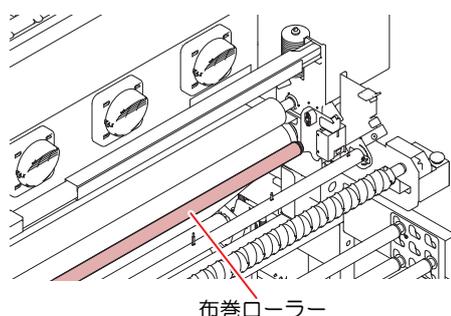
1 布巻ローラーを取り外す

- 布巻ローラーは装置前面の引き剥がしローラーの下と、装置背面のベルト面当て用があります。

前面

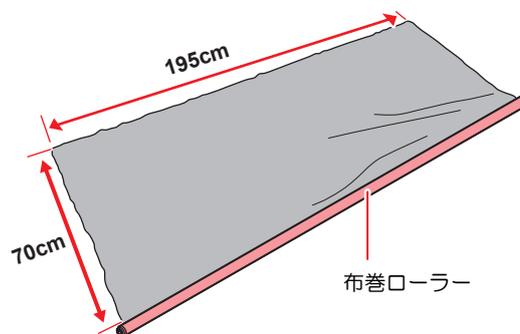


背面

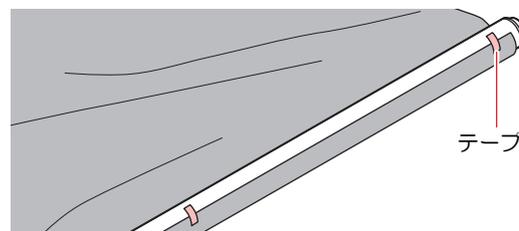


2 布巻ローラーに布を巻き付ける

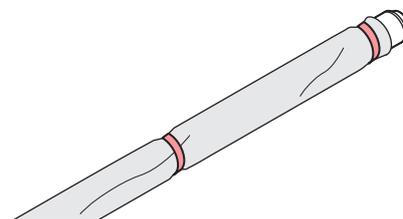
- 下図のように、布とローラーを合わせる



(1) 布とローラーを粘着テープで固定する

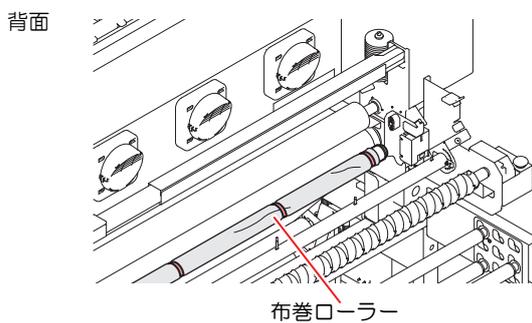
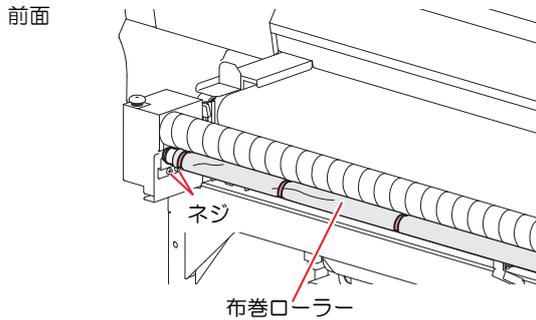


(2) 布をローラーに巻き付け、粘着テープで固定する



3 布を巻いた布巻ローラーを取り付ける

- ブラケットの下にある溝に布巻ローラーを取り付けます。
- 布巻ローラー両端の軸受け部の位置を調節してください。
軸受け部のネジを緩め、布巻ローラーが引き剥がしローラーに接触するようにします。



4 引き剥がしローラーを手で回転させ、スムーズに回転することを確認する

- 引き剥がしローラーがスムーズに回転しないときは、布巻ローラーの取り付け位置を確認してください。

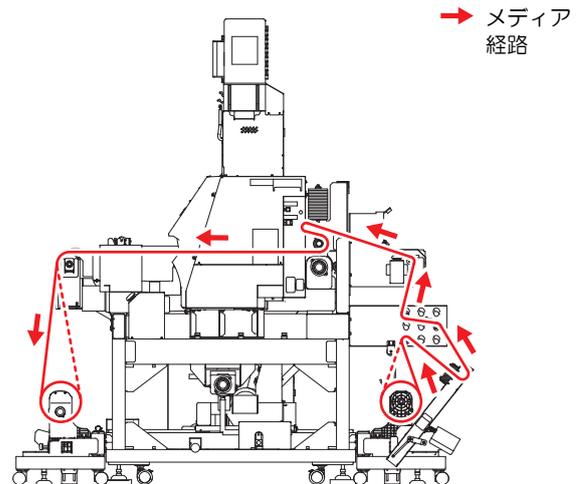
テンションバーを使ってロールメディアをセットする

本機に布メディアをセットするときの経路は下図のようになります。

メディアをセットする前に、メディアの経路をご理解いただくと、メディアのセットをスムーズに行うことができます。

重要!

- メディア経路に当たる部分が汚れていないことを確認してください。
- テンションバーを使ってメディアをセットする前に、繰出装置にモーター直結ユニットが付いていることを確認してください。トルクリミッターが付いている場合は、P.2-12を参照してモーター直結ユニットに交換してください。



1 フロントカバーを閉じ、**FUNC2**(MEDIA) キーを押す

- “繰出テンションバー”画面が表示されます。

2 メディアのセット方法に合わせて、テンションバーの使い方を選択する

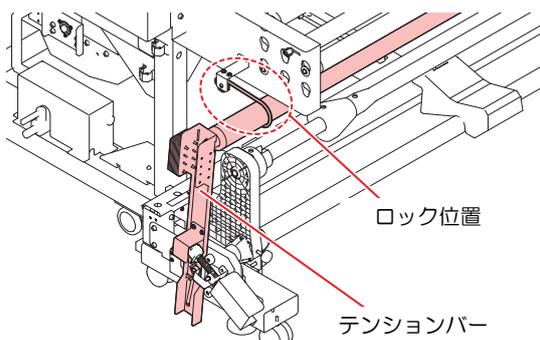
- この場合は、“ON”を選択します。
(DC=モーター直結ユニット、TL=トルクリミッター、—=ユニットOFF)
- **[▲]**/**[▼]**を押して“ON”を選択し、**[ENTER]**キーを押してください。



重要!

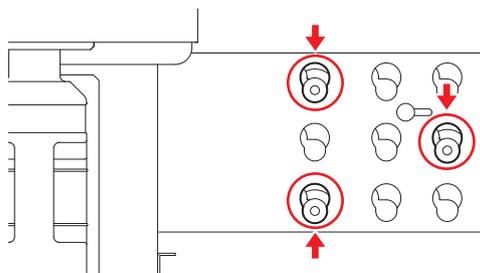
- マシン設定の“繰出ユニット”が“OFF”の場合、この画面は表示されません。

3 繰出テンションバーをロック位置に固定する

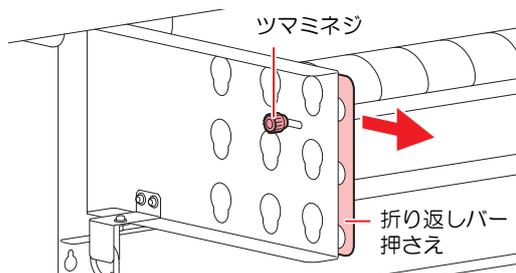


4 セットするメディアに合わせて、折り返しバーを取り付ける

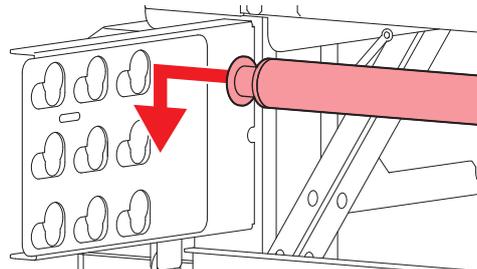
- 繰出側のテンションを安定させるため、セットするメディアに合わせて適正な位置に折り返しバーを取り付けてください。
- 下図の位置が、弊社が推奨する取り付け位置です。この位置に折り返しバーを取り付けても、メディアがたるんだり、縦ジワが入るときは P.2-11 を参照して、お使いのメディアにあった張り具合にしてください。



- 折り返しバー取付板 (左右) の外側に付いているツマミネジを緩める
 - 折り返しバー押さえが自由に動くようになります。
- 緩めたツマミネジを持ちながら、折り返しバー押さえを手前に移動させる
 - ストッパーに当たるまで移動させてください。



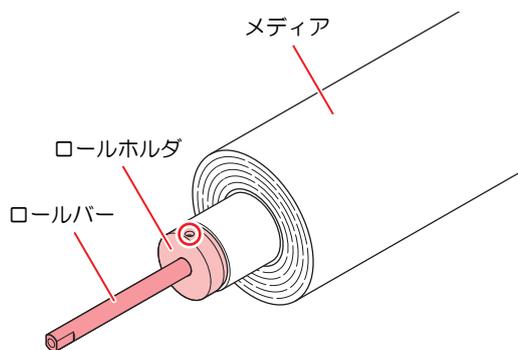
- 折り返しバーを差し込み、下げる
 - たるま型になっている穴の下の方に折り返しバーをセットしてください。
 - 折り返しバーのセット位置を確認してください。間違えた位置に差し込むと、折り返しバーの固定ができなくなります。



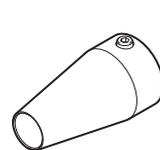
- 折り返しバー押さえを本体側へ移動し、固定する
 - 左右両方の折り返しバー取付板に対して、同様の作業をしてください。

5 メディアにロールバーを通す

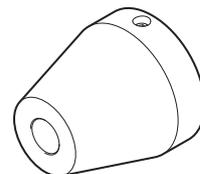
- 紙管に合ったサイズのロールホルダを取り付けてネジを締めます。



- 重要!**
- ロールホルダは、必ず奥まで差し込んでください。差し込みが甘いと、紙管が削れる場合があります。
 - ロールホルダは2種類あります。使用するメディアの紙管に合わせてお使いください。(下図参照)

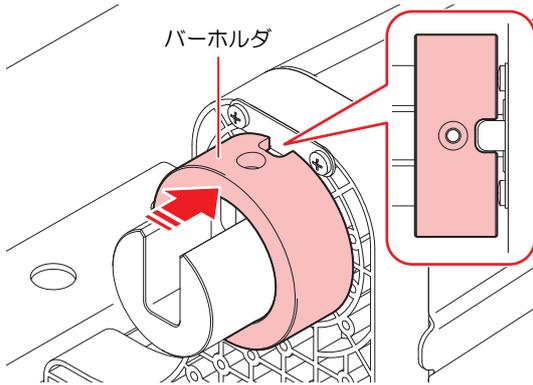


ロールホルダ S
(1~1.5 インチ用)



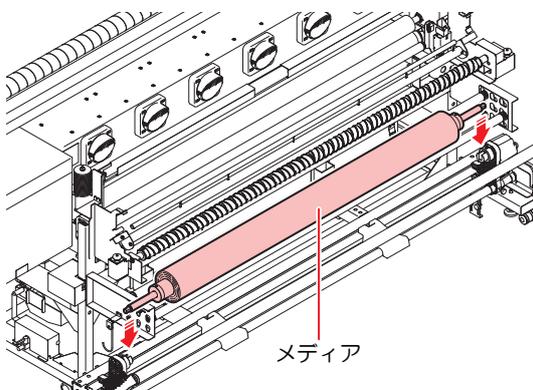
ロールホルダ L
(2~3 インチ用)

6 バーホルダをロック位置にする



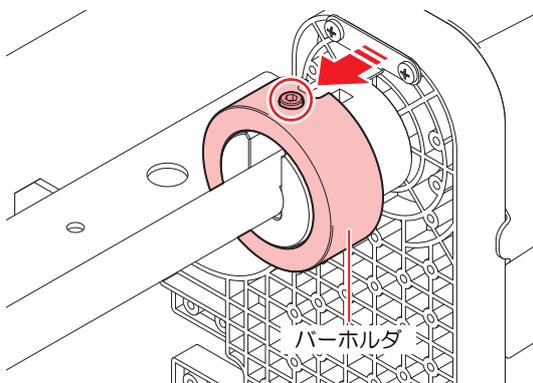
重要! ・バーホルダを奥まで押し込み、回転しないことを確認してください。

7 メディアをバーホルダにセットする

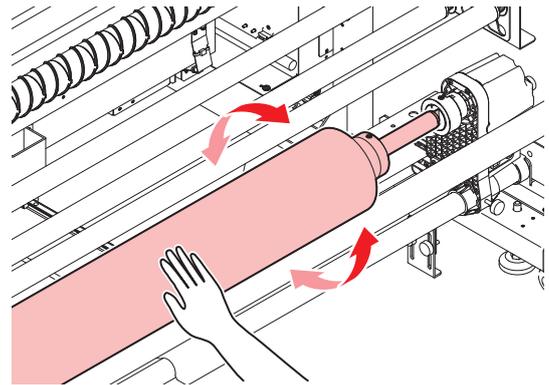


重要! ・ロールメディアをセットするときは、メディアを足などに落とさないように注意してください。メディアの重みでケガをすることがあります。
・ロールメディアをセットするときは、2人以上でセットしてください。ロールメディアの重みで腰を傷める可能性があります。

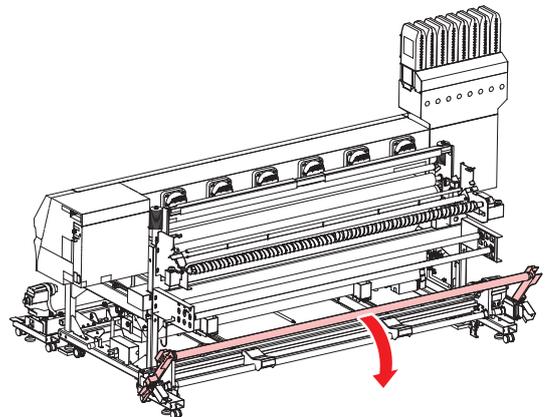
8 バーホルダをスライドさせ、ネジを閉める



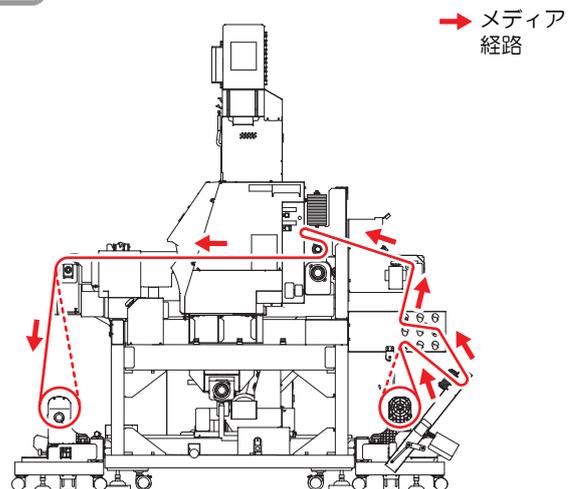
9 手でメディアを回転させ、問題なく回転することを確認する



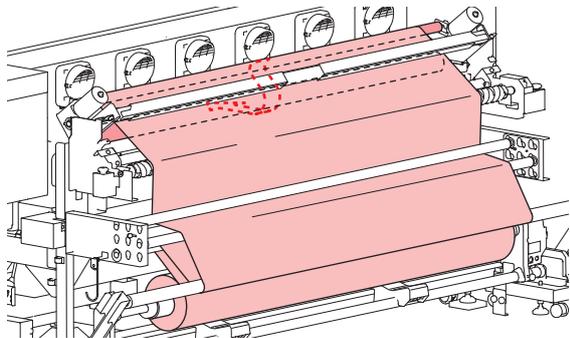
10 繰出テンションバーを下げる



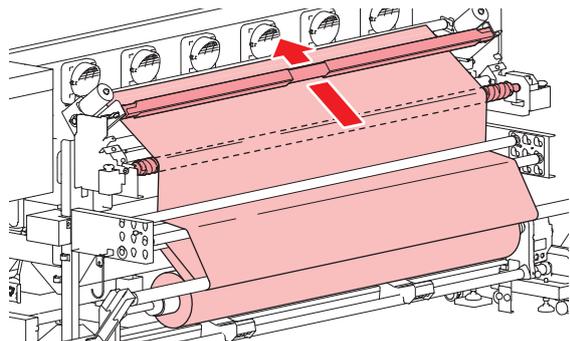
11 本機にメディアをセットする



(1) メディアの経路を参考にしてメディアをセットします。
・テンションバーと折り返しバーを使って、メディアに適切なテンションがかかるようにメディアを通してください。



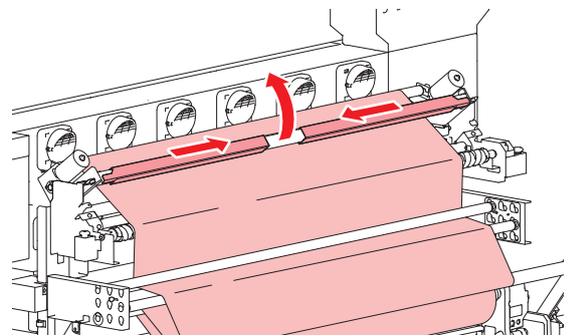
- メディアはシワ取りローラー、湾曲バーの上を通し、加圧ローラーの持ち手の下を通してください。



- (2) 持ち手を両手で持ってロックスライダ(左右)を内側に移動し、加圧ローラーをゆっくり下げてください。
- メディアが保持されます。



- 加圧ローラーは重いため、注意してください。



- シワ取りローラーを使用しない場合は P.2-22、湾曲バーを使用しない場合は P.2-22 を参照してください。

12

ENTER キーを押す

- 繰出テンションバーが動作し、繰出側メディアの検出と調整が行われます。
- 繰出側のメディアの検出が終わると、続けてメディアの巻径の検出が行われます。

13

引き剥がし機能のオン/オフを選択する

- マシン設定の“巻取ユニット”が“OFF”の場合、この設定は表示されません。
- [▲][▼]を押して ON/OFF を選択し、[ENTER] キーを押してください。

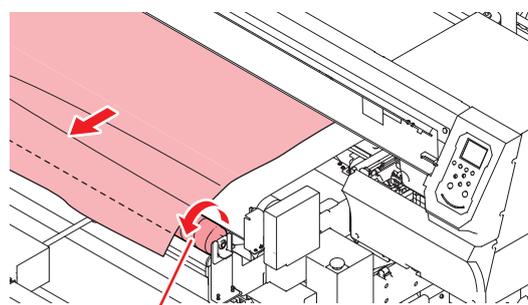


- P.2-14 「引き剥がしを使いメディアをセットする」
- P.2-14 「引き剥がしを使わずにメディアをセットする」

14

ディスプレイに“巻取ユニットにメディアをセットしてください”と表示されたら、ジョグキー (▼) のいずれかを押す

- 搬送ベルトが移動し、装置前面へメディアがフィードされます。
- 引き剥がしローラーを手で回しながら、メディアを送ってください。



引き剥がしローラー

15

メディアが巻取装置に届いたら、ジョグキーでメディアのフィードを止める

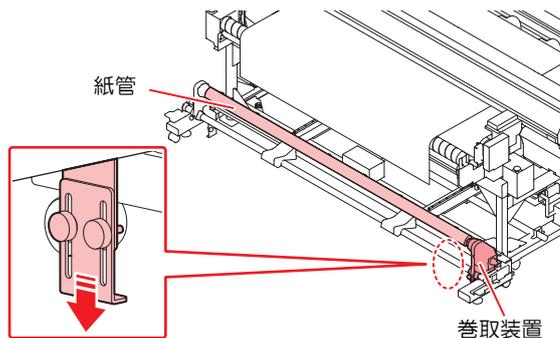
重要!

- ジョグキーにより、300mm 単位でのメディアのバックフィードが可能ですが、メディアのシワや折れの発生、ベルト洗浄水によるメディア汚染などの恐れがあります。出来るかぎり、バックフィードは行わないでください。
- 止むを得ずバックフィードを行う場合は、巻取側メディアを十分たるませる、繰出側メディアを巻き取りながらキー操作を行うなどの対策を行い、メディアの状態に注意しながら実施してください。
- バックフィードを行ったことによる、プリンタの破損、メディア損傷、プリント品質低下等の損害について、保証を致しかねますのでご注意ください。

16

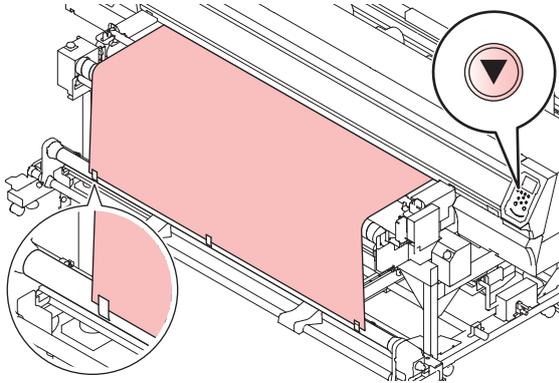
巻取装置に空の紙管をセットし、巻取脚を床に固定する

- 紙管セット後、巻取脚を床に固定させます。



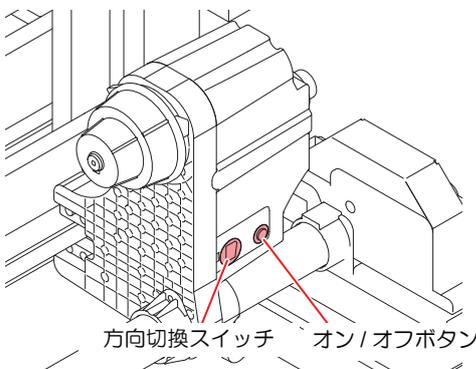
17 巻取装置にメディアを固定する

- (1) 粘着テープでメディアの中央を固定します。
 - ・必要に応じて、ジョグキーでメディアをフィードしてください。
- (2) 同様にしてメディアの左右を固定します。
 - ・ロールメディアを左右均等に引っ張り、メディアにたるみ、シワがないことを確認し、テープを貼ってください。



- 重要!**
- ・幅の広いメディアをセットする場合は、メディアの5箇所以上をテープなどで固定してください。固定箇所が多いほどメディアの張りが均等になります。
 - ・セットした布と紙管の位置がずれている場合は、ロールホルダのネジを緩め、紙管が適切な位置になるよう調整してください。
 - ・繰出側のロールが見える所まで目線を下げ、布の右端・左端が繰出側ロールの左右端位置とずれていないかチェックしてください。

18 メディア巻取装置のスイッチを使って、紙管にメディアを軽く1周ほど巻き付ける



- (1) 左側の方向切換スイッチで巻き取る方向をセットし、右側のオン/オフボタンをONにしてメディアを巻き付けます。
- (2) メディアが張ったら、右側のオン/オフボタンをOFFにして巻き付けを止めます。
 - ・メディアは1周以上紙管に巻き付けてください。
 - ・あらかじめ引き出しておいたメディアの量では紙管に1周以上巻き付けられない場合は、再度 [▼] を押してメディアをフィードし、巻取装置で巻き付けてください。

19 [ENTER] キーを押す

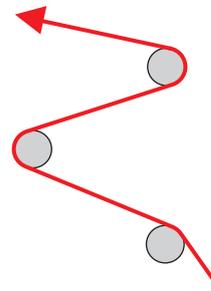
- 重要!**
- ・メディアをセットしたら、任意のデータをプリントして、メディアテンションが適正にかかっているか確認してください。プリントした画像に白または黒スジが入る場合は、セットしたメディアに適したテンションになっていません。折り返しバーの位置や、繰出/巻取テンションバーの重量調整を変更し、適正な位置になるまで確認してください。

折り返しバーの調節方法

メディアに合った適正なテンションをかけた状態でプリントするために、折り返しバーの取り付け位置や本数を調整してください。

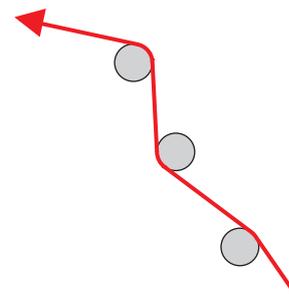
● メディアの張りが弱い場合

巻き付け角度を大きくしてください。
メディアにかかるテンションが強くなります。



● メディアの張りが強い場合

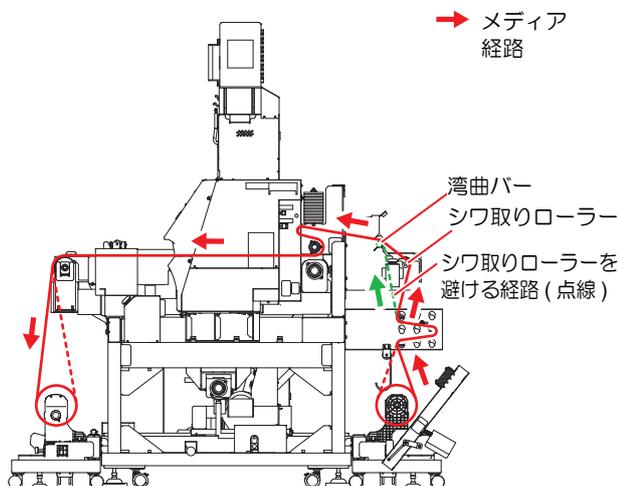
巻き付け角度を小さくしてください。
メディアにかかるテンションが弱くなります。



伸縮しにくいメディアを使うとき



- 伸縮しにくいメディアを使用するときは、シワ取りローラーを使用しないことをお勧めします。シワ取りローラーを取り外してからメディアをセットしてください。(P.2-22)
シワ取りローラーを避ける経路でメディアをセットすることもできます。



テンションバーを使わずにロールメディアをセットする

メディアをセットする際は、次の注意事項を良くご理解ください。

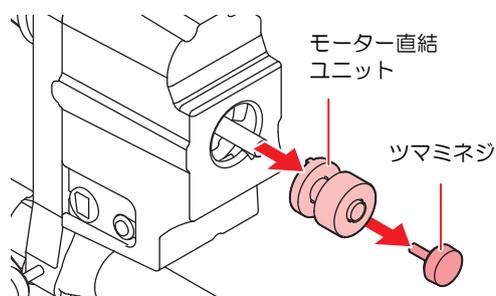
- 重要!** テンションバーを使用しないでロールメディアをセットする場合は、繰出装置に付いているモーター直結ユニットを付属のトルクリミッターに交換してください。
- テンションバーを使用しないで連続印刷する場合は、10m程度に限ります。連続印刷をする長さが10mを超える場合は、テンションバーを使用してメディアをセットしてください。

モーター直結ユニットを交換する

テンションバーを使わずにメディアを巻き取る場合、モーター直結ユニットの代わりにトルクリミッターに交換する必要があります。

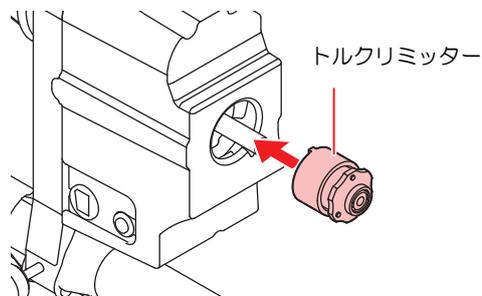
1 モーター直結ユニットを取り外す

- ツマミネジを外し、モーター直結ユニット取り外します。



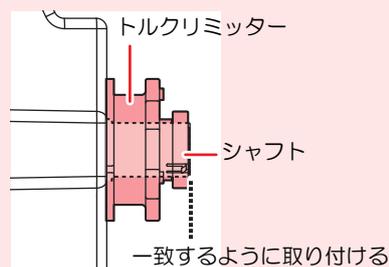
2 トルクリミッターを取り付ける

- (1) トルクリミッターを差し込む

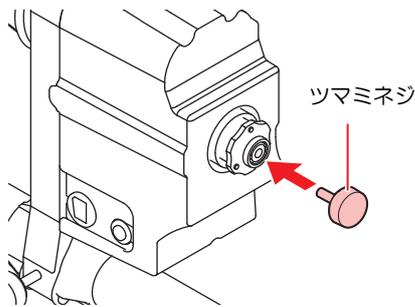


- (2) 図のように、繰出 / 巻取装置のシャフトの先端とトルクリミッターの面が一致するように取り付ける

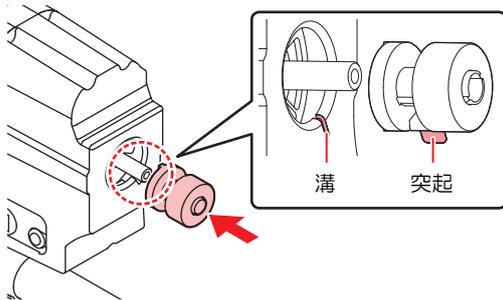
- 重要!** 図のように、巻取装置のシャフトの先端とトルクリミッターの面が一致するように取り付けてください。シャフトの先端とトルクリミッターの面が一致しない状態でお使いになると、メディアをうまく巻き取れなくなります。



(3) ツマミネジでトルクリミッターを固定する

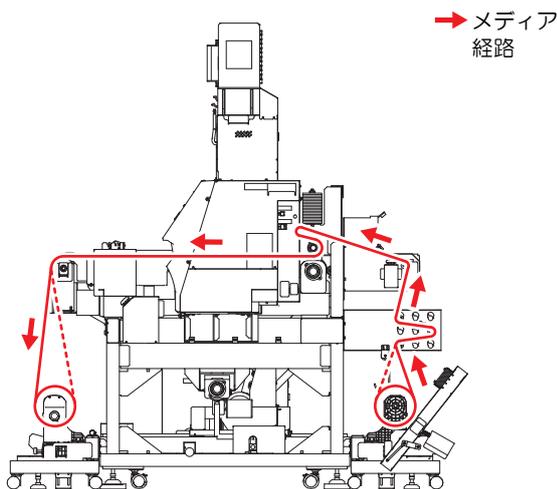


- トルクリミッターからモーター直結ユニットに付け替える場合も、上記を参考にしてください。
- モーター直結ユニットを取り付けるときは、モーター直結ユニットの突起と繰出/巻取装置の溝を合わせるようにして取り付けてください。



テンションバーを使わずにロールメディアをセットする

テンションバーを使わずに布メディアをセットするときの経路は下図のようになります。メディアをセットする前に、メディアの経路をご理解いただくと、メディアのセットをスムーズに行うことができます。



- 重要!**
- テンションバーを使わないでロールメディアをセットするときは、折り返しバーとトルクリミッターでメディアの張りを調節します。(P.2-11, P.2-17)

1 フロントカバーを閉じ、**FUNC2 (MEDIA)** キーを押す

- “繰出テンションバー”画面が表示されます。

2 メディアのセット方法に合わせて、テンションバーの使い方を選択する

- この場合は、“OFF”を選択します。(DC=モーター直結ユニット、TL=トルクリミッター、—=ユニットOFF)
- **[▲]**/**[▼]**を押して“OFF”を選択し、**[ENTER]**キーを押してください。



- 重要!**
- マシン設定の“繰出ユニット”が“OFF”の場合、この画面は表示されません。

3 繰出側のメディアをセットする

- P.2-7「テンションバーを使ってロールメディアをセットする」手順3～9までの操作をしてください。

4 メディアを巻取側へ送り、巻取装置に空の紙管をセットする

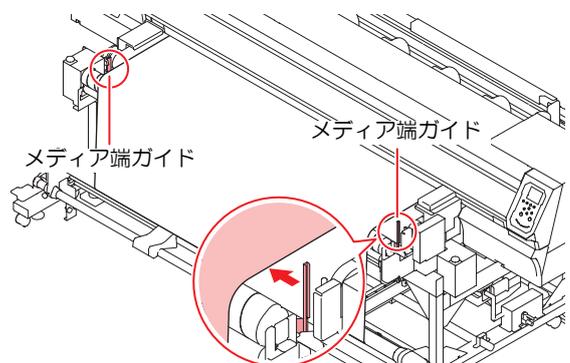
- P.2-7「テンションバーを使ってロールメディアをセットする」手順11～16までの操作をしてください。

5 メディアを紙管に固定する

- P.2-7「テンションバーを使ってロールメディアをセットする」手順17～19までの操作をしてください。

メディア端ガイドをセットする

1 メディアセット後、左右のメディア端ガイドを移動し、メディアの端に軽く押し当てる



- 布端面を、5～10mm 立ち上げるようにセットします。
- メディア端ガイドのツマミネジを締めすぎると、ガイドとベルトが接触する可能性があるので注意してください。

引き剥がしを使いメディアをセットする

- 重要!**
- 引き剥がし機能を使って巻取ユニットを使用する場合は、巻取装置にモーター直結ユニットが付いていることを確認してください。トルクリミッターが付いている場合は、以下を参照してモーター直結ユニットに交換してください。(P.2-14「モーター直結ユニットを交換する」)
 - メディアのセット作業中に引き剥がしセンサを遮ると、エラーが表示されたり巻取装置が作動したりすることがあります。
 - ラバーテープによく貼り付くメディアを使用すると、搬送不良が発生する場合があります。その場合は、ラバーテープを剥がして使用してください。

巻取ユニットにメディアをセットする

1 FUNC2 (MEDIA) キーを押し、繰出ユニットにメディアをセットする

- 詳しくは、下記を参照してください。
(P.2-7「テンションバーを使ってロールメディアをセットする」、または P.2-12「テンションバーを使わずにロールメディアをセットする」)

2 引き剥がし機能を ON にする

- マシン設定の“巻取ユニット”が“OFF”の場合、この設定は表示されません。
- [▲][▼] を押しして“ON”を選択し、[ENTER] キーを押ししてください。



3 巻取装置にメディアを固定する

- 詳しくは、P.2-7「テンションバーを使ってロールメディアをセットする」の手順 12～17 を参照してください。

引き剥がしを使わずにメディアをセットする

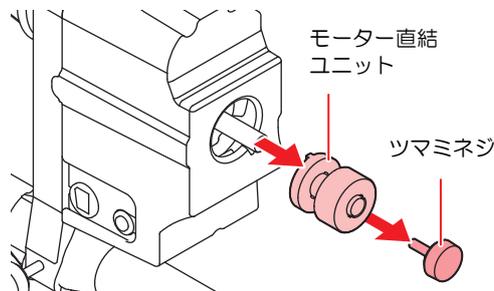
- 重要!**
- メディアの貼り付きが強い場合や、巻き取り側の紙管がメディア重量によりたわんでしまう場合、トルクリミッターによる巻き取りができない可能性があるため、引き剥がし機能を使いモーター直結ユニットによる巻き取りを推奨します。
 - 引き剥がし機能を使わずに巻取ユニットを使用する場合は、巻取装置に付いているモーター直結ユニットをトルクリミッターに交換してください。
 - ラバーテープによく貼り付くメディアを使用すると、搬送不良が発生する場合があります。その場合は、ラバーテープを剥がして使用してください。

モーター直結ユニットを交換する

引き剥がし機能を使わずにメディアを巻き取る場合、モーター直結ユニットの代わりにトルクリミッターに交換する必要があります。

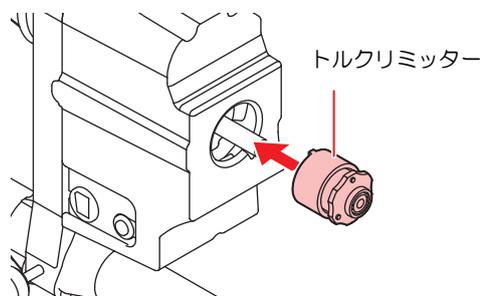
1 モーター直結ユニットを取り外す

- ツマミネジを外し、モーター直結ユニットを取り外します。



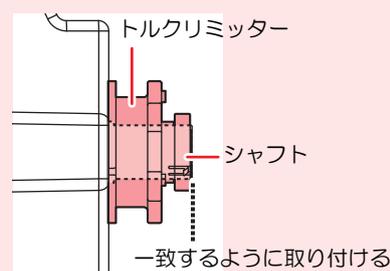
2 トルクリミッターを取り付ける

- (1) トルクリミッターを差し込む

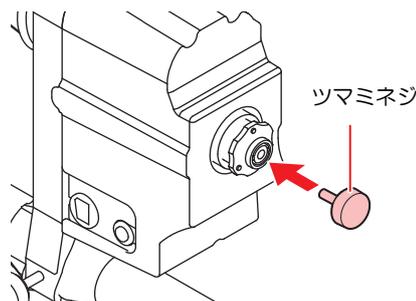


- (2) 図のように、繰出 / 巻取装置のシャフトの先端とトルクリミッターの面が一致するように取り付ける

- 重要!**
- 図のように、巻取装置のシャフトの先端とトルクリミッターの面が一致するように取り付けてください。シャフトの先端とトルクリミッターの面が一致しない状態でお使いになると、メディアをうまく巻き取れなくなります。

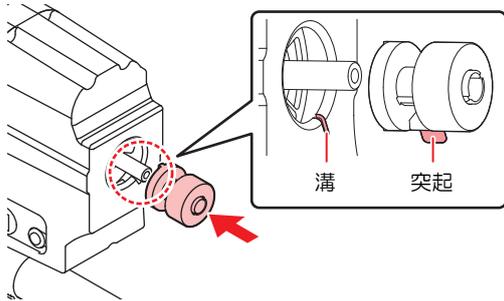


- (3) ツマミネジでトルクリミッターを固定する





- トルクリミッターからモーター直結ユニットに付け替える場合も、上記を参考にして付け替えてください。
- モーター直結ユニットを取り付けるときは、モーター直結ユニットの突起と繰出/巻取装置の溝を合わせるようにして取り付けてください。



巻取ユニットにメディアをセットする

1 FUNC2 (MEDIA) キーを押し、繰出ユニットにメディアをセットする

- 詳しくは、下記を参照してください。
 (P.2-7「テンションバーを使ってロールメディアをセットする」、または P.2-12「テンションバーを使わずにロールメディアをセットする」)

2 引き剥がし機能を OFF にする

- マシン設定の“巻取ユニット”が“OFF”の場合、この設定は表示されません。
- [▲][▼] を押しして“OFF”を選択し、[ENTER] キーを押ししてください。



3 巻取装置にメディアを固定する

- 詳しくは、P.2-7「テンションバーを使ってロールメディアをセットする」の手順 12～17 を参照してください。

メディア残量入力について

マシン設定の「メディア残量表示」の設定を“ON”にしている場合 (P.3-16)、メディア幅の検出が終了すると、メディア残量の入力画面が表示されます。

1 メディア残量入力画面を表示する



2 ▲▼ を押し、メディア残量を入力する

3 ENTER キーを押す

メディア残量プリントについて

マシン設定の「メディア残量表示」の設定を“ON”にしている場合 (P.3-16)、現在の日付とメディア残量を印刷したリストをプリントすることができます。

1 ローカルで、▲▼◀▶ を押す

- 原点設定モードになります。

2 FUNC3 キーを押す

- メディア残量プリントの確認画面が表示されます。

3 ENTER キーを押す

- メディア残量プリントを開始します。

メディア幅 設定について

次のようにしてメディア幅を設定してください。

1 メディア検出画面を表示する



2 プリントエリアの設定方法を選択する

- プリントエリアの設定方法には、ジョグキーを使ってメディアの右端と左端を設定する“MANUAL”と、メディア幅を入力した後メディアの右端位置を決定する“メディア幅入力モード”があります。
- “MANUAL”を選択した場合は、手順3へ進んでください。また、“メディア幅入力モード”を選んだ場合は、次のようにしてください。

(1) [▲][▼] を押し、メディア幅を入力する

(2) [ENTER] キーを押し、手順3からの操作をする

3 ◀▶ を押し、LED ポインタの光点をメディアの右端位置に合わせる

- [◀][▶] を押し、キャリッジを移動させ、内蔵されているLEDポインタの光をメディアの右端に合わせます。



4

ENTER キーを押す

- 次に、左端メディア位置入力画面が表示されます。手順2で“メディア幅入力モード”を選択した場合は、この画面は表示しないで設定終了します。



5

◀ ▶ キーを押して、LED ポインタの光点をメディアの左端位置に合わせる

- 手順3と同様にして、LED ポインタの光をメディアの左端に合わせます。

6

ENTER キーを押す

重要!

- オーバープリントをしない場合、メディア外へのプリントを行ってしまう場合があるので、メディアの範囲を超えて設定しないよう注意してください。

メディア厚さ入力について

マシン設定の「メディア検出」の中の厚さ入力の設定を“ON”にしている場合(※P.3-16)、次のようにしてメディアの厚さを設定してください。

1

メディア厚さ入力画面を表示する



2

▲ ▼ キーを押して、メディア厚さを入力する

3

ENTER キーを押す

メディアリセットについて

プリントエリアの設定を変更する場合やメディアを交換する場合は、次の操作を行ってから再度メディアをセットしてください。

1

ローカルで、**SEL** キーを押し、**FUNC2** (MEDIA) を押す

2

▲ ▼ キーを押して、メディアリセットの方法を選び、**ENTER** キーを押す

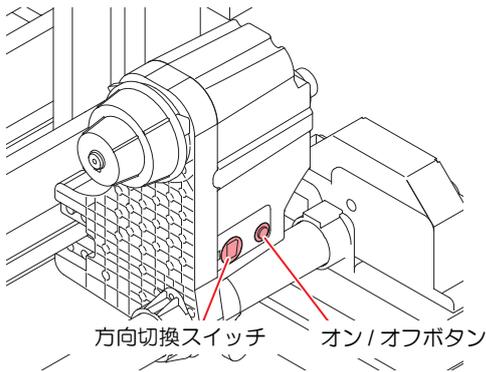
- メディアリセットの方法は、次の2種類から選択できます。
 - 幅のみ
プリントエリア設定のみリセットする。
 - 全て
メディア検出の全ての情報をリセットする。

3

ENTER キーを押す

繰出 / 巻取装置について

繰出 / 巻取装置のスイッチを使って、メディアの巻き取り方向の選択などができます。



繰出装置	方向切換スイッチ	上 (REVERSE)	<ul style="list-style-type: none"> テンションバーで内巻きのメディアを繰り出す場合 小巻き取りで外巻きのメディアにテンションをかける場合
		下 (FORWARD)	<ul style="list-style-type: none"> テンションバーで外巻きのメディアを繰り出す場合 小巻き取りで内巻きのメディアにテンションをかける場合
	オン / オフボタン		繰出動作のオン / オフを切り替える (ボタンを押して繰出装置を動作させると、再度ボタンを押すまで繰出動作を続けます。*1)

*1. オン / オフボタンを押している間だけ、繰出動作をするように設定できます。詳しくは、マシン設定の「繰出 / 巻取ユニットの設定」(P.2-4)を参照してください。

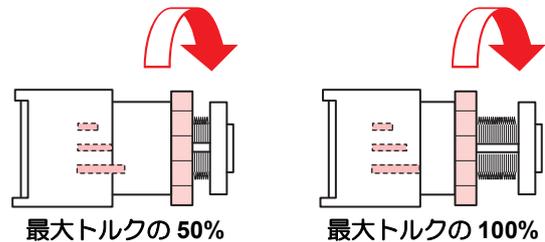
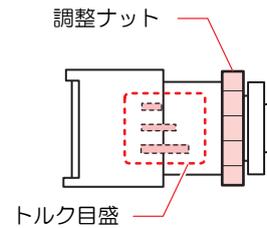
巻取装置	方向切換スイッチ	上 (REVERSE)	プリント面を内側にして巻き取る
		下 (FORWARD)	プリント面を外側にして巻き取る
	オン / オフボタン		巻取動作のオン / オフを切り替える (ボタンを押して巻取装置を動作させると、再度ボタンを押すまで巻取動作を続けます。*1)

*1. オン / オフボタンを押している間だけ、巻取動作をするように設定できます。詳しくは、マシン設定の「繰出 / 巻取ユニットの設定」(P.2-4)を参照してください。

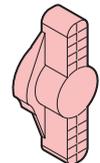
トルクリミッターを調節する

巻取 / 繰出装置には、お買い上げ時、モーター直結ユニットが付いています。繰出テンションバー、引き剥がし機能を使用しない場合には、モーター直結ユニットをトルクリミッターに交換してください。このときは、トルクリミッターを調整して、繰出 / 巻取の強さを変更できます。(工場出荷時は、トルクリミッターを“中”で設定してあります。)薄いメディアを使用してテンションが強すぎる場合は、調節を弱めてください。

- 時計回り : テンションが強くなる (重量のある厚いメディア)
- 反時計回り : テンションが弱くなる (軽いメディア)



- 重要!**
- トルクリミッターの調節が弱いとメディアを確実に巻き取ることができません。
 - トルクリミッターの調節が強いとメディアによってはたんでしまい、画質に影響する場合があります。
 - トルクリミッターの調整をするときは、付属のトルク調整ハンドルをお使いください。



- プリンタでメディアを巻き取る場合、次の2つの方法があります。
 - 巻取装置のみでメディアを巻き取る
 - 引き剥がし機能を使用してメディアを巻き取る

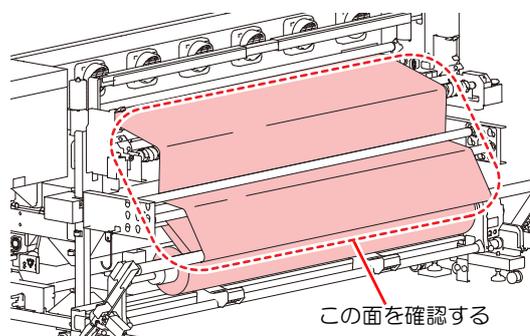
テンションバーのウェイト調整

メディアには、天然素材、合成繊維など素材の違うものから、織物、編物など製造方法の違うものなど、様々な種類があります。また、同じメディアでも前処理行程の違いなどから、伸縮性の特性が変化します。このような様々なメディアを、そのメディアに合った適正なテンションをかけた状態でプリントするために、テンションバーウェイトを調整する必要があります。

● ウェイト調整の目安

メディアに合った適正なテンションが掛かっているかを以下の現象を参考にして確認してください。適正なテンションが掛かっていない場合には、カウンターウェイトの枚数を調整する必要があります。

ウェイト	メディア表面	フィード時の状態
不足している	部分的なたるみが発生し、メディアの表面が平面になっていない。	
適正	平面を維持している。	
多すぎる	メディア表面にシワが入る。	テンションバーが上がらない、または、紙管がスリップする。



重要!

カウンターウェイトについて

- お買い上げ時、本機にカウンターウェイトは取り付けられていません。
- 1箇所に取り付けられるウェイトの最大重量は、700gです。
メディアの張り具合を確認し、適切なウェイトを取り付けてください。
- カウンターウェイトの取り付け位置によって、テンションバーの重さを変えることができます。同じ量のウェイトを上側または下側に付けたとき、上側に付けた方がテンションバーは軽くなります。(上下同時にウェイトを取り付けることはできません。)
- カウンターウェイトは、繰出側(左右2箇所)と巻取側(左右2箇所)の計4箇所取り付けられます。ウェイトを取り付けるときは、4箇所が同じ重さとなるように取り付けてください。重さが同じになっていないと、テンションバーがたわみ、プリント品質が低下することがあります。
- 使用しないカウンターウェイトは、保管箱に入れ紛失しないようにしてください。

重量調整バネについて

- お買い上げ時は、緑色のバネが取り付けられています。バネの種類を変えるまたは、バネを取り外すことにより、テンションバーの重さを変えることができます。
- 重量調整バネは、繰出側の左右2箇所調整できます。重量調整バネの強度は2箇所とも同様にセットしてください。強度が異なると、テンションバーがたわみ、プリント品質が低下することがあります。
- 重量調整バネの交換や取り外しをする際は、手袋をはめて行ってください。バネを取り付けてある軸にはグリスを塗ってあります。また、軸に塗ってあるグリスは拭き取らないでください。

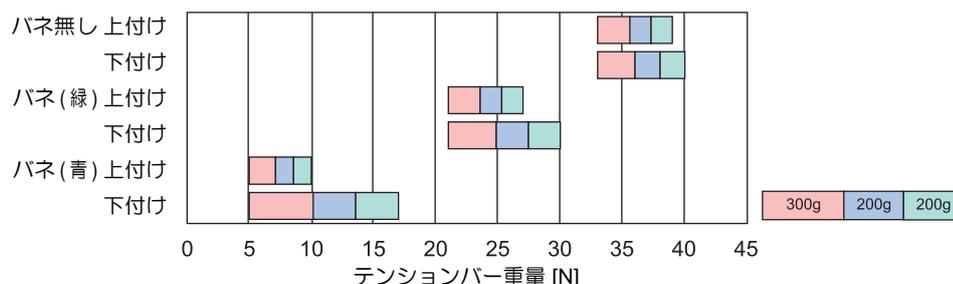
テンションバーの調整方法

- (1) 重量調整バネを変更してテンションバーの重さを調整する
- (2) テンションバーが軽すぎる場合は、カウンターウェイトを追加し、重すぎる場合はウェイトを外してください。
 - ウェイトを増減するときは、少しずつ重さを変えることをお勧めします。
 - 使用しない重量調整バネは、保管箱に入れ紛失しないようにしてください。



• 下にカウンターウェイトと重量調整バネの相関図を示します。参考にしてください。

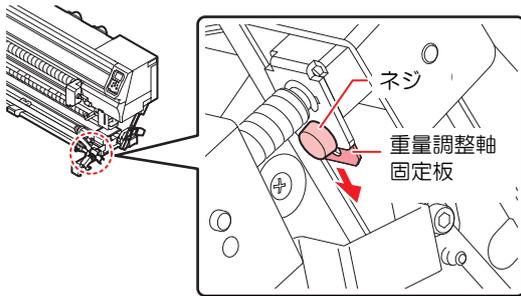
ウェイト取り付け重量 (片側)



- カウンターウェイトおよび重量調整バネの取り付けは、P.2-25「メディアの送りを設定する」でメディアの送り補正量を調整してから行ってください。

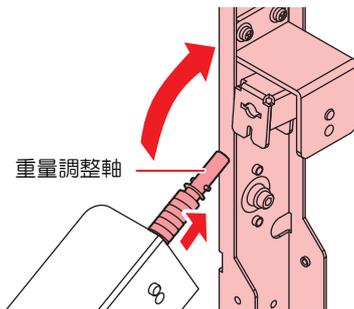
重量調整バネを取り付ける

1 ネジを緩め、重量調整軸固定板を取り外す



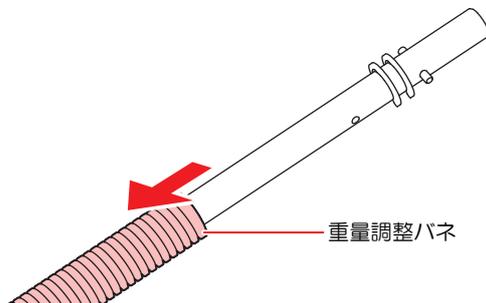
2 重量調整軸を抜き取る

- 重量調整軸に付いている穴を横に向けてからテンションバーを上げてください。



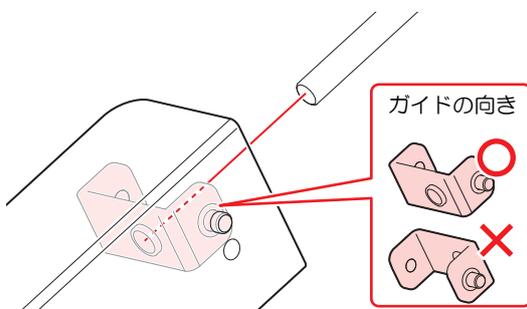
3 現在付いている重量調整バネを取り外す

- または、別のバネに付け替えてください。

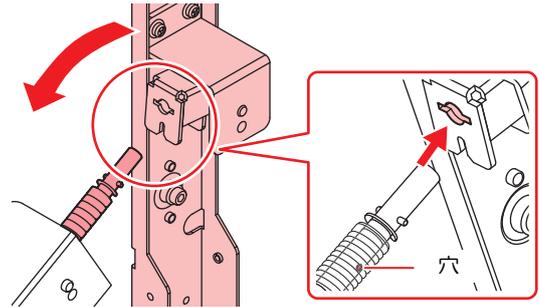


4 重量調整軸を取り付ける

- 重量調整軸を取り付けるガイドの向きに注意して取り付けてください。



5 重量調整軸に付いている穴を横に向けて差し込み、重量調整軸固定板を奥まで差し込む



6 ネジを締める

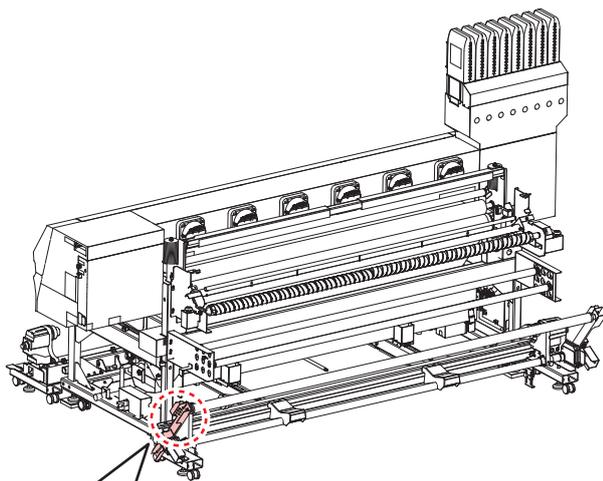
テンションバーの重量調整用カウンターウェイトの取り付け



- 右図のカウンターウェイト (50g x 28 枚) が添付されている場合は、以下のようにしてカウンターウェイトを取り付けます。
- メディアの張り具合を確認し、適切なウェイトを取り付けてください。

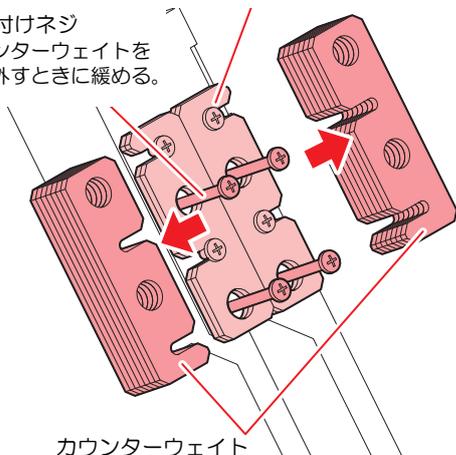


メディアの性質によって、カウンターウェイトを取り付けてください。
カウンターウェイトは、左右それぞれに最大 14 枚まで取り付けることができます。



最初から付いているウェイトは外さないでください。
また、ウェイトを止めているネジを外さないでください。

取り付けネジ
カウンターウェイトを
取り外すときに緩める。



カウンターウェイト



- 一番下のカウンターウェイトを取り付け / 取り外したいときは、取り付けネジを十分に緩めてください。ネジが十分に緩んでいないと、最初から付いているウェイトのネジにカウンターウェイトが引っかかり、外れないことがあります。

原点を変更する場合は

プリント原点の位置を変更することができます。
変更したい位置へLEDポインタを移動させて決定します。

- 1 ローカルで、 を押す
• 原点設定モードになります。



- 2 を押して、LEDポインタの光点を変更したい位置へ合わせる

- [**▲**][**▼**][**◀**][**▶**] でキャリッジとメディアを移動させて選びます。

- 3 プリント原点を決定したら、**ENTER** キーを押す

- 原点が変更されます。

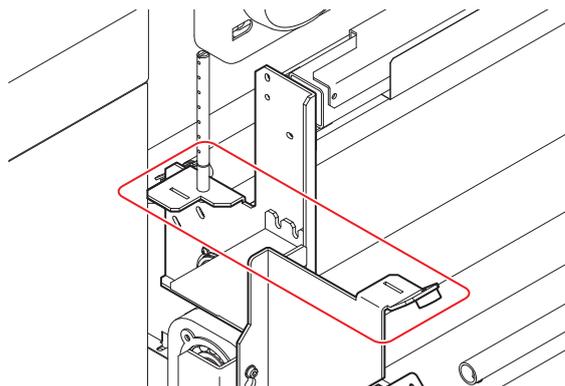
加圧ローラーのウェイト調整

メディアが強く貼り付いて引き剥がせなかったり、メディアの貼り付きが弱くて浮いてしまったりする場合は、加圧ローラーのウェイトを調整してください。

● メディアの貼り付きが強い場合

図の赤枠内に、付属のバネを取り付けてください。
(左右)

加圧ローラー調整バネ強	2 個
加圧ローラー調整バネ弱	2 個

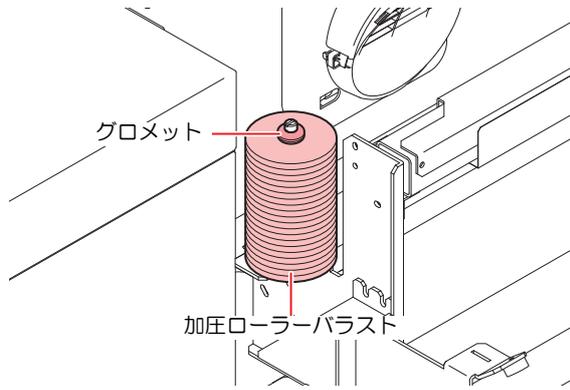


● メディアの貼り付きが弱い場合

図の赤枠内に、付属のウェイトを取り付けてください。
(左右)

加圧ローラーバラスト	40 個 (片側 20 個)
------------	----------------

- 重要!** • ウェイトの取り付け後に、必ず付属のグロメットを取り付けてください。

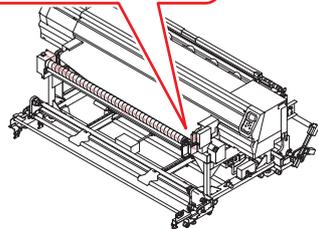
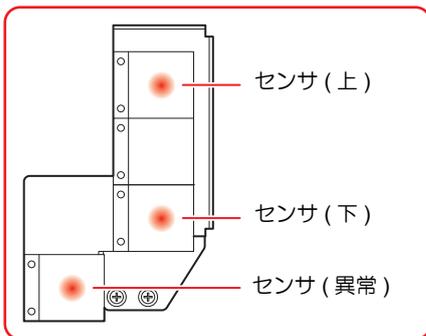


引き剥がしセンサの位置調整

メディアの種類、地張り剤の状態により、メディアが正常に引き剥がれないことがあります。引き剥がしセンサの位置の確認と調整を行ってください。

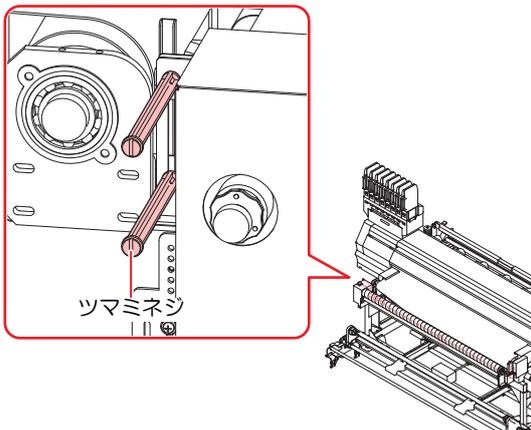
1 引き剥がしセンサの位置を確認する

- 装置右側にある反射板の中で、引き剥がしセンサの光が当たっている位置を確認してください。



2 センサ位置を調整する

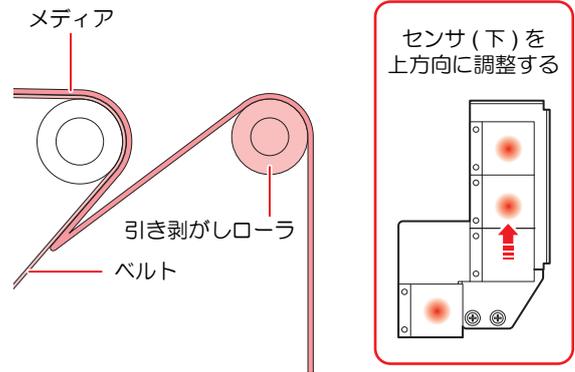
- 図を参考に、引き剥がしセンサ部のツマミネジ 2箇所を緩め、センサ位置を調整してください。



センサ位置の目安

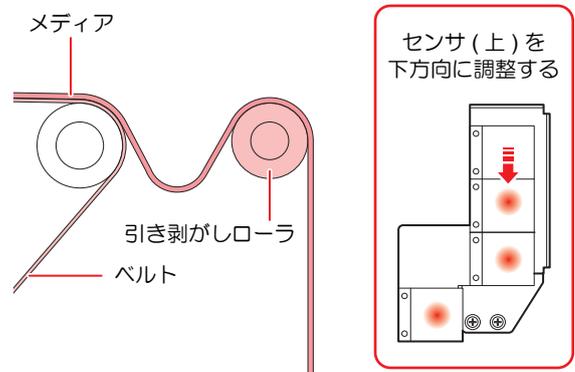
●メディアの貼り付きが強い場合

センサ(異常)を検出する可能性があるため、センサ(下)を上方向に調整してください。



●メディアの貼り付きが弱い場合 (特に巻取ロール径が大きい場合)

センサ(上)を下方向に調整してください。



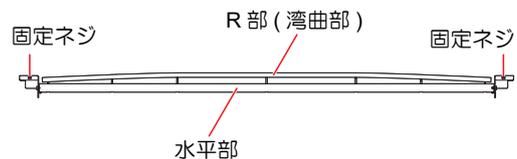
- 検出が不安定になるので、各反射板の端から約5mm内に光が当たるように、センサ位置を調整してください。

湾曲バーを使ってメディアのたるみを取る

布左右端ガミング処理部が布中央に対して極端に長さが短いメディア(床に広げると布中央が大きくたるんでいるもの)をお使いの場合は、必ず湾曲バーを使用してたるみを取ってください。

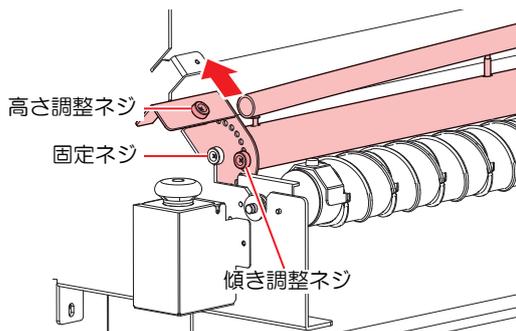


湾曲バーの角度調整



- 湾曲部の位置(角度)は、布の状態に合わせて調整が必要です。
- 布セット後、湾曲バー部で、布左右端が少したるむ程度の位置が目安です。
- メディアの状態に合わせて、湾曲バー使用角度を変更してください。
水平部：通常使用します。
R部(湾曲部)：中央にたるみのある布に使用します。

- 重要!** 湾曲バーを使用する場合は、センター基準でメディアをセットしてください。



高さ調整ネジ：メディア中央のたるみが解消されない場合に、湾曲バーを一段上にセットします。
傾き調整ネジ：メディアの状態に応じて湾曲バーの角度を調整します。

1 湾曲バー側面の傾き調整ネジを外し、湾曲バーの角度を調整する

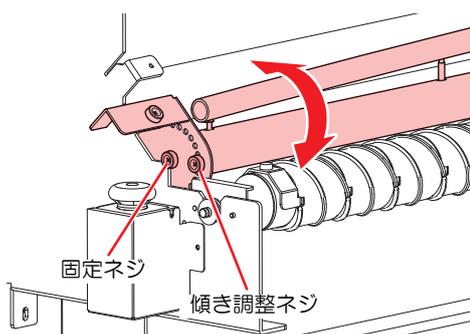
- (1) 傾き調整ネジを外し、固定ネジを緩めます。
- (2) 湾曲バーを回転させ、当たり量を調整します。
- (3) 傾き調整ネジと固定ネジで、湾曲バーを固定します。

2 メディア中央のたるみが解消されない場合、高さ調整ネジを一段上にセットする

湾曲バーを使わないとき



- 湾曲バーを使わない場合は、傾き調整ネジ(左右)を外し、固定ネジ(左右)を緩めてください。その後、メディアに湾曲部が当たらない位置に湾曲バーを回転させ、再び固定してください。



- 重要!** 湾曲バーを使わない場合でも、取り外したままにしないでください。加圧ローラーを下げたときにメディア同士が干渉することがあります。

シワ取りローラーの取り外しとコマ入れ替え

シワ取りローラーは、布を加圧ローラーで搬送ベルトに貼り付ける際、シワが入ることを防止します。

布のセット位置は中央が基準となっています。幅の狭い布も必ず搬送ベルトの中央にセットしてください。

ただし、下記の場合には、シワ取りローラーのコマを付け替えることによって、布の中央部を変更することができます。

- 作図時間を短縮するため、右寄せにして布をセットする場合
- 通常使用が800mm幅以下の布で、左または右端に寄せ、地張り剤寿命を延ばす場合



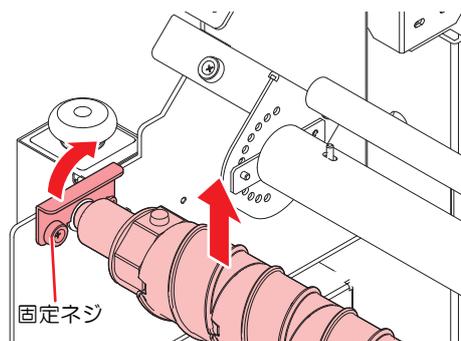
- シワ取りローラーの動作中は、手や衣服等を近づけないでください。巻き込まれるとケガや骨折の恐れがあります。



- 幅の広いメディアを使用する場合、布端のヨレやほつれなどがシワ取りローラー両端にある固定ツマミネジに巻き込まれる恐れがあります。そのようなメディアをセットする場合は、布の端面を切断してからセットしてください。

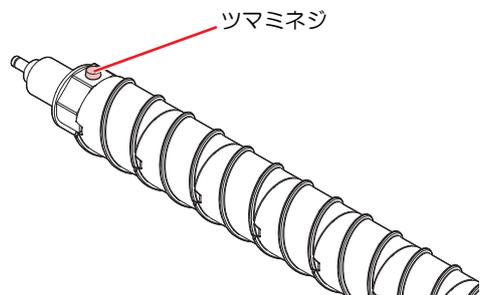
1 本機背面左側にあるシワ取りローラーの固定ネジを外し、シワ取りローラーを取り外す

- 外すときは、上に上げて左にスライドさせてください。



- 軸を上にして外してください。シワ取りローラーが外れ、本機を破損する原因になります。

2 シワ取りローラー左右端に付いているツマミネジを緩め、固定コマを入れ替える

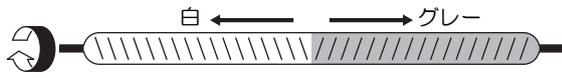


- 固定コマの入れ替えについては、「コマ位置を移動する」(P.2-23)を参照してください。

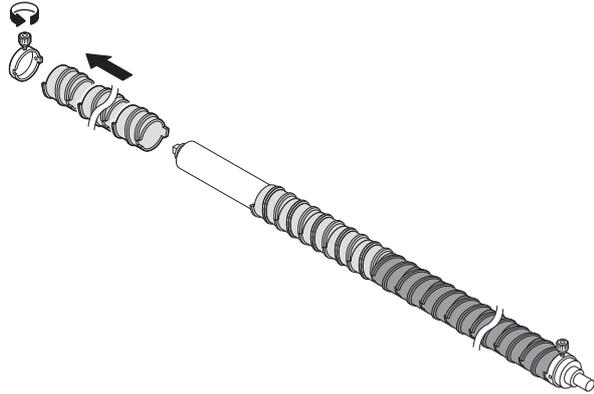
3 シワ取りローラーを元に戻す

コマ位置を移動する

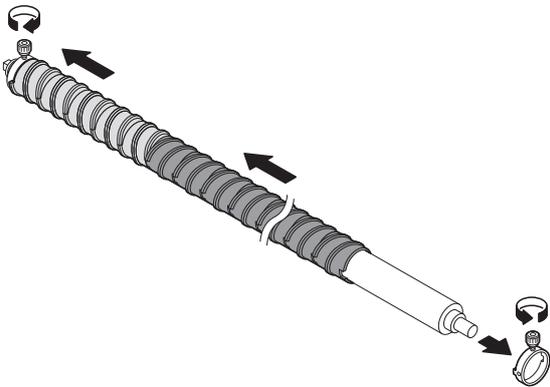
次の図のように、コマの中央位置を移動させることができます。
シワ取りコマは、回転方向の違いにより 2 つの色に分かれています。



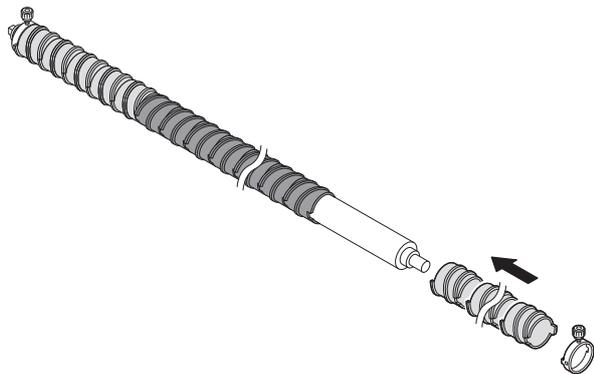
- 1** メディアの中央位置によって、ツマミネジを外し、左側の固定コマをいくつか外す



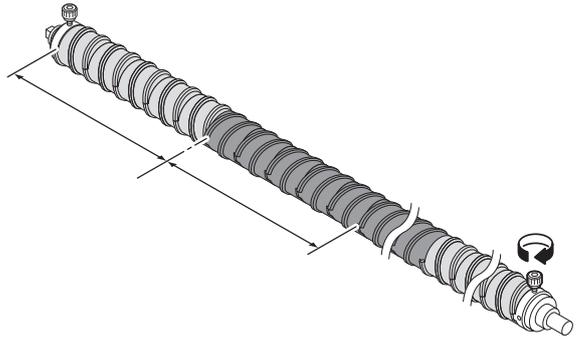
- 2** 左側に固定コマを詰め、ツマミネジで固定し、右側のツマミネジを外す



- 3** 手順 1 で取り外した固定コマを右側から追加する



- 4** ツマミネジで固定する



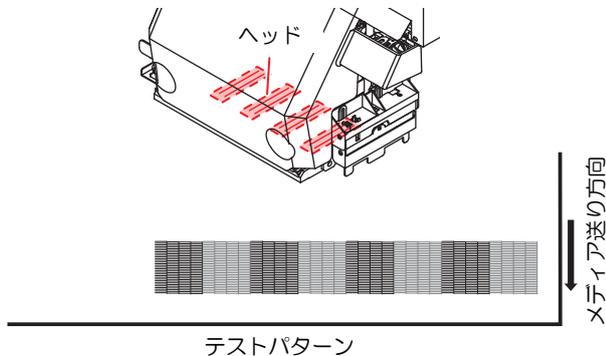
以上の作業でコマの中央位置が変更されます。

テストプリントをする

テストパターンをプリントして、ノズル詰まりなどの吐出不良(カスレや抜け)がないか確認します。

ヘッドの配列とテストパターンの関係

ヘッドの配列とプリントしたテストパターンのプリント位置は、下図の通りです。



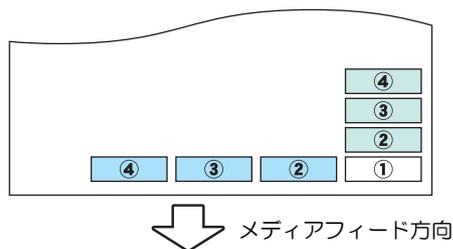
テストプリントに関する注意事項

- 重要!**
- リーフメディアを使用する場合、A3 サイズ横置き以上のサイズのメディアをセットしてください。幅の狭いメディアをセットすると、途中までしかプリントされません。
 - ロールメディアを使用する場合、プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にしてください。画質不良の原因になります。

テストプリントを行う

テストパターンをプリントして、ノズル詰まりなどの吐出不良(カスレや抜け)がないか確認します。

また、テストプリントを繰り返し実行するときのために、プリントするテストパターンの配置方向を次の2種類から選択することができます。使い方に合わせて選択してください。



- : 配置方向が“フィード方向”のとき
- : 配置方向が“スキャン方向”のとき

テストプリントの前に確認してください

- メディアをセットしているか [P.2-4](#)
- 原点位置をセットしているか
- ヘッド高さを調整しているか [P.2-5](#)
- ノズルリカバリ機能を使う場合、必要な設定をしているか [P.4-14](#)

1 ローカルで、**FUNC2** (TEST PRINT/CLEANING) を押し、**ENTER** キーを押す

- テストプリントの配置方向選択画面が表示されます。

2 **▲▼** を押して、テストパターン(スキャン方向/フィード方向)の配置方向を選択する

- ここで変更した配置方向は、次回プリント時にも反映されます。
- 配置方向を“スキャン方向”から“フィード方向”に変更してテストプリントを実行すると、1つ目のテストプリントの位置に改行されます。

3 **ENTER** キーを押す

- ノズルリカバリの設定選択画面が表示されます。

重要!

- メンテナンスメニューの「ノズルリカバリ」でリカバリノズルを登録 ([P.4-14](#)) していない、またはテストプリントの設定 ([P.4-16](#)) を“ON”にしていない場合は、そのままテストプリントを開始します。手順6へ進んでください。

4 **▲▼** を押して、ノズルリカバリのON/OFFを選択する

- ここで変更した配置方向は、次回プリント時にも反映されます。
- ON** : メンテナンスメニューのノズルリカバリで登録したノズルを他のノズルでリカバリしたパターンをプリント
- OFF** : リカバリしないでパターンをプリント

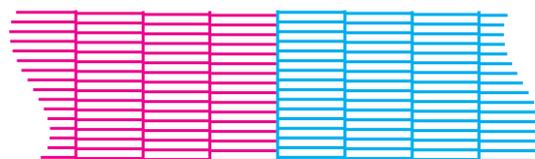
5 **ENTER** キーを押す

- テストプリントを開始します。
- プリントが終わると、ローカルに戻ります。

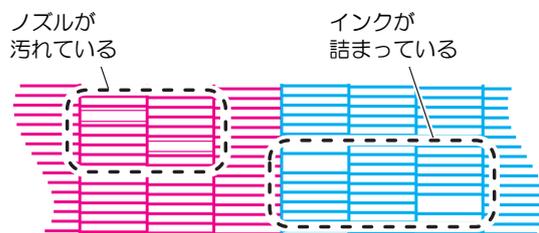
6 プリント結果を確認する

- 正常な場合は、操作を終了します。
- 異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。([P.2-26](#))

正常なパターン



異常なパターン



メディアの送りを設定する

メディアの送り量を補正してください。

補正值が適切でない場合、プリントした画像に縞が入るなど、きれいにプリントできない場合があります。

重要!

- メディアの種類を変更した場合、パターンを確認し状況に応じて調整を行う必要があります。
- 巻取装置を使用している場合、あらかじめメディアをセットした状態でメディア補正を行ってください。

メディア送り補正の流れ

メディア送り補正は、次のような流れで行ってください。

1

フィード補正の設定値が“0”になっていることを確認する

「フィード補正の設定」(☞ P.2-26) を参照してください。

2

引き剥がしローラーのトルクを最大にする

「トルクリミッターを調節する」(☞ P.2-17) を参照してください。

3

補正パターンをプリントする

「フィード補正の設定」(☞ P.2-26) を参照してください。

4

パターンを確認して、繰出/巻取テンションバーのカウンターウェイトの調節をする

「テンションバーのウェイト調整」(☞ P.2-18) を参照してください。

5

カウンターウェイトの調整で補正しきれない場合、トルクの調節をする

「トルクリミッターを調節する」(☞ P.2-17) を参照してください。

6

カウンターウェイトとトルクの調整で補正しきれない場合、フィード補正の設定で補正值を入力する

「フィード補正の設定」(☞ P.2-26) を参照してください。

2

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングについて

プリントしたテストパターンの結果を確認して、症状に合わせたクリーニングを行います。
次の3種類から選んでください。

- ノーマル : 線の抜けがあるとき
- ソフト : ヘッドワイブのみ実行したいとき(線の曲がりがある場合)
- ハード : ノーマル、ソフトでクリーニングを実行しても画質不良が改善しないとき

テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニングを行う

ヘッドクリーニングには、3種類あります。パターンプリントの結果によって使い分けてください。

- 1 ローカルで、**(FUNC2)** (TEST PRINT/CLEANING) → **(ENTER)** キーを押す
 - ・クリーニングメニューが表示されます。
 - 2 **(▲)** **(▼)** を押して、クリーニングタイプを選択する
 - ・ノーマル : 線の抜けがあるとき
 - ・ソフト : ヘッドワイブのみ実行したいとき (線の曲がりがある場合)
 - ・ハード : ノーマル、ソフトでクリーニングを実行しても、プリント不良が改善しないとき
 - 3 **(ENTER)** キーを押す
 - 4 再度テストプリントを実行し、プリント結果を確認する
 - ・プリント結果が正常になるまで、クリーニングとテストプリントを繰り返してください。
-  ヘッドクリーニングを実行しても画質品質が改良されない場合
- ・ワイパーとインクキャップのクリーニングをする (P.4-6)
 - ・ヘッドノズルの洗浄をする (P.4-7)

フィード補正の設定

お使いになるメディアの種類に合わせて、メディアの送り量を補正してください。
補正値が適切でないと、プリントした画像に縞が入るなど、きれいにプリントできない場合があります。

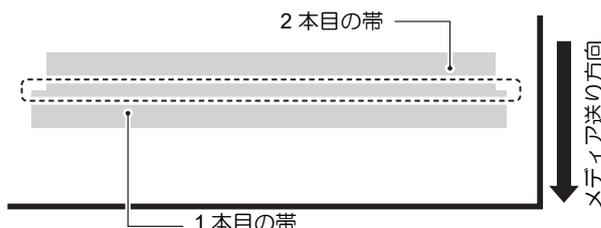
- 重要!**
- ・ロールメディアをご使用の場合、フィード補正を終了すると、プリント原点位置までメディアが戻り、本機背面のロールメディアにたるみが生じます。プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たるみのない状態にセットしてください。画質不良の原因になります。
 - ・巻取装置を使用している場合、あらかじめメディアをセットした状態でフィード補正を行ってください。

フィード補正の設定

補正パターンをプリントして、メディア送り量の補正を行います。



- ・補正パターンでは2本の帯をプリントします。
- ・2本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。



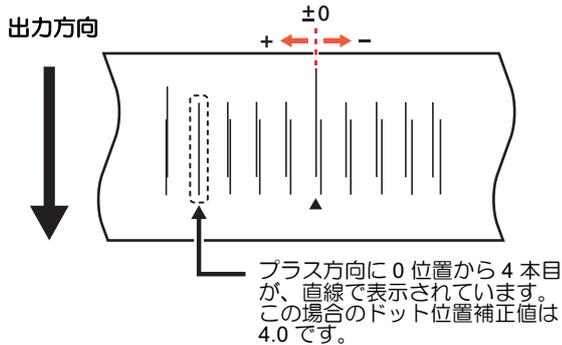
- 1 メディアをセットする (P.2-4)
- 2 ローカルで **(SEL)** キーを押し、**(FUNC2)** (ADJUST) を押す
 - ・調整メニューが表示されます。
- 3 **(ENTER)** キーを2回押して、補正パターンをプリントする
- 4 補正パターンを確認し、補正値を入力する
 - ・補正値の入力画面が表示されます。
 - ・“+”に入力すると:
2本の帯の間隔が広がる方向に移動します。
 - ・“-”に入力すると:
2本の帯の間隔が近づく方向に移動します。
 - ・補正値を“30”変更することにより、約0.1mm帯が移動します。

ドットの位置がずれたら

プリント時の条件 (メディアの厚み / インクの種類など) が変わったときは、次の操作をして双方向 (Bi) プリント時のインクの落下位置を補正し、適正なプリント結果を得られるようにしてください。

- 重要!** ・リーフメディアを使用する場合、A3 サイズ横置き以上のサイズのメディアをセットしてください。幅の狭いメディアをセットすると、途中で止まらずにプリントされません。

パターンプリント例



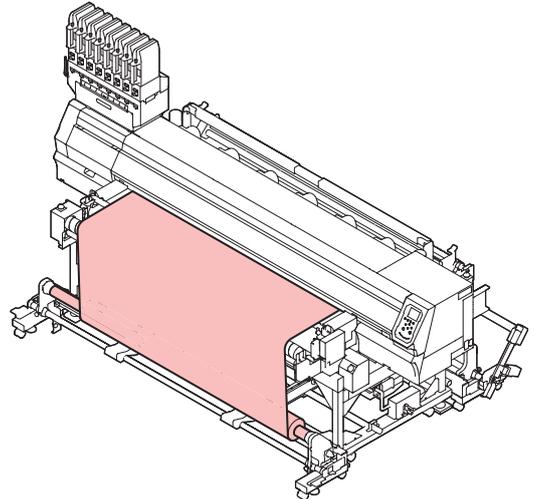
- 1** ローカルで **SEL** キーを押し、**FUNC1** (ADJUST) を押す
 - 調整メニューが表示されます。
- 2** **▼** を押し、**ENTER** キーを押す
 - “ドット位置補正” が選択されます。
- 3** **ENTER** キーを押す
 - ドット位置補正のパターンプリントを開始します。
 - 複数のテストパターンをプリントします。(プリント順にパターン 1,2,3... と呼び)
- 4** **▲** **▼** を押してパターン 1 の補正値を入力し、**ENTER** キーを押す
 - 補正値: -40 ~ 40
 - テストパターンを確認し、往路と復路が 1 本の直線になっている位置が補正値となります。
 - 補正値が -40 ~ 40 の間でない場合は、ヘッドの高さを調整後、手順 2 から操作をし直してください。
- 5** 手順 4 と同様にして、パターン 2~ の補正値を入力し、**ENTER** キーを押す
- 6** 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

データをプリントする

プリントを開始する

- 重要!** ・ロールメディアを使用する場合、プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たるみのない状態にしてください。画質不良の原因になります。

1 メディアをセットする (参照 P.2-4)



2 ローカルで、**FUNC3** (REMOTE) キーを押す

- リモートモードになり、コンピュータからのデータを受信できるようになります。

3 コンピュータからプリントするデータを送信する

- 状態表示ランプが点滅し、プリント条件が表示されます。
- データの送信方法については、出カソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

解像度: 360 / 540 / 720 / 1080 DPI

現在の設定番号

16p: パス数
Bi: スキャン方向
 Uni/ 単方向
 Bi/ 双方向
Hi: スキャン速度
 Std/ 標準速
 Hi/ 倍速
Vd: データタイプ
 Vd/ バリアブルデータ
 Nd/ ノーマルデータ

波形

プリント終了したメディアの長さ

ノズルリカバリの動作状況
 OFF: 登録なしまたは、リカバリ動作不可能なプリントモード
 NRS: 動作中 (全ノズルのリカバリが可能)
NRS: 動作中 (一部ノズルのリカバリが不可能)

MAPS4 設定
 S: AUTO
 M: MANUAL

4 プリント開始

- 解像度によっては同じデータをプリントしても、セットしたメディアの幅やプリント原点の位置によってプリント速度が変化する場合があります。

プリントを中止する

プリントを途中で中止する場合、次の操作をしてください。

1 プリント中に、**FUNC3** (LOCAL) を押す

- プリント動作を中止します。
- コンピュータからデータを送信している場合は、コンピュータ側でデータ送信を止めます。
- 再度 [REMOTE] キーを押すと、中断したデータからプリントを再開します。

受信したデータを消去する (データクリア)

プリントを中止したいときは、受信済みのデータを消去してください。

1 ローカルで **SEL** キーを押し、**FUNC3** (DATA CLEAR) を押す

2 **ENTER** キーを押す

- 受信データを消去し、ローカルに戻ります。

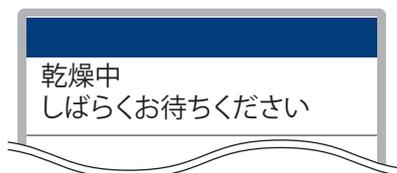
プリント完了後の動作

乾燥フィード

マシン設定の「乾燥フィード」の設定を“OFF”以外に設定している場合、プリントが完了すると印刷面を外部ヒーターによって乾燥させるため、フィード動作を行います。

- プリントの後端がヒーターを通過するまでフィード動作を行います。
- [END/POWER] キーを押すと動作を中止します。
- 連続して次のデータを受信している場合、最後のデータ完了後のみ動作します。

乾燥フィード中の画面表示



メディアのムダを減らす

繰出/巻取装置を使用したときの、メディアの前端部分にもプリントしたい場合、以下の手順を行うことで無駄なくプリントを行うことが可能です。

メディア前端のムダを減らす

1 マシン設定の“繰出/巻取ユニット”の“巻取ユニット”を“OFF”にする

- 詳しくは、P.2-4「繰出/巻取ユニットの設定」を参照してください。

2 プリントを開始する

- メディア前端が、巻取側の紙管に巻き付けられる位置までプリントしてください。

3 **FUNC3** (LOCAL) を押し、プリントを中止する

4 マシン設定の“繰出/巻取ユニット”の“巻取ユニット”を“ON”にする

- 引き剥がしを使用する場合、“引き剥がし”を“ON”にして巻取装置にモーター直結ユニットを取り付けてください。

5 **FUNC3** (REMOTE) を押し、プリントを再開する

第3章 セットアップ



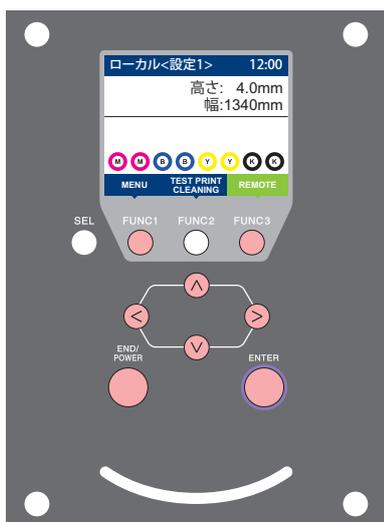
この章では ...

本機の各種設定方法について説明しています。

設定メニューについて	3-2	PG 着弾調整の設定	3-16
設定メニュー一覧表	3-3	メディア検出の設定	3-16
使い方に合わせた最適なプリント条件を 登録する	3-4	乾燥フィードの設定	3-17
フィード補正の設定	3-5	言語の設定	3-17
ドットの位置がずれたら	3-6	時刻の設定	3-17
ロジカルシークの設定	3-7	単位 (温度 / 長さ) の設定	3-17
重ね塗りの設定	3-7	キープザーの設定	3-18
乾燥時間の設定	3-8	確認フィードの設定	3-18
フィード速度の設定	3-8	余白フィード方式の設定	3-18
MAPS4 の設定	3-8	ネットワークの設定	3-19
オートクリーニングの設定	3-10	イベントメール機能の設定	3-20
定期ワイピングの設定	3-11	設定した内容を初期状態に戻す	3-23
外部ヒーターの設定	3-11	ノズルチェックメニューについて	3-24
メディア送り量を変更して画質を向上させる (ベルト補正)	3-11	ノズルチェックメニュー一覧表	3-24
ベルト洗浄の設定	3-11	印刷中ノズルチェックの流れ	3-25
メンテナンス目安時期を設定する (カウンターリミット)	3-12	「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生時の 印刷動作	3-25
マシン設定メニューについて	3-13	印刷中ノズルチェックの設定	3-26
マシン設定メニュー一覧表	3-14	自動ノズルリカバリの設定	3-26
オートパワーオフの設定	3-15	判定条件の設定	3-26
トップブロウの設定	3-15	情報メニューについて	3-27
メディア残量表示の設定	3-16	情報メニュー一覧表	3-27
		情報を表示させる	3-28

設定メニューについて

設定メニューでは、普段使用するメディアに合わせてプリント条件を設定することができます。



- FUNC1** : 設定メニューを選ぶとき、または、1つ前の画面に切り替えるときに押す
- FUNC3** : 次の画面に切り替えるときに押す
- ▲ ▼** : 設定項目を選択するときに押す
- ENTER** : 設定を確定するときなどに押す

◆ 設定メニュー一覧

設定1～4またはTemporaryを選び、**ENTER** キーを押す

設定メニュー一覧表

- 重要!**
- 次の各設定項目については、接続しているホスト PC でお使いの RIP ソフトウェアからプリント時に指定した設定値に従って動作するように設定できます。
 - 設定項目:** ロジカルシーク / 重ね塗り / 乾燥時間 / マージン (左右) / フィード速度
 - 各項目を“ホスト”に設定すれば、RIP の設定内容に従って動作します。本機での設定を優先させたいときは、“ホスト”以外に設定してください。
 - RIP ソフトウェアでの指定方法については、RIP ソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

機能名称		設定値	RIP から指示がない場合 ^{*1}	概要	
フィード補正 (P.3-5)		-9999 ~ 0 ~ 9999	_____	メディアの送り量を補正するためのパターンをプリントし、補正します。	
ドット位置補正 (P.3-6)		-40.0 ~ 0 ~ 40.0	_____	往復プリントにおける、着弾位置の調整を行います。	
ロジカルシーク (P.3-7)		ホスト / ON / OFF	OFF	プリント中のスキャン可動範囲を設定します。	
重ね塗り (P.3-7)		ホスト / 1 ~ 9 回	1 回	インク重ね塗りの回数を設定します。	
乾燥時間 (P.3-8)	スキャン	ホスト / 0.0 ~ 9.9 sec	0 sec	インクの乾燥時間を設定します。	
	プリントエンド	ホスト / 0 ~ 120 min	0 min		
フィード速度 (P.3-8)		ホスト / 10 ~ 100%	100 %	プリント中などにメディア送りをする速度を変更します。	
オートクリーニング (P.3-10)	デフォルト、ファイル、距離、時間		_____	プリント前またはプリント中に行う、ヘッドの自動クリーニング動作を設定します。	
	デフォルト		使用インク種 / 環境による		_____
	ファイル	間隔	1 ~ 1000		_____
		タイプ	ノーマル / ソフト / ハード		_____
	距離	間隔	0.1 ~ 100.0m		_____
		タイプ	ノーマル / ソフト / ハード		_____
	時間	間隔	10 ~ 480min	_____	
タイプ		ノーマル / ソフト / ハード	_____		
クリーニング後チェック		ON / OFF	_____	オートクリーニング後にノズルチェックを実行する / しないを設定します。	
実行タイミング		ファイル間 / プリント中	_____	「距離」または「時間」を選択した場合の、クリーニング実行タイミングを設定します。	
定期ワイピング (P.3-11)		3 ~ 255 分, OFF	_____	プリント中に行う、ワイピング動作を設定します。	
外部ヒーター (P.3-11)		ON/OFF	_____	外部ヒーターのオン / オフ を設定します。	
MAPS4 (P.3-8)	AUTO		_____	バス間の縞を軽減します。	
	MANUAL	速度	50 ~ 100%		_____
		スムージングレベル	0 ~ 25 ~ 100%	_____	
ベルト補正 (P.3-11)		ON/OFF	_____	送りムラを軽減して、プリント品質を向上する設定をします。	
ベルト洗浄 (P.3-11)	ベルト洗浄		ON/OFF	_____	自動的にベルト洗浄を行うかどうかを設定します。
	洗浄フィード速度 ^{*2}		標準 / 低速	_____	プリント以外のジョグ操作によるフィードや、確認フィードのフィード速度を設定します。
カウンターリミット (P.3-12)	地張り剤		OFF, 1 ~ 30000m	_____	地張り剤、吸水ローラーの交換目安時期の設定をリセットします。
	吸水ローラー		OFF, 1 ~ 30000m	_____	
設定リセット (P.3-5)		設定 1 ~ 4 で設定した内容を、個別にリセットできます。			
設定保存 (P.3-5)		Temporary で設定した内容を、設定 1 ~ 4 に保存できます。			

*1. 本機で“ホスト”を設定しているのに、RIP ソフトウェア (ホスト) 側で設定値の指定がないまたは、装置側の設定値を優先する設定にしている場合の、プリント時に使用される設定値です。

*2. オーバープリントを行うときや、裏抜けによる搬送ベルトの汚れがひどいときは、“低速”に設定してください。“標準”のままジョグフィードを行うと、搬送ベルトが十分に洗浄されないことがあります。

使い方合わせた最適なプリント条件を登録する

本機では、あらかじめ、お使いになるメディアに合わせて個別にプリント条件 (設定 1 ~ 4) を登録しておくことができます。

例えば、違う種類のメディアにプリントをした後に、いつも使っているメディアに戻した場合など、登録済みの設定 (1 ~ 4) を選ぶだけで最適な作図条件を設定できます。



- 本機であらかじめ登録できるプリント条件は、“設定 1” ~ “設定 4” の 4 種類です。
- 頻繁に使うことのないプリント条件でプリントする場合、“Temporary” を選んでプリント条件を設定することができます。
Temporary で設定した内容は電源を再投入すると、初期値 (お買い上げ時の状態) に戻ります。また、“Temporary” が選ばれた状態で電源を再投入すると、“設定 1” が選ばれた状態になります。

設定 (1 ~ 4) にプリント条件を登録する

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU) → (ENTER)** キーを押す

2 **(▲) (▼)** を押して設定 1 ~ 4 を選び、**(ENTER)** キーを押す

- 選択している項目には●、それ以外には○が表示されます。
- 設定メニューが表示されます。

3 **(▲) (▼)** を押して設定メニュー一覧表の各項目を選び、設定する

- 詳細な設定方法は設定メニュー一覧表に記載した参照ページをご覧ください。

Temporary の使い方

Temporary は 1 度だけ使うプリント条件を設定するだけでなく、登録済みの設定「1 ~ 4」を一部だけ変えて使いたい場合や、Temporary で設定したプリント条件を、設定 1 ~ 4 に反映させることもできます。

● Temporary にプリント条件を登録する

Temporary へのプリント条件の登録は、設定 1 ~ 4 への登録と同様の方法で登録できます。

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU) → (ENTER)** キーを押す

2 **(▲) (▼)** を押して“Temporary”を選び、**(ENTER)** キーを押す

- 設定メニューが表示されます。

3 **(▲) (▼)** を押して設定メニュー一覧表の各項目を選び、設定する

- 詳細な設定方法は設定メニュー一覧表に記載した参照ページをご覧ください。

● 設定 1 ~ 4 の内容を Temporary にコピーする

設定 1 ~ 4 の登録内容の一部を変更してお使いになることができます。

Temporary の登録画面から、“コピー”を選び、コピー元 (設定 1 ~ 4) を指定します。

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU) → (ENTER)** キーを押す

2 **(▲) (▼)** を押して“Temporary”を選び、**(ENTER)** キーを押す

- 設定メニューが表示されます。

3 **(FUNC1) (<<)** を押す

4 **(▲) (▼)** を押して“設定リセット”を選び、**(ENTER)** キーを押す

5 **(▲) (▼)** を押して“コピー”を選び、**(ENTER)** キーを押す

- コピー元選択画面が表示されます。

6 **(▲) (▼)** を押してコピー元 (設定 1 ~ 4) を選び、**(ENTER)** キーを押す

- ディスプレイにコピーの確認画面が表示されます。

7 **(ENTER)** キーを押す

- 手順 6 で選んだ設定内容が、Temporary にコピーされます。

8 **(▲) (▼)** を押して変更する設定項目を選び、**(ENTER)** キーを押す

- 詳細な設定方法は設定メニュー一覧表に記載した参照ページをご覧ください。

● Temporary で設定した内容を設定 1～4 へ反映させる

- 1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **ENTER** キーを押す
- 2 **▲** **▼** を押して “Temporary” を選び、**ENTER** キーを押す
 - ・設定メニューが表示されます。
- 3 **▲** **▼** を押して設定メニュー一覧表の各項目を選び、設定する
 - ・詳細な設定方法は設定メニュー一覧表に記載した参照ページをご覧ください。
- 4 Temporary の最終ページを表示させて “設定保存” を選び、**ENTER** キーを押す
 - ・保存先選択画面が表示されます。
- 5 **▲** **▼** を押して保存先 (設定 1～4) を選び、**ENTER** キーを押す
 - ・ディスプレイに保存確認画面が表示されます。
- 6 **ENTER** キーを押す
 - ・手順 5 で選んだ保存先に、Temporary の設定内容が保存されます。
- 7 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

登録した内容をリセットする

設定 1～4 に登録した内容をリセットします。

- 1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **ENTER** キーを押す
- 2 **▲** **▼** を押してリセットする設定 (1～4) を選び、**ENTER** キーを押す
 - ・設定メニューが表示されます。
- 3 **FUNC1** (<<) を押す
- 4 **▲** **▼** を押して “設定リセット” を選び、**ENTER** キーを押す
 - ・設定リセットの確認画面が表示されます。
- 5 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

フィード補正の設定

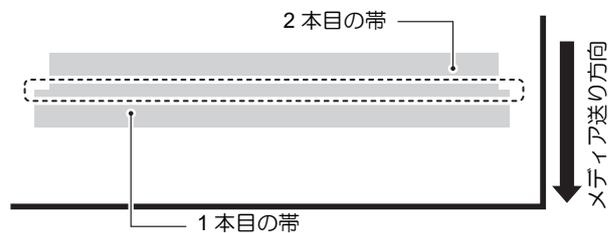
お使いになるメディアの種類に合わせて、メディアの送り量を補正してください。
補正値が適切でないと、プリントした画像に縞が入るなど、きれいにプリントできない場合があります。

- 重要!**
- ・ロールメディアをご使用の場合、フィード補正を終了すると、プリント原点位置までメディアが戻り、本機背面のロールメディアにたるみが生じます。プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たるみのない状態にセットしてください。画質不良の原因になります。
 - ・巻取装置を使用してのプリントの場合、あらかじめメディアをセットした状態でフィード補正を行ってください。

補正パターンをプリントして、メディア送り量の補正を行います。



- ・補正パターンでは 2 本の帯をプリントします。
- ・2 本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。



- 1 メディアをセットする (☞ P.2-4)
- 2 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **ENTER** キーを押す
- 3 **▲** **▼** を押して設定 1～4 を選び、**ENTER** キーを押す
 - ・設定メニューが表示されます。
- 4 **▲** **▼** を押して “フィード補正” を選び、**ENTER** キーを押す
- 5 **ENTER** キーを 2 回押して、補正パターンをプリントする
- 6 補正パターンを確認し、補正値を入力する
 - ・補正値の入力画面が表示されます。
 - ・ “+” に入力すると：
2 本の帯の間隔が広がる方向に移動します。
 - ・ “-” に入力すると：
2 本の帯の間隔が近づく方向に移動します。
 - ・補正値を “30” 変更するごとに、約 0.1mm 帯が移動します。

7

ENTER キーを押す

- 再度、補正パターンをプリントして確認します。
- 補正の必要がある場合は、手順7の操作をして補正してください。

8

終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

プリント中にメディア送りを補正したいとき

リモートモードや画像データのプリント中でもメディア送り量の補正ができます。

1

リモートで、**FUNC1** (ADJUST)

→ **ENTER** キーを押す

2

▲ **▼** を押して、補正量を入力する

- 補正量：-9999 ~ 9999
- ここで入力した値は、すぐに補正量に反映されません。

3

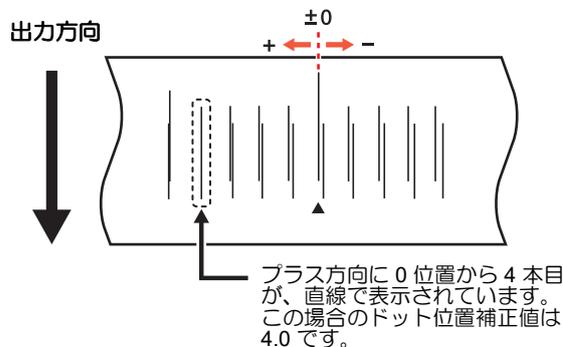
ENTER キーを2回押す

- 変更した値が登録されます。
- [ENTER]キーの代わりに[END/POWER]キーを押すと、ここで補正した内容は一時、有効となります。(再度メディア検出を行うか電源をOFFすると、補正値はクリアされます)

ドットの位置がずれたら

プリント時の条件（メディアの厚み/インクの種類など）が変わったときは、次の操作をして双方向（Bi）プリント時のインクの落下位置を補正し、適正なプリント結果を得られるようにしてください。

パターンプリント例



1

メディアをセットする (P.2-4)

- パターンプリントをするには、幅 500mm 以上の大きさのメディアが必要です。

2

ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **ENTER** キーを押す

3

▲ **▼** を押して設定 1 ~ 4 を選び、**ENTER** キーを押す

- 設定メニューが表示されます。

4

▲ **▼** を押して“ドット位置補正”を選び、**ENTER** キーを押す

5

ENTER キーを押す

- ドット位置補正のパターンプリントを開始します。
- 複数のテストパターンをプリントします。(プリント順にパターン 1,2,3... と呼ぶ)

6

▲ **▼** を押してパターン1の補正値を入力し、**ENTER** キーを押す

- 補正値：-40 ~ 40
- テストパターンを確認し、往路と復路が1本の直線になっている位置が補正値となります。
- 補正値が -40 ~ 40 の間でない場合は、ヘッドの高さを調整後、手順2から操作をし直してください。

7

手順4と同様にして、パターン2~のドット位置を補正し、**ENTER** キーを押す

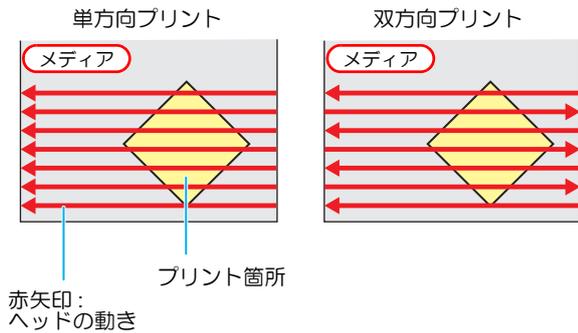
8

終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

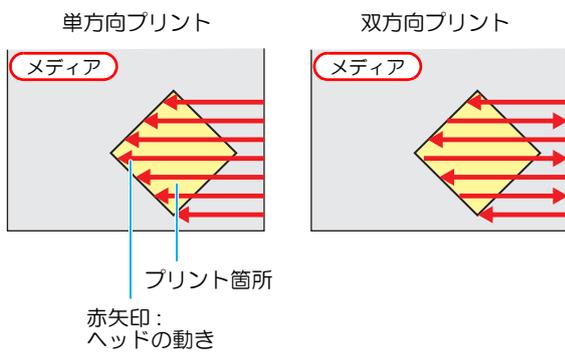
ロジカルシークの設定

ロジカルシークの設定により、下図のようにヘッドの動作が変わります。

ロジカルシーク OFF 時のヘッドの動き



ロジカルシーク ON 時のヘッドの動き



1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU) → (ENTER)** キーを押す

2 **(▲) (▼)** を押して設定 1～4 を選び、**(ENTER)** キーを押す
・設定メニューが表示されます。

3 **(▲) (▼)** を押して“ロジカルシーク”を選び、**(ENTER)** キーを押す

4 **(▲) (▼)** を押して設定値を選び、**(ENTER)** キーを押す
・設定値：ホスト /ON/OFF

5 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

重ね塗りの設定

重ね塗りをするときの、回数を設定します。

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU) → (ENTER)** キーを押す

2 **(▲) (▼)** を押して設定 1～4 を選び、**(ENTER)** キーを押す
・設定メニューが表示されます。

3 **(▲) (▼)** を押して“重ね塗り”を選び、**(ENTER)** キーを押す

4 **(▲) (▼)** を押して重ね塗り回数を設定し、**(ENTER)** キーを押す
・設定値：ホスト /1～9回

5 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

乾燥時間の設定

乾燥時間の設定では、インクの乾燥時間に関する次の各項目の設定をします。

- ・スキャン : スキャン毎のインク乾燥時間を設定 (双向プリントの場合は、往路 / 復路のスキャン毎に設定した時間だけ一時停止する)
- ・プリントエンド : プリント終了後のインク乾燥時間を設定

- 重要!**
- ・RasterLink 側の設定を優先させたいときは、設定値を“ホスト”にしてください。
 - ・RasterLink では、本機で設定する“スキャン”は“スキャン毎の乾燥時間”と表示しています。
 - ・プリントエンドの設定については、RasterLink 側での指定ができません。本機の設定で“ホスト”に設定した場合は、プリント時“プリントエンド = 0 分”の状態ですべてプリントされます。

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** → **(ENTER)** キーを押す

2 **(▲) (▼)** を押して設定 1 ~ 4 を選び、**(ENTER)** キーを押す

- ・設定メニューが表示されます。

3 **(FUNC3) (>>)** を押す

4 **(▲) (▼)** を押して“乾燥時間”を選び、**(ENTER)** キーを押す

5 **(ENTER)** キーを押す

6 **(▲) (▼) (◀) (▶)** を押して乾燥時間を設定し、**(ENTER)** キーを押す

- ・スキャン時とプリント終了後の乾燥時間を設定します。お使いの RIP で指定している乾燥時間を有効にする場合は“ホスト”を選択してください。
- ・スキャンの設定値 : ホストまたは 0.0 ~ 9.9 秒
- ・プリントエンドの設定値 : ホストまたは 0 ~ 120 分
- ・項目の選択 : **(▲) (▼)** で選ぶ
- ・時間の設定 : **(◀) (▶)** で設定

7 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

フィード速度の設定

プリント中などにメディア送りをする速度を変更します。

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** → **(ENTER)** キーを押す

2 **(▲) (▼)** を押して設定 1 ~ 4 を選び、**(ENTER)** キーを押す

- ・設定メニューが表示されます。

3 **(FUNC3) (>>)** を押す

4 **(▲) (▼)** を押して“フィード速度”を選び、**(ENTER)** キーを押す

5 **(ENTER)** キーを押す

6 **(▲) (▼)** を押して設定値を選び、**(ENTER)** キーを押す

- ・設定値 : ホスト / 10 ~ 100%

7 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

- 重要!**
- ・プリント条件によっては、速度が変わらない設定値があります。

MAPS4 の設定

MAPS (Mimaki Advanced Pass System) 機能とは、パスの境界を分散させることにより、パス間の送り縞が目立ちにくくさせる機能です。

- 重要!**
- ・MAPS4 の設定には“AUTO”と“MANUAL”があります。使い方に合わせて“AUTO”または“MANUAL”の設定を選んでください。



- ・MAPS4 の設定を変更すると、色味の変化が見られる場合があります。あらかじめ確認を行った上で使用してください。
- ・プリントする画像によっては MAPS 機能の効果が得られない場合があります。あらかじめ効果の確認を行った上で使用してください。

● MAPS 機能が無効になる条件

以下の条件では、MAPS 機能が無効になることがあります。また、プリントする画像によっては MAPS の効果が得られない場合があります。

Sb420 インク 4 色インクセット時 /Sb421 インク 4 色インクセット時

解像度	パス	スキャン速度
540 x 360	2 pass	高速
720 x 720	4 pass	
720 x 1080	6 pass	
720 x 1440	8 pass	

Sb420 インク 6 色インクセット時 /Sb421 インク 6 色インクセット時 /Dd400 インク 8 色インクセット時

解像度	パス	スキャン速度
540 x 360	4 pass	高速
720 x 720	8 pass	
720 x 1080	12 pass	
720 x 1440	16 pass	

Rc400 インク 8 色インクセット時

解像度	パス	スキャン速度
720 x 1080	12 pass	高速
720 x 1440	16 pass	

Ac400 インク 8 色インクセット時

解像度	パス	スキャン速度
720 x 1440	16 pass	高速

Rc500 インク 8 色インクセット時

解像度	パス	スキャン速度
720 x 1080	12 pass	高速

Sb420+TP400 インク 4+4 色インクセット時の Sb420/ Sb421+TP400 インク 4+4 色インクセット時の Sb421

解像度	パス	スキャン速度
540 x 360	4 pass	高速
720 x 720	8 pass	
720 x 1080	12 pass	
720 x 1440	16 pass	

MAPS4 機能 (AUTO) を設定する

1 ローカルで、**(FUNC1)** (MENU) → **(ENTER)** キーを押す

2 **(▲)** **(▼)** を押して設定 1 ~ 4 を選び、**(ENTER)** キーを押す

・設定メニューが表示されます。

3 **(FUNC3)** (>>) を押す

4 **(▲)** **(▼)** を押して“MAPS4”を選び、**(ENTER)** キーを押す

5 **(▲)** **(▼)** を押して“AUTO”を選び、**(ENTER)** キーを押す

・設定値を“MANUAL”にする場合は P.3-9「MAPS4 機能(MANUAL)を設定する」を参照してください。

6 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

MAPS4 機能 (MANUAL) を設定する

1 ローカルで、**(FUNC1)** (MENU) → **(ENTER)** キーを押す

2 **(▲)** **(▼)** を押して設定 1 ~ 4 を選び、**(ENTER)** キーを押す

・設定メニューが表示されます。

3 **(FUNC3)** (>>) を押す

4 **(▲)** **(▼)** を押して“MAPS4”を選び、**(ENTER)** キーを押す

5 **(▲)** **(▼)** を押して“MANUAL”を選び、**(ENTER)** キーを押す

・設定値を“AUTO”にする場合は P.3-9「MAPS4 機能 (AUTO) を設定する」を参照してください。

6 **(▲)** **(▼)** を押して“速度”(50~100%)を選び、**(ENTER)** キーを押す

・プリントするときの速度を選びます。標準画質のプリントを基準として、プリント速度を遅くしたいときは- (マイナス) に、速くしたいときは+ (プラス) に設定してください。

(重要!) ・速度を変更した場合、ノズルリカバリ (P.3-26) の効果が出ないことがあります。あらかじめ確認をしてから、使用してください。

7 **(▲)** **(▼)** を押して“スムージングレベル”を選び、**(ENTER)** キーを押す

8 **(▲)** **(▼)** を押してスムージングレベルを変更し、**(ENTER)** キーを押す

・設定値: 0 ~ 100% (5%単位で設定)

・設定値を上げると、MAPS4 の効果が強くなり、設定値を下げると MAPS4 の効果が弱くなります。

9 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

オートクリーニングの設定

プリント終了後に今までプリントしたファイル数または長さまたは時間をカウントし、クリーニングが必要な場合は自動的にクリーニングを行うよう設定できます。オートクリーニングの設定は、次の4種類から選択できます。

- **デフォルト** : 使用するインク種や環境によって、クリーニングを実施する単位や間隔が変わります。
詳しくは、下表を参考してください。
- **ファイル** : プリントファイル数でクリーニング間隔を設定する
- **距離** : プリントした長さでクリーニング間隔を設定する
- **時間** : プリントした時間でクリーニング間隔を設定する

● “デフォルト”のときのクリーニング条件

お使いのインク種や使用環境によって、クリーニング条件が以下のようになります。

インク	実行単位	使用環境			実行タイミ ング	クリーン グタイプ
		～30℃	30～35℃	35℃～		
Sb420	距離	—	30m	10m	プリント中	ノーマル
Sb421	距離	—	30m	10m	プリント中	ノーマル
Dd400	距離	—	—	30m	プリント中	ノーマル
TP400	時間	480分	120分	60分	ファイル間	ノーマル
Rc400	距離	—	50m	30m	プリント中	ソフト
Ac400	距離	—	50m	30m	プリント中	ノーマル
Rc500	距離	—	50m	30m	プリント中	ソフト
Sb420+ TP400	時間	480分	120分	60分	ファイル間	ノーマル
Sb421+ TP400	時間	480分	120分	60分	ファイル間	ノーマル

- 重要!**
- 表中の「—」はオートクリーニングを実施しないことを表します。
 - “デフォルト”以外の設定にしている場合でも、上記の表で設定されている条件下で設定間隔を超えたら、自動的にクリーニングを実施します。

その他にも、次のような機能があります。

- **クリーニング後チェック機能**
オートクリーニング後に自動的にノズルチェックを実施するように設定できます。
- **クリーニング実行タイミ
ング選択機能**
クリーニングする単位を「距離」または「時間」にした場合、クリーニングの実行タイミ
ングを設定できます。
ヘッドを常に清潔に保つことで、安定した出力結果を持続することができます。

1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **ENTER** キーを押す

2 **▲ ▼** を押して設定 1～4 を選び、**ENTER** キーを押す

- 設定メニューが表示されます。

3 **FUNC3 (>>)** を押す

4 **▲ ▼** を押して“オートクリーニング”を選び、**ENTER** キーを押す

5 **ENTER** キーを押し、**▲ ▼** でオートクリーニングの種類を選ぶ

- オートクリーニングの種類には“デフォルト”、“ファイル”、“距離”と“時間”があります。
デフォルト : あらかじめ決められているクリーニングタイミ
ングが来ると、自動的にヘッドクリーニングを行う
- **ファイル** : 設定した回数のプリントが終了したら、自動的にヘッドクリーニングを行う
- **距離** : 設定した長さを経過したら、自動的にヘッドのクリーニングを行う
- **時間** : 設定した時間を通過したら、自動的にヘッドのクリーニングを行う
- “デフォルト”を選択した場合は、手順 8 へ進んでください。

6 **ENTER** キーを押し、**▲ ▼** でクリーニング間隔を設定する

- 手順 5 で選択したオートクリーニングの種類によって、設定値は異なります。
ファイルの場合 : 1～1000 ファイル
距離の場合 : 0.1～100.0m (0.1m 単位で設定)
時間の場合 : 10～480min (10min 単位で設定)

7 **ENTER** キーを押し、**▲ ▼** でクリーニングタイプを設定する

- 設定値 : ノーマル/ソフト/ハード

8 **ENTER** キーを押し、**▲ ▼** で“クリーニング後チェック”を選ぶ

9 **ENTER** キーを押し、**▲ ▼** で設定値を選ぶ

- 設定値 : ON/ OFF
- 手順 5 で“ファイル”を選択した場合は、手順 12 へ進んでください。

10 **ENTER** キーを押し、**▲ ▼** で“実行タイミ
ング”を選ぶ

11 **ENTER** キーを押し、**▲ ▼** で設定値を選ぶ

- 設定値には“ファイル間”と“プリント中”があります。
ファイル間 : 手順 6 の“距離”または“時間”で設定したクリーニング間隔が経過した後のファイルとファイルの間でクリーニングを行う
- **プリント中** : 手順 6 の“距離”または“時間”で設定したクリーニング間隔が経過した後すぐにプリントを中断し、クリーニングを行う

12 **ENTER** キーを押す

13 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

- 重要!** ・ヘッド等の状態によっては、本機能を実行してもプリント不良が復旧しない場合があります。この場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

定期ワイピングの設定

設定した時間が経過すると、自動的にヘッドのノズル面の清掃を行い、ノズル面に付着したインク滴を取り除きます。飛行曲がりやノズル抜け、インク滴が落ちるなどの症状が出た場合、動作間隔を設定します。

- 1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **ENTER** キーを押す
- 2 **▲** **▼** を押して設定 1～4 を選び、**ENTER** キーを押す
・設定メニューが表示されます。
- 3 **FUNC1** (<<) を押す
- 4 **▲** **▼** を押して“定期ワイピング”を選び、**ENTER** キーを押す
- 5 **▲** **▼** を押して、動作間隔を設定する
・設定値：3～255分、OFF
・[OFF]にすると、定期ワイピングを行いません。
- 6 **ENTER** キーを押す
- 7 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

外部ヒーターの設定

外部ヒーターのオン/オフを設定します。

- 1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **ENTER** キーを押す
- 2 **▲** **▼** を押して設定 1～4 を選び、**ENTER** キーを押す
・設定メニューが表示されます。
- 3 **FUNC1** (<<) を押す
- 4 **▲** **▼** を押して“外部ヒーター”を選び、**ENTER** キーを押す
- 5 **▲** **▼** を押して、設定値を選択する
・設定値：ON, OFF

6 **ENTER** キーを押す

7 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

メディア送り量を変更して画質を向上させる (ベルト補正)

ベルト補正の設定を ON にすると、プリント品質を向上させることができます。プリントしたときの送りムラが気になるときや、ベルトのつなぎ目が気になるときに“ON”に設定してください。

- 重要!** ・ベルト補正の設定を変更した場合、フィード補正の設定を行ってください。(P.2-26)

- 1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **ENTER** キーを押す
- 2 **▲** **▼** を押して設定 1～4 を選び、**ENTER** キーを押す
・設定メニューが表示されます。
- 3 **FUNC1** (<<) を押す
- 4 **▲** **▼** を押して“ベルト補正”を選び、**ENTER** キーを押す
- 5 **▲** **▼** を押して、設定値を選択する
・設定値：ON, OFF
- 6 **ENTER** キーを押す
- 7 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

ベルト洗浄の設定

ベルト洗浄を使用すると、搬送ベルト上にある裏抜けしたインクを拭き取ることができます。

- 重要!** ・ベルト洗浄は搬送ベルトが動作中のみオンになります。
・設定がオンになっていても搬送ベルトが動作していない場合は動作しません。

- 1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **ENTER** キーを押す
- 2 **▲** **▼** を押して設定 1～4 を選び、**ENTER** キーを押す
・設定メニューが表示されます。
- 3 **FUNC1** (<<) を押す
- 4 **▲** **▼** を押して“ベルト洗浄”を選び、**ENTER** キーを押す

5   を押して、設定値を選択する

- ・設定値：ON, OFF

重要!

- ・OFF にする場合は、吸水ローラが変形する恐れがあるため、吸水ローラを外してください。
( P.4-23)

6  キーを押す

7   を押して“洗浄フィード速度”を選び、 キーを押す

- ・“ベルト洗浄”の設定が“OFF”の場合は、“洗浄フィード速度”は表示されません。

8   を押して設定値を選び、 キーを押す

- ・設定値：標準, 低速



- ・オーバプリントを行うときや、裏抜けによる搬送ベルトの汚れがひどいときは、“低速”に設定してください。“標準”のままジョグフィードを行うと、搬送ベルトが十分に洗浄されないことがあります。

9 終了するとき、 キーを数回押す

メンテナンス目安時期を設定する (カウンターリミット)

地張り剤の塗り替え、吸水ローラのクリーニングを行う目安時期を使用距離（メートル）で設定します。



- ・この設定をしておく、事前にアラームを表示するため、メンテナンス時期を気にせず作業をすることができます。
- ・設定されていない場合は、アラームは表示されません。

1 ローカルで、 (MENU)  キーを押す

2   を押して設定 1～4 を選び、 キーを押す

- ・設定メニューが表示されます。

3  (<<) を押す

4   を押して“カウンターリミット”を選び、 キーを押す

5  を押し、  で“地張り剤”または“吸水ローラ”を選ぶ

6  を押し、  で使用距離を設定する

- ・地張り剤の場合：OFF, 1～30000m (10m 単位)
- ・吸水ローラの場合：OFF, 1～30000m (10m 単位)



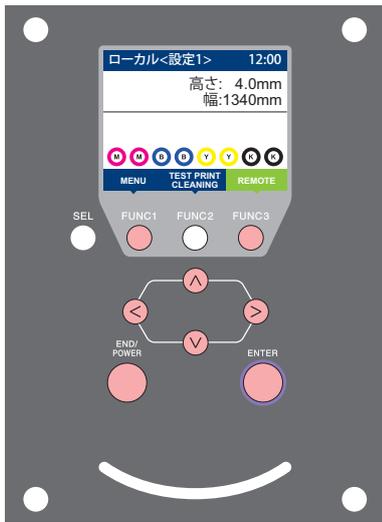
- ・ キーを押すたびに入力単位を、10 m → 100 m → 1000 m → 10000 m に変更できます。

7  キーを押す

8 終了するとき、 キーを数回押す

マシン設定メニューについて

本機を快適に使用するための各種設定です。
マシン設定で設定できる内容は、次の項目です。



FUNC1 : マシン設定メニューを選ぶとき、または、1つ前の画面に切り替えるときに押す

FUNC3 : 次の画面に切り替えるときに押す

△ **▽** : 設定項目を選択するときに押す

ENTER : 設定を確定するときなどに押す

◆ マシン設定メニュー一覧



FUNC1

FUNC3



FUNC1

FUNC3



FUNC1

FUNC3



FUNC1

FUNC3

マシン設定メニュー一覧表

機能名称		設定値	初期値	内 容
オートパワーオフ (P.3-15)		しない / 10 ~ 600 min	30min	設定した時間操作がない場合、自動で電源を“OFF”にします。
繰出 / 巻取ユニット (P.2-4)	繰出ユニット	ON / OFF	ON	繰出ユニットを使用する / しないを設定します。
	繰出テンションバー	ON / OFF	OFF	繰出テンションバーを使用する / しないを設定します。
	巻取ユニット	ON / OFF	ON	巻取ユニットを使用する / しないを設定します。
	引き剥がし	ON / OFF	OFF	引き剥がし機能を使用する / しないを設定します。
	繰出 / 巻取スイッチ	継続 / 一時	継続	繰出 / 巻取装置のオン / オフボタンを押したときの動作方法を設定します。
トップブロウ (P.3-15)	ON	AUTO / 強い / 弱い	AUTO	プリント中のトップブロウの動作を設定します。
	OFF			
メディア残量 (P.3-16)		ON / OFF	OFF	メディアの残量を管理することができます。
ヘッド高さ (P.2-5)		2.0 ~ 7.0 mm		ヘッド高さの設定をします。
PG 着弾調整 (P.3-16)				双方向プリント時、往路と復路のインク落下点の位置を調整します。
メディア検出 (P.3-16)	厚さ入力	ON / OFF	ON	メディア検出時に、使用するメディアの厚みを入力するか設定します。
乾燥フィード (P.3-16)		OFF / 100 ~ 1000 mm	OFF	プリント完了後にメディアをフィードさせる長さを設定します。
LANGUAGE (P.3-17)		日本語 / English / Español / Italiano / Português / 中文 / Korean / Türkçe	English	表示言語を変更します。
時刻設定 (P.3-17)				現在の日付と時刻を設定します。
単位 / 温度 (P.3-17)		°C (摂氏) / °F (華氏)	°C	温度の表示単位を設定します。
単位 / 長さ (P.3-17)		mm / inch	mm	長さ、面積の表示単位を設定します。
キープザー (P.3-18)		ON / OFF	ON	キーを押したときのブザー音を設定します。
確認フィード (P.3-18)		ON / OFF	ON	テストプリントなどのプリント結果を確認するためにメディアのフィードを行うか設定します。
余白フィード方式 (P.3-18)		間欠 / 連続	間欠	画像データに含まれる余白部分のフィード方式を変更します。
ネットワーク (P.3-19)	ネットワークの設定をします。			
	IP アドレス確認	現在、本機が使用中の IP アドレスが表示されます。		
	MAC アドレス確認	現在、本機が使用中の MAC アドレスが表示されます。		
	DHCP	ON / OFF		オンの場合、DHCP サーバーより与えられた IP アドレスを使用します。
	AutoIP	ON / OFF		オンの場合、AutoIP プロトコルにより使用する IP アドレスを決定します。ただし、DHCP が ON の場合は DHCP を優先します。
	IP アドレス*1	本機が使用する IP アドレスを設定します。		
	デフォルトゲートウェイ*1	本機が使用するデフォルトゲートウェイを設定します。		
	DNS アドレス*1	本機が使用する DNS サーバーのアドレスを設定します。		
	サブネットマスク*1	本機が使用するサブネットマスクの桁数を設定します。		

機能名称	設定値	初期値	内 容		
イベントメール	メール送信 (P.3-20)	ON / OFF	OFF	設定したイベントが起こった際に、メールを送信する機能を設定します。	
	送信イベント 選択 (P.3-20)	プリント スタート	ON / OFF	OFF	プリント開始時にメールを送信する / しないを設定 します。
		プリント エンド	ON / OFF	OFF	プリント終了時にメールを送信する / しないを設定 します。
		エラー	ON / OFF	OFF	エラー発生時にメールを送信する / しないを設定し ます。
		ワーニング	ON / OFF	OFF	ワーニング発生時にメールを送信する / しないを設定 します。
		その他	ON / OFF	OFF	上記以外のイベント発生時にメールを送信する / し ないを設定します。
	メールアドレス (P.3-20)	イベントメールを送信する メールアドレスを設定しま す。		英数字、記号 (96 文字)	
	件名 (P.3-20)	イベントメールの件名に記載 する文字を設定します。		英数字、記号 (8 文字)	
	サーバー設定 (P.3-21)	SMTP アドレス		SMTP サーバーを設定します。	
		SMTP ポート No.		SMTP のポート番号を設定します。	
		送信元メールアドレス		メールの送信元として使用するメールアドレスを設定します。	
		認証方式	OFF		SMTP サーバーの認証方式を設定します。
			POP before SMTP		
			SMTP 認証		
ユーザー名 *2			認証に使用するユーザー名を設定します。		
パスワード *2			認証に使用するパスワードを設定します。		
POP3 アドレス *3		POP サーバーを設定します。			
APOP *3		APOP のオン / オフを設定します。			
テストメール 送信 (P.3-22)	テストメールの送信を実行します。				
リセット (P.3-23)			全ての設定項目を初期値に戻します。		

*1. [DHCP]、[AutoIP] が両方オフの場合のみ設定可能

*2. [ニンショウホウシキ] がオフでない場合のみ設定可能

*3. [ニンショウホウシキ] が POP before SMTP の場合のみ設定可能

オートパワーオフの設定

設定した時間操作がない場合、自動で電源を“OFF”に
します。

- ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** (2回) →
ENTER キーを押す
・マシン設定メニューが表示されます。
- ▲▼** を押して“オートパワーオフ”を選
び、**ENTER** キーを押す
- ▲▼** を押して設定値を選び、
ENTER キーを押す
・設定値：しない、10～600 min
- 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

トッププロワの設定

プリント中のトッププロワの動作を設定します。
トッププロワの設定を“ON”にすると、プロワの強さを設
定できます。

- ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** (2回) →
ENTER キーを押す
・マシン設定メニューが表示されます。
- ▲▼** を押して“トッププロワ”を選び、
ENTER キーを押す
- ▲▼** を押して“ON”を選び、
ENTER キーを押す
ON : プロワの強さを選べるようになります。
OFF : プリント中にトッププロワは動作しません。
手順6へ進んでください。
- ▲▼** を押して“強さ”を選び、
ENTER キーを押す

5 を押して設定値(AUTO/強い/弱い)を選び、 キーを押す

- ・設定値：ON/ OFF

6 終了するとき、 キーを数回押す

メディア残量表示の設定

メディア残量表示の設定をします。

メディア残量表示をONにすると	リモートでメディア残量が表示されま す。 (ただし、リーフメディアを使用した 場合は、プリント長が表示されます。)
メディア残量表示をOFFにすると	リモートでメディア残量は表示されま せん。



- ・プリント、JOG キーによるフィード量が、メディア残量に反映されます。
- ・メディア長(残量初期値)はロールメディア検出時に入力します。(P.2-15)
- ・ここで行う設定は、設定終了後にメディア検出を行わないと有効になりません。

1 ローカルで、 (MENU) (2回) キーを押す

- ・マシン設定メニューが表示されます。

2 を押して“メディア残量”を選び、 キーを押す

3 を押して、ON/OFF を選ぶ

4 キーを押す

5 終了するとき、 キーを数回押す



- ・メディア残量表示の設定を“ON”にすると、現在のメディア残量と日付をリストにしてプリントできます。(P.2-15)

PG 着弾調整の設定

双方向プリント時、往路と復路のインク落下点の位置を調整します。

PG 着弾調整では、ヘッド高さの異なる2点での着弾位置調整をすることにより、ヘッド高さが変わった場合でも自動的にインクの着弾位置を調整して、品質の高いプリントをすることができます。

1 ローカルで、 (MENU) (2回) キーを押す

- ・マシン設定メニューが表示されます。

2 (>>) を押す

3 を押して“PG 着弾調整”を選び、 キーを押す

4 キャリッジの高さ調整ネジを緩め、 キーを押す

- ・P.2-5「ヘッド高さを調整する」を参照してネジを緩めてください。

5 ヘッド高さを3mmにて、高さ調整ネジを締める

6 キーを2回押す

- ・着弾位置調整用のパターンが1～5までプリントされます。

7 P.3-6「ドットの位置がずれたら」を参照して、パターン1～5のドットの位置を補正する

8 手順4～7を参照し、ヘッド高さを4mm変更してからパターン1～5のドット位置を補正する

9 終了するとき、 キーを数回押す

メディア検出の設定

メディア検出の設定をします。

メディア厚さ入力の設定	メディア検出時に、メディアの厚みを入力するか設定します。
-------------	------------------------------

1 ローカルで、 (MENU) (2回) キーを押す

- ・マシン設定メニューが表示されます。

2 (>>) を押す

3 を押して“厚さ入力”を選び、 キーを押す

4 を押して“ON/OFF”を選び、 キーを押す

5 終了するとき、 キーを数回押す

- 重要!** ・プリント時の画質向上のため、手順4では“ON”に設定することをお勧めします。

乾燥フィードの設定

プリント終了後、メディア後端まで均一に乾燥させるためのメディアフィード長さを設定します。



- お使いの外部ヒーターの位置に合わせ、プリント部の後端がヒーターを通過する位置までフィードするように設定してください。

- 1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す
• マシン設定メニューが表示されます。
- 2 **FUNC3** (>>) を押す
- 3 **▲** **▼** を押して“乾燥フィード”を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **ENTER** キーを押す
• “乾燥フィード”が選択されます。
- 5 **▲** **▼** を押してメディアのフィード長を入力し、**ENTER** キーを押す
- 6 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

言語の設定

表示言語を変更します。

- 1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す
• マシン設定メニューが表示されます。
- 2 **FUNC3** (>>) を押す
- 3 **▲** **▼** を押して“LANGUAGE”を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **▲** **▼** を押して言語を選び、**ENTER** キーを押す
- 5 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

時刻の設定

お使いの国に合わせた時刻(時差)に設定することができます。

- 1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す
• マシン設定メニューが表示されます。
- 2 **FUNC3** (>>) を押す
- 3 **▲** **▼** を押して“時刻”を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **▲** **▼** **◀** **▶** を押して時刻を入力し、**ENTER** キーを押す
• 時分の選択 : [**◀**][**▶**] で選ぶ
• 時分の入力 : [**▲**][**▼**] で入力
- 5 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

• -20 ~ +4 時間の間で、設定できます。



単位(温度/長さ)の設定

本機で使用する単位を設定します。

- 1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す
• マシン設定メニューが表示されます。
- 2 **FUNC3** (>>) を押す
- 3 **▲** **▼** を押して“単位/温度”または“単位/長さ”を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **▲** **▼** を押して設定値を選び、**ENTER** キーを押す
• 温度の設定値 : °C / °F
• 長さの設定値 : mm / inch
- 5 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

キーブザーの設定

キーを押したときのブザー音を消すことができます。

- 1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す
 ・マシン設定メニューが表示されます。
- 2 **FUNC3 (>>)** を2回押す
- 3 **▲ ▼** を押して“キーブザー”を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **▲ ▼** を押して設定値を選び、**ENTER** キーを押す
 ・設定値：ON/ OFF
- 5 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す
 ・設定を“OFF”にしても、エラー/警告/動作完了等のブザー音を消すことはできません。



余白フィード方式の設定

画像データに含まれる余白部分(プリントするデータのない部分)のフィード方式を変更します。余白部分の多いデータをプリントする場合、“連続”に設定することで、プリント時間を短縮することができます。

- 1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す
 ・マシン設定メニューが表示されます。
- 2 **FUNC3 (>>)** を2回押す
- 3 **▲ ▼** を押して“余白フィード方式”を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **▲ ▼** を押して設定値を選び、**ENTER** キーを押す
 間欠：パス分割単位での間欠フィード動作を行う
 連続：データがない部分を一度にフィードする
- 5 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

確認フィードの設定

テストプリントなどのプリント結果を確認するためにメディアのフィードを行うか設定します。

- 1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す
 ・マシン設定メニューが表示されます。
- 2 **FUNC3 (>>)** を2回押す
- 3 **▲ ▼** を押して“確認フィード”を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **▲ ▼** を押して設定値を選び、**ENTER** キーを押す
 ・設定値：ON/ OFF
- 5 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

ネットワークの設定

ネットワークの設定は、ミマキ製品のネットワーク設定を行うツール「Network Configurator」でも行うことができます。Network Configurator は、ミマキエンジニアリングダウンロードページ (<http://japan.mimaki.com/download/>) より “ドライバ/ユーティリティ” をチェックしてダウンロードしてください。

1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す

- ・マシン設定メニューが表示されます。

2 **FUNC3** (>>) を 2 回押す

3 **▲▼** を押して “ネットワーク” を選び、**ENTER** キーを押す

4 **ENTER** キーを押す

- ・ “IP アドレス確認” が選択されます。
- ・ 現在、本機で使用中の IP アドレスが表示されます。
- ・ 確認が終わったら [ENTER] キーを押してください。



- ・ ネットワークに接続後、IP アドレスが確定するまで時間がかかります。IP アドレス未確定の場合、「0.0.0.0」と表示します。

5 **▼** を押し、**ENTER** キーを押す

- ・ “MAC アドレス確認” が選択されます。
- ・ 現在、本機で使用中の MAC アドレスが表示されます。
- ・ 確認が終わったら [ENTER] キーを押してください。

6 **▼** を押し、**ENTER** キーを押す

- ・ “DHCP” が選択されます。

7 **▲▼** を押して設定値を選び、**ENTER** キーを押す

- ・ 設定値：ON/ OFF
- ・ ON の場合、DHCP サーバーより与えられた IP アドレスを使用します。

8 **▼** を押し、**ENTER** キーを押す

- ・ “AutoIP” が選択されます。

9 **▲▼** を押して設定値を選び、**ENTER** キーを押す

- ・ 設定値：ON/ OFF
- ・ オンの場合、AutoIP プロトコルにより使用する IP アドレスを決定します。ただし、DHCP が ON の場合は DHCP を優先します。

10 **▼** を押し、**ENTER** キーを押す

- ・ “IP アドレス” が選択されます。

11 **▲▼** を押して設定値を選び、**ENTER** キーを押す

- ・ 設定値：ON/ OFF
- ・ DHCP、AutoIP が両方オフの場合、IP アドレスの設定ができます。それ以外の場合、手順 14 へ進みます。

12 **FUNC3** キーを押す

- ・ デフォルトゲートウェイ/DNS アドレス/サブネットマスクの設定項目が表示されます。
- ・ DHCP、AutoIP が両方オフの場合、デフォルトゲートウェイ /DNS アドレス /サブネットマスクの設定ができます。それ以外の場合、手順 14 へ進みます。

13 **▼** を数回押して設定項目を選択し、**ENTER** キーを押す

14 **▲▼** を押して設定値を選び、**ENTER** キーを押す

15 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す



- ・ ネットワークの設定を反映するには、一度電源をオフにし、再度電源をオンにしてください。

イベントメール機能の設定

プリントの開始/終了や、エラーによる中断などのイベントが発生した際に、設定したメールアドレスにメールを送信する機能を設定します。

イベントメールの設定は、ミマキ製品のネットワーク設定を行うツール「Network Configurator」でも行うことができます。Network Configurator は、ミマキエンジニアリングダウンロードページ (<http://japan.mimaki.com/download>) より“ドライバ/ユーティリティ”をチェックしてダウンロードしてください。

- 免責事項
- メール通知その他、インターネットの通信が発生した場合の通信費用は、お客様負担となります。
- イベントメール機能による通知は、インターネット環境や機器の故障、電源の故障などの要因により、不達となることがあります。不達や遅延があった場合などにおいて発生した損害について、当社では責任を負いかねます。

- 重要!**
- イベントメール機能は本機を LAN 接続することによって使用できます。あらかじめ LAN ケーブルの接続をしておいてください。
 - SSL 通信には対応していません。

イベントメール機能を有効にする

- ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す
• マシン設定メニューが表示されます。
- FUNC1** (<<) を押す
- ▲▼** を押して“イベントメール”を選び、**ENTER** キーを押す
- ENTER** キーを押す
• “メール送信”が選択されます。
- ▲▼** を押して“ON”を選び、**ENTER** キーを押す
- 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

イベントメールを送るイベントを設定する

- ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す
• マシン設定メニューが表示されます。
- FUNC1** (<<) を押す
- ▲▼** を押して“イベントメール”を選び、**ENTER** キーを押す
- ▼** を押し、**ENTER** キーを押す
• “送信イベント選択”が選択されます。

- ▲▼** を押してイベントを選択し、**FUNC2** (✓) を押す

- イベント選択後に **FUNC2** を押して、チェックボックスにチェックを入れてください。チェックが入っているイベントが起こったときに、メール送信を行います。
- 複数のイベントを選択したい場合は、**▲▼** を押して選択したいイベントにカーソルを合わせ、**FUNC2** を押してチェックを入れてください。

イベント名	概要
プリントスタート	プリント開始時にメールを送信する/しないを設定します。
プリントエンド	プリント終了時にメールを送信する/しないを設定します。
エラー	エラー発生によるプリント中断時にメールを送信する/しないを設定します。
ワーニング	プリント中のワーニング発生時にメールを送信する/しないを設定します。
その他	上記以外のイベント発生時にメールを送信する/しないを設定します。

- 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

メールアドレスを設定する

- ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す
• マシン設定メニューが表示されます。
- FUNC1** (<<) を押す
- ▲▼** を押して“イベントメール”を選び、**ENTER** キーを押す
- ▼** を2回押し、**ENTER** キーを押す
• “メールアドレス”が選択されます。
- ▲▼←→** を押してアドレスを設定し、**ENTER** キーを押す
• イベントメールを送信するメールアドレスを設定します。
• 英数字、記号、96文字以内で設定します。
- 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

件名を設定する

- ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す
• マシン設定メニューが表示されます。
- FUNC1** (<<) を押す
- ▲▼** を押して“イベントメール”を選び、**ENTER** キーを押す

- 4  を3回押し、 キーを押す
 ・“件名”が選択されます。
- 5     を押し、 キーを押す
 ・イベントメールの件名に記載する文字を設定します。
 ・英数字、記号、8文字以内で設定します。
- 6 終了するとき、 キーを数回押す

サーバーを設定する

- 1 ローカルで、 (MENU)   (2回)   キーを押す
 ・マシン設定メニューが表示されます。
- 2  (<<) を押す
- 3   を押し、 キーを押す
 ・“イベントメール”を選び、 キーを押す
- 4  を4回押し、 キーを押す
 ・“サーバー設定”が選択されます。
- 5  キーを押す
 ・“SMTP アドレス”が選択されます。
- 6     を押し、 キーを押す
 ・    を押し、SMTP アドレスを設定します。
 ・SMTP アドレス名を入力してください。
- 7  を押し、 キーを押す
 ・“SMTP ポート No.”が選択されます。
- 8   を押し、 キーを押す
 ・SMTP のポート番号を設定します。
- 9  を押し、 キーを押す
 ・“送信元メールアドレス”が選択されます。
- 10     を押し、送信元メールアドレスを設定し、 キーを押す
 ・    を押し、送信元メールアドレスとして使用するアドレスを設定します。
 ・英数字、記号、64文字以内で設定します。
-  ・使用するサーバーによっては、アカウントに対応したメールアドレスを設定しないとメールを送信できない場合があります。
- 11  を押し、 キーを押す
 ・“認証方式”が選択されます。

- 12   を押し、 キーを押す
 ・SMTP サーバーの認証方式を設定します。
 ・[オフ]を選択した場合、手順20に進みます。
- 13  を押し、 キーを押す
 ・“ユーザー名”が選択されます。
- 14     を押し、ユーザー名を設定し、 キーを押す
 ・    を押し、認証に使用するユーザー名を設定します。
 ・英数字、記号、30文字以内で設定します。
- 15  を押し、 キーを押す
 ・“パスワード”が選択されます。
- 16     を押し、パスワードを設定し、 キーを押す
 ・    を押し、認証に使用するパスワードを設定します。
 ・英数字、記号、15文字以内で設定します。
-  ・パスワードの設定画面では、現在入力中の値のみ確認が可能です。
- ・手順11で [POP before SMTP] を選択した場合、手順16～19を設定します。
- 17  を押し、 キーを押す
 ・“POP3 アドレス”が選択されます。
- 18     を押し、POP3 アドレスを設定し、 キーを押す
 ・    を押し、POP サーバーを設定します。
 ・POP サーバー名を入力してください。
- 19  を押し、 キーを押す
 ・“APOPOP”が選択されます。
- 20   を押し、ON/OFF を設定し、 キーを押す
- 21 終了するとき、 キーを数回押す

テストメールを送信する

- 1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す
 ・マシン設定メニューが表示されます。
- 2 **FUNC1** (<<) を押す
- 3 **▲** **▼** を押して“イベントメール”を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **FUNC3** (>>) → **ENTER** キーを押す
 ・“テストメール送信”が選択されます。

- 5 **ENTER** キーを押す
 ・送信結果が表示されます。
 ・テストメールの送信に失敗した場合、エラーコードが表示されます。
 次ページを参照し、対処してください。

```

テストメール ソウシン
シッパイ : 12345 :ent
    
```

エラーコード

- 6 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

- 重要!**
- ・テストメールの送信結果は、本機がメールサーバーに対して行ったメール送信処理の結果です。メールが宛先に届いたことを示すものではありません。
 - ・メールを受信する端末側で迷惑メールフィルタなどを設定している場合、「ソウシンカンリョウ」となってもメールが届かない場合があります。
 - ・テストメールの送信に失敗した場合、以下のエラーコードが表示されます。
 - ・エラーが解消されない場合、時間をおいてから試してみてください。
 - ・サーバーの設定等については、ネットワーク管理者またはプロバイダにご相談ください。

エラーコード	予想される原因	対処方法
10	ネットワーク接続エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・装置がネットワークに接続されていることを確認してください。 ・装置の IP アドレスが正しいことを確認してください。 ・装置が DNS を利用することのできる環境であることを確認してください。
20	有効なメールアドレスがありません	<ul style="list-style-type: none"> ・正しいメールアドレスを入力してください。
11003 11004	POP サーバーが見つかりません または、DNS サーバーにアクセスできません	<ul style="list-style-type: none"> ・POP サーバーのアドレスを確認してください。 ・装置が DNS を利用することのできる環境であることを確認してください。
11021	POP サーバーに接続できません	<ul style="list-style-type: none"> ・POP サーバー設定を確認してください。 ・ファイアーウォールの設定を確認してください。
12010	POP サーバーからエラーが返答されました	<ul style="list-style-type: none"> ・POP サーバーの設定を確認してください。
13000	POP 認証に失敗しました	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザー名とパスワードを確認してください。 ・APOP の設定を確認してください。 ・認証方式を確認してください。
10013 10014	SMTP サーバーが見つかりません または、DNS サーバーにアクセスできません。	<ul style="list-style-type: none"> ・SMTP サーバーのアドレスを確認してください。 ・装置が DNS を利用することのできる環境であることを確認してください。
10021	SMTP サーバーに接続できません	<ul style="list-style-type: none"> ・SMTP サーバー設定を確認してください。 ・SMTP ポート番号を確認してください。 ・ファイアーウォールの設定を確認してください。
10*** 11*** 20*** 21***	SMTP サーバーからエラーが返答されました または応答がありません	<ul style="list-style-type: none"> ・SMTP サーバーの設定を確認してください。 ・SSL 通信が必須のサーバーとは通信できません。 ・プロトコルフィルタの設定を確認してください。
12***	無効な送信元メールアドレスです	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザー名、パスワードに入力したアカウントに対応したメールアドレスが送信元メールアドレスに設定されているか、確認してください。
13***	メールの宛先が見つかりません または、無効なメールアドレスです	<ul style="list-style-type: none"> ・メールアドレスを確認してください。 ・メールアドレスに間違いがあっても、本エラーが検出できない場合があります。 ・ユーザー名、パスワードに入力したアカウントに対応したメールアドレスが送信元メールアドレスに設定されているか、確認してください。
22000 22008	SMTP 認証エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・認証方式を確認してください。
23*** 24*** 25***	SMTP 認証に失敗しました	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザー名とパスワードを確認してください。

“***” はメールサーバーから返答されたエラーコード

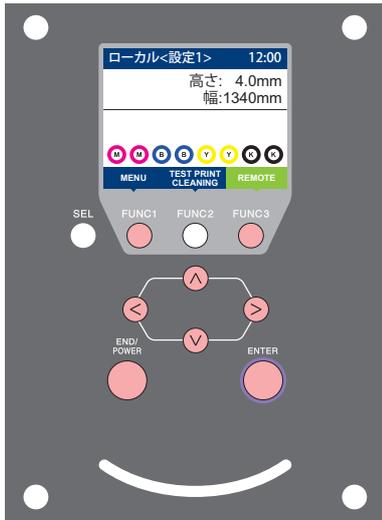
設定した内容を初期状態に戻す

「設定」「メンテナンス」「マシン設定」で設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- 1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す
・マシン設定メニューが表示されます。
- 2 **FUNC1 (<<)** を押す
- 3 **▲ ▼** を押して“リセット”を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **ENTER** キーを押す
・設定を初期化します。
- 5 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

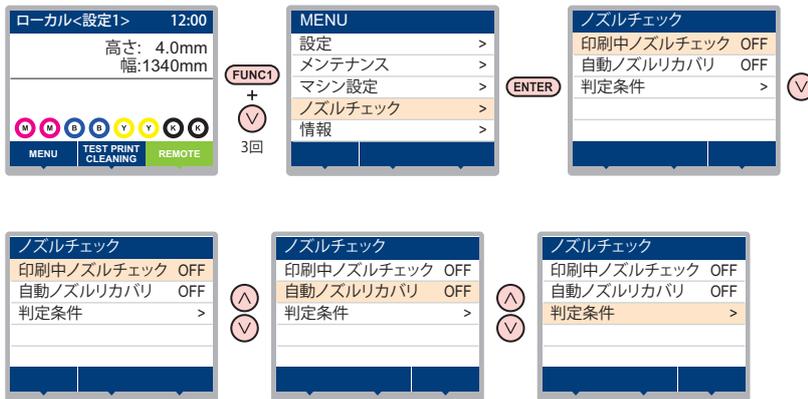
ノズルチェックメニューについて

ノズル抜け検出機能に関するオペレーションを設定します。



- FUNC1** : 情報メニューを選ぶときに押す
- FUNC3** : 次の画面に切り替えるときに押す
- ▲ ▼** : 設定項目を選択するときに押す
- ENTER** : 設定を確定するときなどに押す

◆ ノズルチェックメニュー一覧



ノズルチェックメニュー一覧表

機能名称	設定値	初期値	概要
印刷中ノズルチェック (☞ P.3-26)	ON/OFF	OFF	オンライン印刷の開始時にノズルチェックしたい場合、設定します。
(ON) チェック 間隔	距離 0.1 ~ 50.0m ファイル 1 ~ 100 ファイル	30.0m 30 ファイル	設定した距離毎にノズルチェックを行います。 設定したファイル数毎にノズルチェックを行います。 ^{*1}
復旧動作	クリーニング ソフト/ノーマル/ハード リトライ回数 0 ~ 3 回	ソフト 0 回	復旧動作時に行うクリーニングの種類を設定します。 設定回数分、リトライ動作を繰り返します。
自動ノズルリカバリ (☞ P.3-26)	ON/OFF	OFF	自動でノズルリカバリしたい場合に設定します。
判定条件 (☞ P.3-26)	1 ~ 200 ノズル	1 ノズル	色ごとに何本のノズル抜けを検出したら「ノズル抜け」と判定するか設定します。(1 ノズル列最大 16 本) ^{*2}

*1. プリントの途中で設定した距離に達した場合は、次のプリント開始時にノズルチェックを行います。

*2. プリント条件により、ノズルリカバリが適用されない場合があります。

印刷中ノズルチェックの流れ

プリント開始時に以下の流れでノズルチェックを行います。

重要!

- ・「印刷中ノズルチェック」の設定を“ON”にすると、有効になります。
- ・リトライ、自動ノズルリカバリの設定は、設定が有効な場合のみ行います。

1 ノズルチェック → 判定

ノズル抜けを検出します。

2 復旧動作 → ノズルチェック → 判定

ノズルチェック後「判定条件」以上のノズル抜けがあった場合、クリーニングを行ってから再度ノズルチェックを行います。

3 リトライ → 判定

復旧動作後「判定条件」以上のノズル抜けがあった場合、再度復旧動作を行います。

- ・「リトライ回数」の設定を1回以上にすると、有効になります。

4 自動ノズルリカバリ → 判定

ノズルチェックならびに復旧動作後、自動でノズルリカバリを行います。

- ・「自動ノズルリカバリ」の設定を“ON”にすると、有効になります。

5 ノズル抜け判定

最終的に「判定条件」以上のノズル抜けがあった場合は、プリント継続不可能と判定して、プリントを停止します。

「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生時の印刷動作

- 「ノズル抜け」と判定された場合 → プリントを停止します。
- ノズルチェック実施中にエラーが発生した場合 → 印刷を停止し、自動的に「印刷中ノズルチェック」を“OFF”に設定します。エラーから復旧後は、再度「印刷中ノズルチェック」の設定を行ってください。

印刷中ノズルチェックの設定

オンライン印刷の開始時にノズルチェックしたい場合、ON に設定します。

- 1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** (3回) → **ENTER** キーを押す
 - ・ノズルチェックメニューが表示されます。
- 2 **ENTER** キーを押す
 - ・“印刷中ノズルチェック”が選択されます。
- 3 **▲▼** を押して **ON** を選び、**ENTER** キーを押す
 - ・“チェック間隔”の設定画面が表示されます。
 - ・“OFF”を選ぶと、ノズルチェックは設定されません。手順 11 へ進んでください。
- 4 **ENTER** キーを押す
- 5 **▲▼** を押して設定項目を選び、**ENTER** キーを押す
 - ・ノズルチェックの間隔を“距離”または“ファイル”から選びます。
 - 距離 : プリントした距離が設定した長さに達すると、ノズルチェックを行う
 - ファイル : プリントしたファイル数が設定した数に達すると、ノズルチェックを行う
- 6 **▲▼** を押して設定値を選び、**ENTER** キーを押す
 - ・手順 5 で選んだ設定項目により、設定値は異なります。
 - 距離 : 0.1 ~ 50.0m
 - ファイル : 1 ~ 100 ファイル
- 7 **ENTER** キーを 2 回押す
 - ・“復旧動作”の設定画面が表示されます。
- 8 **ENTER** キーを押す
 - ・“クリーニング種別”が選択されます。
- 9 **▲▼** を押してクリーニングタイプを選び、**ENTER** キーを押す
 - 設定値 : OFF / ソフト / ノーマル / ハード
- 10 **▲▼** を押してリトライ回数を選び、**ENTER** キーを押す
 - 設定値 : 0 ~ 3 回
- 11 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

自動ノズルリカバリの設定

ノズル抜け判定された場合に自動でノズルリカバリしたい場合に設定します。

- 1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** (3回) → **ENTER** キーを押す
 - ・ノズルチェックメニューが表示されます。
- 2 **▼** を押し、**ENTER** キーを押す
 - ・“自動ノズルリカバリ”が選択されます。
- 3 **▲▼** を押して **ON/OFF** を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

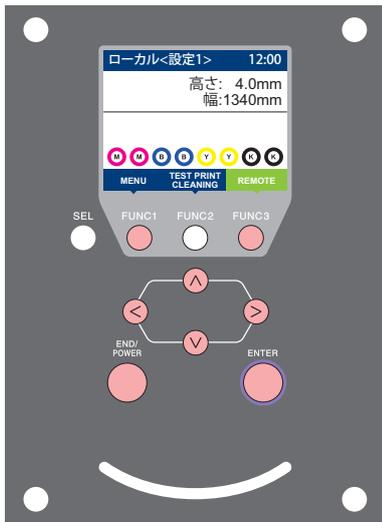
判定条件の設定

ノズル抜けの判定条件を設定します。

- 1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** (3回) → **ENTER** キーを押す
 - ・ノズルチェックメニューが表示されます。
- 2 **▼** を 2 回押し、**ENTER** キーを押す
 - ・“判定条件”が選択されます。
- 3 **▲▼** を押して色を選び、**ENTER** キーを押す
 - 
 - ・インクセットにより、色の種類は変わります。
- 4 **▲▼** を押して判定ノズル数を設定し、**ENTER** キーを押す
- 5 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

情報メニューについて

本機の装置情報を確認できます。
確認できる装置情報は、次の項目です。



- FUNC1** : 情報メニューを選ぶときに押す
- FUNC3** : 次の画面に切り替えるときに押す
- ▲** **▼** : 設定項目を選択するときに押す
- ENTER** : 設定を確定するときなどに押す

◆ 情報メニュー一覧



情報メニュー一覧表

項目		内容
使用状況	ワイピング情報	ワイピングした回数が表示されます。
	廃インクタンク情報	廃インクタンクに溜まっている廃インクが何%になっているか、目安が表示されます。
	プリント長情報	今までプリントした長さが表示されます。
	プリント面積情報	今までプリントした面積が表示されます。
	使用時間	今までの使用時間が表示されます。
	スパウトゴム	スパウトゴムの使用時間が表示されます。
	地張り剤	地張り剤の使用距離が表示されます。
	吸水ローラー	吸水ローラーの使用距離が表示されます。
バージョン		装置のバージョン情報が表示されます。
インク交換レポート		装置で使用したインクの履歴をプリントします。
エラー履歴		現在までに発生したエラー、ワーニング履歴が表示されます。 [▲][▼]を押して、発生順に発生日時(年月日時分)とエラー、ワーニング情報を切り替えて表示します。
リスト		装置の設定内容をプリントします。

情報を表示させる

1 ローカルで、**[FUNC1] (MENU)** → **[▼]** (4回) → **[ENTER]** キーを押す

- ・情報メニューが表示されます。

2 **[▲]** **[▼]** を押して情報を選ぶ

- ・「情報メニュー一覧表」を参照して、表示する情報を選びます。

3 **[ENTER]** キーを押す

- ・手順2で[リスト]を選んだ場合、装置の設定内容がプリントされます。

4 終了するとき、**[END/POWER]** キーを数回押す



- ・ワイパーの使用カウントをリセットしたい場合、ディスプレイに“クリアしますか？”を表示中に [FUNC2] キーを押します。[ENTER] キーを押すと、ワイピング回数をリセットします。
- ・使用状況の“ワイピング情報”、“廃インクタンク情報”、“スパウトゴム”、“地張り剤”、“吸水ローラー”を表示中にファンクションキーを押すと、使用カウントをリセットすることができます。
 ワイピング情報をリセットする場合 : [FUNC2] を押す
 廃インクタンク情報をリセットする場合 : [FUNC1] を押す
 スパウトゴムをリセットする場合 : [FUNC3] を押す
- ・使用状況の“地張り剤”、“給水ローラー”をリセットするときは、“カウンターのリセット”(P.4-32)を行います。

第4章 お手入れ



この章では ...

日常行っていただくお手入れ方法やインクカートリッジのメンテナンスなど、本機を快適にお使いいただくために必要な項目を説明します。

日常のお手入れ.....	4-2	チューブ洗浄間隔を設定する.....	4-17
お手入れ上のご注意.....	4-2	クリーニング間隔とタイプを設定する.....	4-17
メンテナンス液について.....	4-2	ノズル洗浄を中断する.....	4-17
外装のお手入れ.....	4-2	インク充填.....	4-18
引き剥がしローラーの清掃.....	4-2	消耗品の交換.....	4-18
ベルト補正ユニットの清掃.....	4-3	ワイパーを交換する.....	4-18
メンテナンスニューについて.....	4-4	スパウトゴムを交換する.....	4-19
メンテナンスメニュー一覧表.....	4-5	廃インクタンク確認メッセージが表示されたら 4-20	
キャッピングステーションのメンテナンス... 4-6		廃インクタンクを交換する.....	4-21
ワイパーとキャップの清掃.....	4-6	洗浄水を交換する.....	4-22
ヘッドノズルの洗浄.....	4-7	洗浄ユニットのメンテナンス.....	4-23
インク排出路の洗浄.....	4-9	ベルト洗浄ユニットの清掃.....	4-23
長期間使用しない場合.....	4-10	吸水ローラーのクリーニング.....	4-23
ヘッド周辺の清掃.....	4-13	地張り剤の塗り替え.....	4-25
ノズルリカバリ機能.....	4-14	地張り剤を剥がす.....	4-25
設定値をリセットする.....	4-15	地張り剤を塗る.....	4-27
リカバリできない条件を確認する.....	4-15	洗浄トレイとブラシの清掃.....	4-30
テストプリント時にノズルリカバリを有効にす るか設定する.....	4-16	搬送ベルトのクリーニング.....	4-31
オートメンテナンス機能.....	4-16	引き剥がしセンサのクリーニング.....	4-31
リフレッシュ間隔を設定する.....	4-16	カウンターのリセット.....	4-32

日常のお手入れ

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

お手入れ上のご注意

本機のお手入れをするとき、次の各事項にご注意ください。

	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンス液を使用する場合は、必ず付属の保護メガネを使用してください。
	<ul style="list-style-type: none"> 本機を、絶対に分解しないでください。感電および破損の原因になります。 また、お手入れは電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> 本機の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> 本機はインクの吐出安定性を確保するために、長時間ご使用（出力）されないときには、定期的に微量のインクを吐出（フラッシング）させる必要があります。 長時間使用されないときには、前面の電源スイッチのみをOFFとし、右側面の主電源スイッチはON（↑の状態）およびコンセントは挿入した状態にしておいてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドのノズル面やワイパー、キャップ等を水、アルコールなどで拭かないでください。ノズル詰まりや故障の原因になります。 ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。 本機の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障する恐れがあります。 メンテナンス液やインクが、カバーに付着しないように注意してください。カバーの表面が変質、変形します。

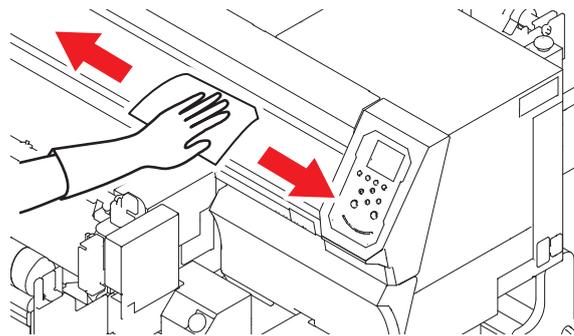
メンテナンス液について

メンテナンス液は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。

インクの種類	対応するメンテナンス液
昇華転写インク：Sb420 昇華転写インク：Sb421 分散染料インク：Dd400 酸性染料インク：Ac400 反応染料インク：Rc400 反応染料インク：Rc500	メンテナンス液 03 メンテナンスキット (ML003-2-K1) [別売]
捺染顔料インク：TP400	C-MLO12-Z-K1-1-KW
ハイブリッド： Sb420+TP400 Sb421+TP400	

外装のお手入れ

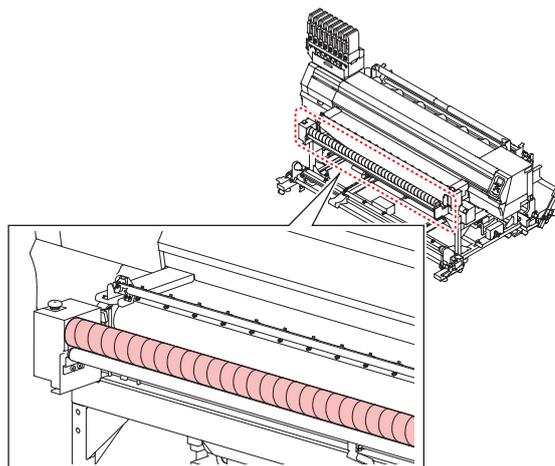
本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、強くしぼってから拭き取ってください。



引き剥がしローラーの清掃

装置前面にある引き剥がしローラーに付着したインクなどの汚れを取り除きます。

柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、強くしぼってから拭き取ってください。



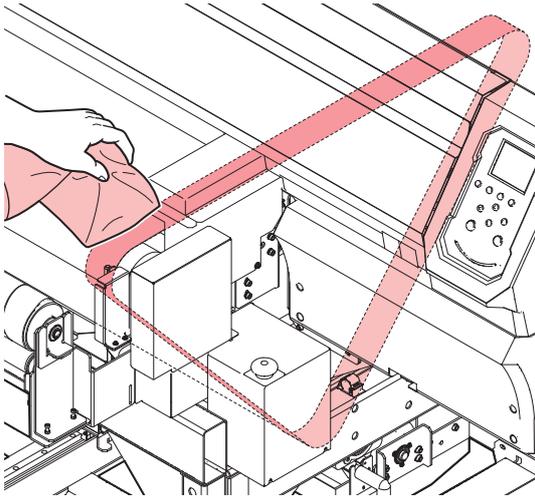
ベルト補正ユニットの清掃

搬送ベルトに塗った地張り剤が、ベルト補正ユニットのグリップゴムに付着することがあります。グリップゴムに地張り剤が付着したままだと、ベルト補正ユニットがスリップして印刷品質が低下する原因になります。

ベルト補正ユニットのグリップゴムと搬送ベルトの端面 20 mm (右側を全周) を、定期的に清掃してください。(1週間に1回程度)

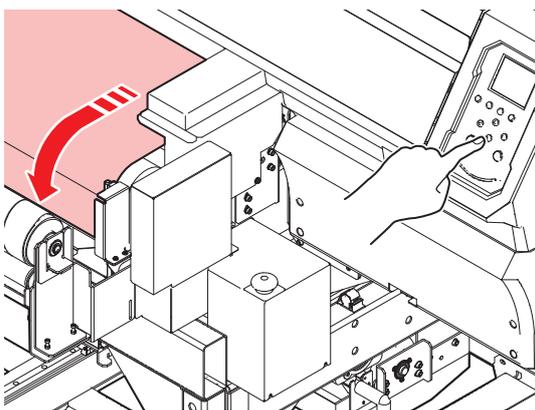
1 搬送ベルトの端面を清掃する

- アルコールをしみこませたウェスで、搬送ベルトの右側端面 20 mm を拭いてください。



- 清掃作業を行うときは、停止した状態で行ってください。(巻き込まれる恐れがあるため。)

2 ▼ を押し、ベルトをフィードする



3 手順 [1], [2] を繰り返し、全周を清掃する

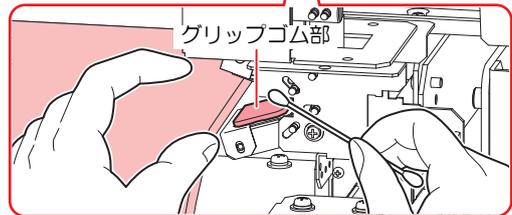
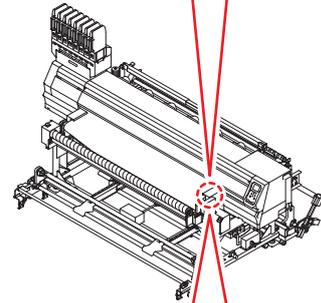
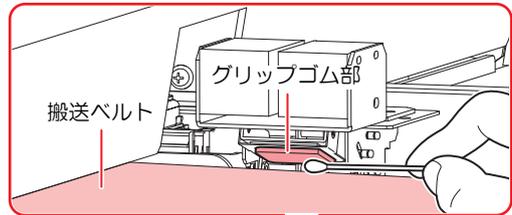
4 ベルト補正ユニットのカバーを外す



- 巻き込まれの危険性があるため、電源を落として作業を行ってください。

5 グリップゴムを清掃する

- アルコールをしみこませた綿棒で、搬送ベルトの上下にあるグリップゴム部を拭いてください。



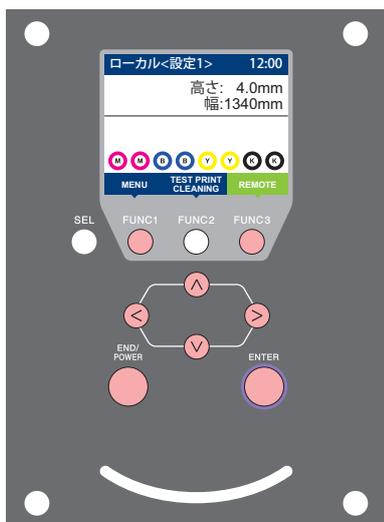
6 ベルト補正ユニットのカバーを取り付ける



- 巻き込まれの危険性があるため、電源を落として作業を行ってください。

メンテナンスメニューについて

本機のメンテナンスをするための各種設定です。
メンテナンス設定で設定できる内容は、次の項目です。



- FUNC1** : マシン設定メニューを選ぶとき、または、1つ前の画面に切り替えるときに押す
- FUNC2** : メンテナンス機能を使用するときを押す
- FUNC3** : 次の画面に切り替えるときに押す
- △** **▽** : 設定項目を選択するときに押す
- ENTER** : 設定を確定するときなどに押す

◆メンテナンスメニュー一覧

メンテナンスメニューのスクリーンショット一覧:

- 1. **メンテナンス 1/3**: ステーションメンテ, ノズルリカバリ, オートメンテナンス, インク充填, 廃インクタンク交換
- 2. **メンテナンス 2/3**: ベルト洗浄ユニット, ベルト地張り剤, ベルトクリーニング, 洗浄水交換, カウンターリセット
- 3. **メンテナンス 3/3**: テストプリント, クリーニング, ステーションメンテ

◆FUNC2キーを押したときの画面遷移

FUNC2キーを押したときの画面遷移:

- 1. **メンテナンス** (MENU)
- 2. **テストプリント**
- 3. **クリーニング**
- 4. **ステーションメンテ**

メンテナンスメニュー一覧表

項目	設定値	内容
ステーションメンテ	キャリッジやステーション周辺のメンテナンスを行います。	
	キャリッジアウト (☞ P.4-6)	キャリッジを移動し、キャップ周辺やヘッド、ワイパー等の清掃を行います。
	ノズル洗浄 (☞ P.4-7)	1 ~ 99min ノズル面をメンテナンス液で浸し、ノズル抜けや曲がり等の復旧を行います。
	ポンプチューブ洗浄 (☞ P.4-9)	吸引ポンプチューブの洗浄を行います。
	保管洗浄 (☞ P.4-10)	1 ~ 99min 本機を長期間使わないときに行います。あらかじめノズル洗浄と排路洗浄を行い、本機を快適な状態に保ちます。
	ワイパー交換 (☞ P.4-18)	ワイパーの交換をするときに使用します。ワイパー交換を行うと、本機で管理されていたワイパー使用回数がリセットされます。
ノズルリカバリ (☞ P.4-14)	ノズル洗浄等をしてもノズル抜け等が復旧しない場合、他のノズルを使用してプリントします。	
	プリント	パターンをプリントし、ノズル詰まりを起こしているノズルを確認します。
	登録	“プリント”で確認した不良ノズルを登録します。
	リセット	登録した不良ノズルをリセットします。
	チェック	登録された不良ノズルがリカバリ可能かチェックします。
	テストプリント	ON/OFF テストプリント時にノズルリカバリ機能の設定を行うか選びます。
オートメンテナンス (☞ P.4-16)	各種メンテナンス機能を自動的に行います。各々のメンテナンス実行間隔を設定してください。	
	リフレッシュ	お使いのインク種によって、設定値が異なります。 リフレッシュ動作の間隔を設定します。
	ポンプチューブ洗浄	排路洗浄の動作間隔を設定します。
	クリーニング	ヘッドクリーニングの動作間隔を設定します。
	タイプ	ノーマル/ハード*1 ヘッドクリーニングをするときのクリーニングタイプを設定します。
インク充填 (☞ P.4-18)	インクの充填動作を行い、ノズル詰まりを解消します。	
廃インクタンク交換 (☞ P.4-21)	廃インクタンクの使用カウントをリセットまたは補正します。	
ベルト洗浄ユニット (☞ P.4-23)	洗浄ユニットをメンテナンス位置に移動し、洗浄ブラシやトレイ内の清掃を行います。	
ベルト地張り剤 (☞ P.4-25)	地張り剤を剥がす	地張り剤を剥がす作業を行います。
	地張り剤を塗る	地張り剤を塗る作業を行います。
ベルトクリーニング (☞ P.4-31)	搬送ベルトのクリーニングを行います。	
洗浄水交換 (☞ P.4-22)	排水	洗浄ユニットの洗浄水を排水します。
	給水	洗浄ユニットに洗浄水を給水します。
	洗浄トレイ清掃	洗浄トレイと洗浄ブラシの清掃を行います。
カウンターリセット (☞ P.4-32)	地張り剤	各目安になるカウンターの初期化を行います。
	吸水ローラー	

*1. 反応染料インク Rc400、Rc500 をお使いの場合は、“ソフト”も設定可能です。

キャッピングステーションのメンテナンス

キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパー等のメンテナンスをします。(ステーションメンテナンス)

重要! ・ノズル状態を正常に保つため、ワイパーの清掃はこまめに実施してください。

インクキャップやワイパーは、それぞれ次のような働きをしています。

- ・ワイパー : ヘッドのノズルに付着したインクを拭き取る
- ・インクキャップ : ヘッドのノズルが乾燥により、目詰まりするのを防止する

本機を使用していると、インクやホコリ等でワイパーやキャップが汚れてきます。

ヘッドクリーニングを実行(☞ P.2-26)しても、ノズル抜けが解消されない場合は、03 メンテナンス液キットとクリーンスティックを使用して清掃を行います。

メンテナンスに必要な道具	
・03 メンテナンス液キット (品番 : ML003-Z-K1)	
・クリーンスティック (品番 : SPC-0527)	
・手袋	・保護メガネ



- ・キャッピングステーションのメンテナンスを行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- ・キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジを移動させたいときは、[FUNC1]キーを押し、キャリッジアウトを実行してください。(☞ P.4-6 手順1~2)

ワイパーとキャップの清掃

画質や本機の状態を良好に保つため、こまめに清掃されることをお勧めします。

- 重要!**
- ・ワイパーの汚れ、曲がりなどがひどい場合は、新しいワイパーと交換してください。(☞ P.4-18)
 - ・清掃の際は、クリーンスティックの繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、プリント不良の原因になります。

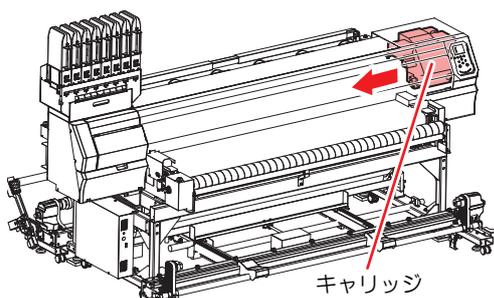
1 ローカルで、**[FUNC1] (MENU)** → **[ENTER]** キーを押す

- ・メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ENTER]** キーを2回押す

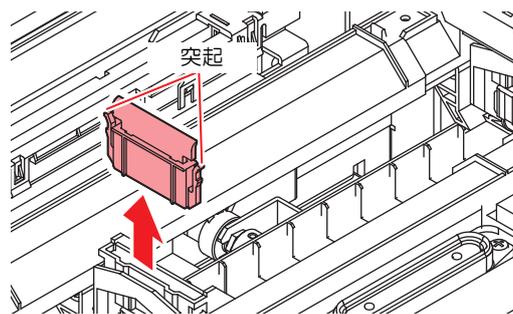
- ・キャリッジがベルト上に移動します。

3 フロントカバーを開ける



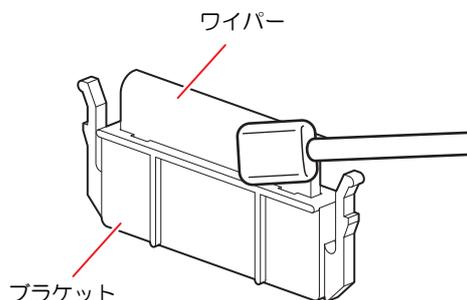
4 ワイパーを取り出す

- ・ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。



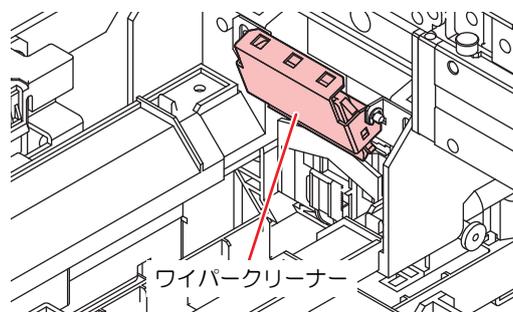
5 ワイパーとブラケットを清掃する

- ・ワイパーとブラケットに付着したインクを、メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。

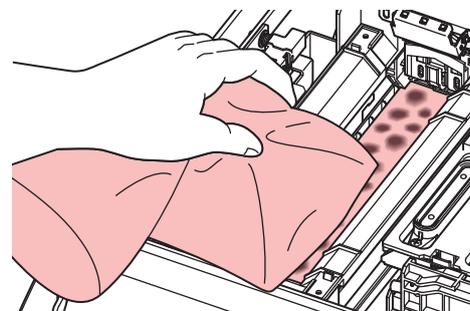


6 ワイパークリーナーを清掃する

- ・ワイパークリーナーに付着したインクを、メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。

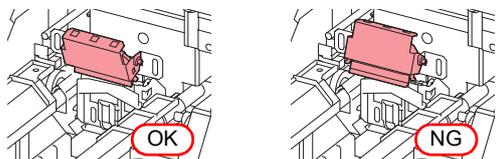


- ・吸収材ケースの中に、大量のインクが入っている場合、吸水ペーパー等で吸い取ってください。



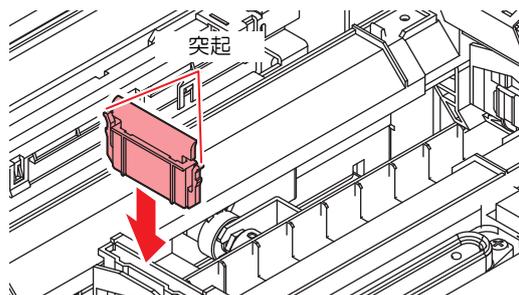


- ・ワイパークリーナーはブラケットから取り外さないでください。
- ・ワイパークリーナーのワイパーは、表面のみ清掃します。(裏面は清掃の必要はありません)
- ・吸収材ケースの中の吸収材は、取り外さないでください。
- ・ワイパークリーナー清掃後は、クリーナーが上を向いていないことを確認してください。



7 ワイパーを元の位置に戻す

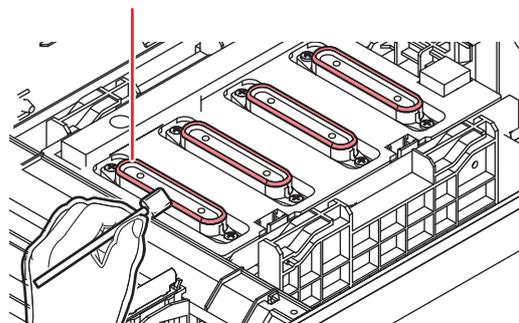
- ・ワイパー両端の突起を持ち、差し込みます。



8 キャップゴムを清掃する

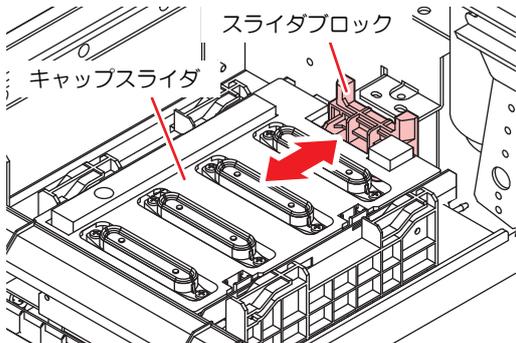
- ・キャップゴムに付着したインクを、メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
- ・メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。

キャップゴム



重要!

- ・キャップゴム清掃後、キャップスライダが傾いていないか確認します。傾いている場合、スライダブロックを左右へ動かし、傾きを直します。



9 清掃が終了したら、**ENTER** キーを押す

10 フロントカバーを閉め、**ENTER** キーを押す
・初期動作後、手順1の表示に戻ります。

ヘッドノズルの洗浄

1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **ENTER** キーを押す

- ・メンテナンスメニューが表示されます。

2 **ENTER** キーを押す

- ・“ステーションメンテ”が選択されます。

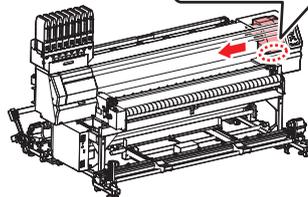
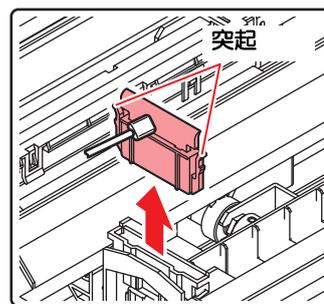
3 **ENTER** キーを押す

4 **ENTER** キーを押す

5 ディスプレイに“ワイパークリーニング”の表示が出たら、フロントカバーを開ける

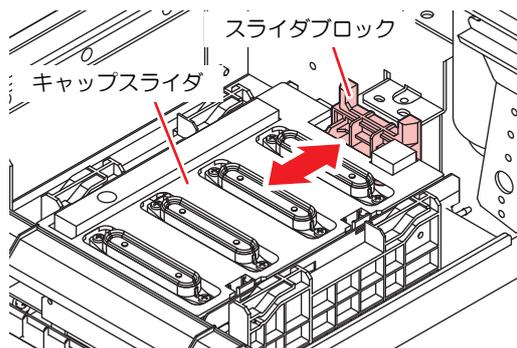
6 ワイパーとブラケットを清掃し、**ENTER** キーを押す

- (1) 右メンテナンスカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く
- (2) クリーンスティックにメンテナンス液を含ませて清掃する
・メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。
- (3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む



重要!

- ワイパー清掃後、キャップスライダが傾いていないか確認します。傾いている場合、スライダブロックを左右へ動かし、傾きを直します。



7

キャップゴムの清掃が完了したら、フロントカバーを閉め、**ENTER** キーを押す

- キャップゴムに付着したインクを、メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
- メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。
- このとき、自動的に排路が洗浄されます。

8

メンテナンス液が、キャップ一杯に満たされる

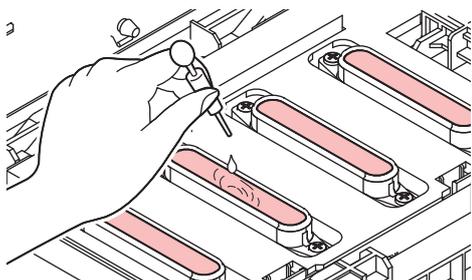
- 洗浄液カートリッジが有効の場合、自動的にメンテナンス液をキャップに満たします。
- メンテナンス液がキャップ一杯になると、ディスプレイにメンテナンス液確認の指示が表示されます。

重要!

- フロントカバーが閉まっていないと、自動的にメンテナンス液が満たされません。フロントカバーが開いている場合は、必ず閉めてください。

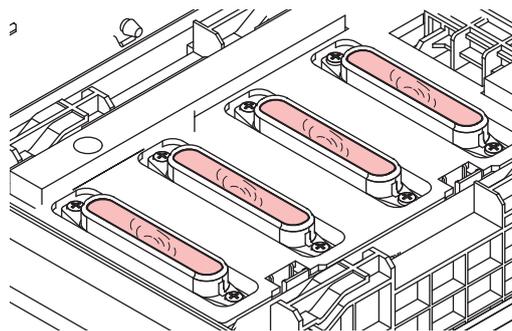


- 洗浄液カートリッジが有効でない場合は、自動的にメンテナンス液がキャップに満たされません。フロントカバーを開け、スポイトを使ってメンテナンス液をキャップからあふれる寸前まで満たしてください。メンテナンス液を満したら、手順9からの操作をしてください。



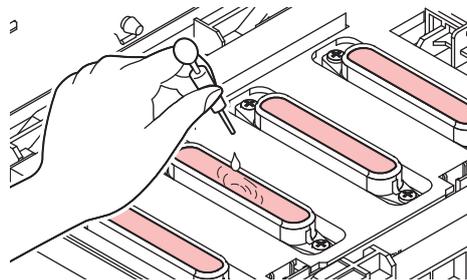
9

メッセージが表示されたら、フロントカバーを開け、キャップに満たされているメンテナンス液の量を確認する



重要!

- メンテナンス液がキャップ一杯になっていない場合は、スポイトを使ってメンテナンス液をキャップからあふれる寸前まで満たしてください。



10

フロントカバーを閉め、**ENTER** キーを押す

11

▲▼ を押してメンテナンス液の放置時間を設定し、**ENTER** キーを押す

- 設定値 : 1 ~ 99 分 (1 分単位)
- キャップに満したメンテナンス液を吸引します。
- 設定した時間が経過するまで、ディスプレイには“しばらくお待ちください”が表示されます。

重要!

- ノズルリカバリ (P.4-14) やこの洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡 (サービスコール) ください。

インク排出路の洗浄

インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを防止するため、定期的に(1週間に1回程度)インク排出路の洗浄をしてください。

- 重要!** ・インク排出路の洗浄を行う前に、必ずメンテナンス液がセットされていることを確認してください。メンテナンス液がセットされていないと、洗浄動作をせず、経路が詰まる恐れがあります。

1 ローカルで、**FUNC1 (MENU) →** **ENTER** キーを押す

- ・メンテナンスメニューが表示されます。

2 **ENTER** キーを押す

- ・“ステーションメンテ”が選択されます。

3 **▲ ▼** を押して“ポンプチューブ洗浄”を選び、**ENTER** キーを押す

4 **▲ ▼** を押して洗浄するヘッドを選び、**ENTER** キーを押す

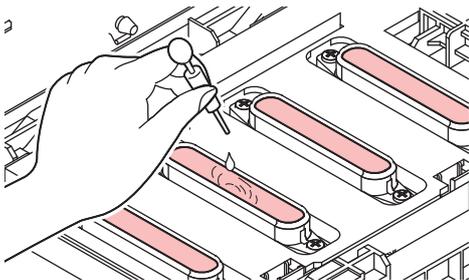
5 メンテナンス液が、キャップ一杯に満たされる

- ・洗浄液カートリッジが有効の場合、自動的にメンテナンス液をキャップに満たします。

- 重要!** ・フロントカバーが閉まっていないと、自動的にメンテナンス液が満たされません。フロントカバーが開いている場合は、必ず閉めてください。

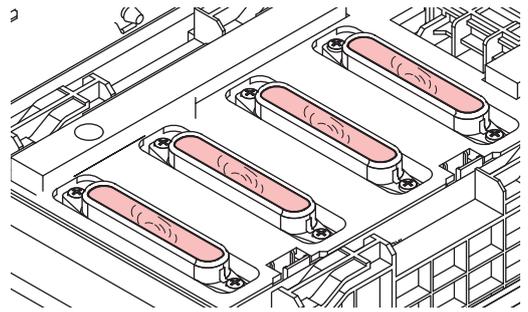


- ・洗浄液カートリッジが有効でない場合は、自動的にメンテナンス液がキャップに満たされません。フロントカバーを開け、スポイトを使ってメンテナンス液をキャップからあふれる寸前まで満たしてください。メンテナンス液を満したら、手順7からの操作をしてください。

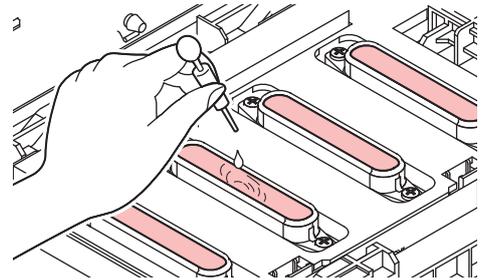


6

終了メッセージが表示されたら、フロントカバーを開け、キャップに満たされているメンテナンス液の量を確認する



- 重要!** ・メンテナンス液がキャップ一杯になっていない場合は、スポイトを使ってメンテナンス液をキャップからあふれる寸前まで満たしてください。



7

フロントカバーを閉め、**ENTER** キーを押す

長期間使用しない場合

本機を2日間使用しない場合（週末など）

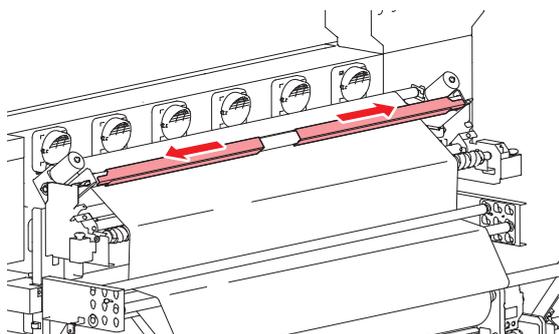
週末など、本機を2日間使用しないときは、次の作業をしてください。

1 日常のお手入れの各項目を行う

- ・「日常のお手入れ」(P.4-2) を参照してください。

2 加圧ローラーが上がっており、ロックされていることを確認する

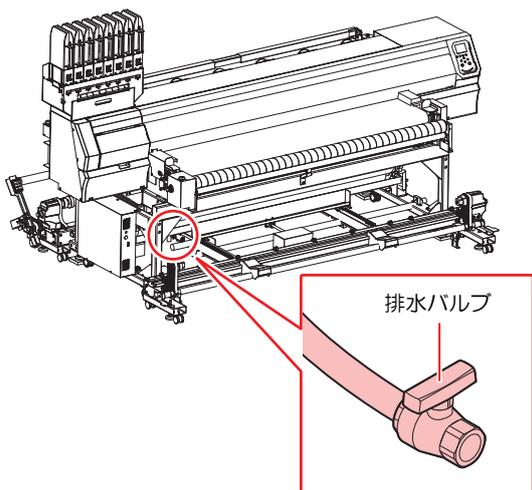
- ・加圧ローラーはスライドロック式です。ロック位置を確認してください。
- ・メディアは本機から取り外してください。



- 重要!** ・加圧ローラーは必ず上げてください。長時間加圧ローラーが下りた状態でフィードを行わないと、加圧ローラーが地張り剤に貼り付いて持ち上がらなくなります。

3 洗浄バルブを開け、洗浄ユニットの水を抜く

- ・排水バルブの下にバケツなどを置いてから排水バルブを開けてください。

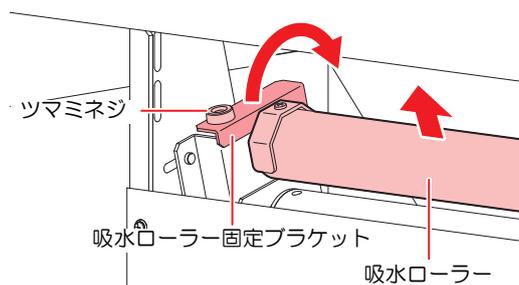


4 ベルト洗浄の設定を“OFF”にする

- ・「ベルト洗浄の設定」(P.3-11) を参照してください。

5 吸水ローラーを外す

- ・ツマミネジを外し、左右の吸水ローラー固定ブラケットを回転させてください。



- 重要!** ・吸水ローラーは必ず外してください。吸水ローラーを長時間押し当てた状態にすると、変形することがあります。

本機を3日間使用しない場合（週末など）

本機を3日間使用しない場合は、次の作業をしてください。

1 「本機を2日間使用しない場合（週末など）」の作業を行う

2 新しい廃インクタンクと交換する

- ・「廃インクタンク確認メッセージが表示されたら」(P.4-20) を参照してください。

本機を1週間以上使用しない場合

1週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングしてください。その後、本機を保管してください。

- 重要!** ・主電源は、常時「オン」でお使いください。ヘッドのノズル保護のため、ノズル詰まりを防ぐ機能が自動的に働きます。
- ・主電源スイッチを「オフ」のまま長時間放置すると、ヘッドのノズル詰まりの原因となります。

事前に確認してください

[ニアエンド],[インクエンド]は表示していませんか?

- ・洗浄動作の際に、メンテナンス液やインクの吸引を行います。このとき、インクエンドまたはニアエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。
- ・インクエンド等、未検出のインク IC チップに交換してください。



- ・ワーニングメッセージ“廃インクタンク確認”が表示された場合、廃インクタンクを確認し、状況に応じてP.4-20「廃インクタンク確認メッセージが表示されたら」を参照して操作をしてください。

1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **ENTER** キーを押す

- ・メンテナンスメニューが表示されます。

2

ENTER キーを押す

・“ステーションメンテ”が選択されます。

3

▲▼ を押して“保管洗浄”を選び、

ENTER キーを押す

・キャリッジがベルト上に移動します。

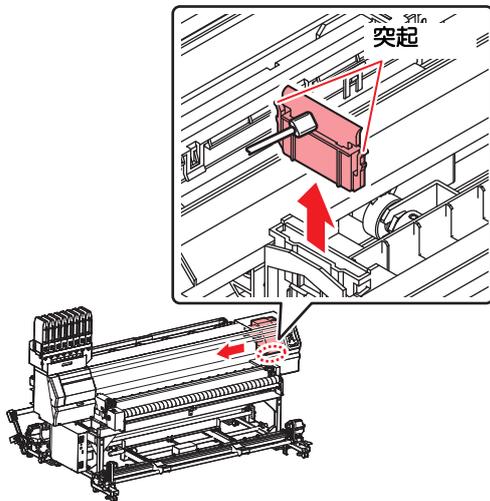
4

ディスプレイに“ワイパークリーニング”の表示が出たら、フロントカバーを開ける

5

ワイパーとブラケットを清掃する

- (1) フロントカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く
- (2) クリーンスティックにメンテナンス液を含ませて清掃する
メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。
- (3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む



6

ENTER キーを押す

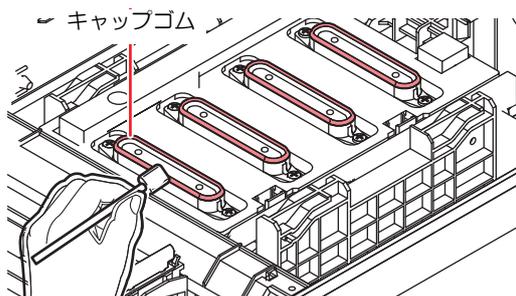
重要!

・キャップのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには“終了”が表示されます。手順5の作業が完了してから [ENTER] キーを押してください。クリーニングが終了する前に [ENTER] キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

7

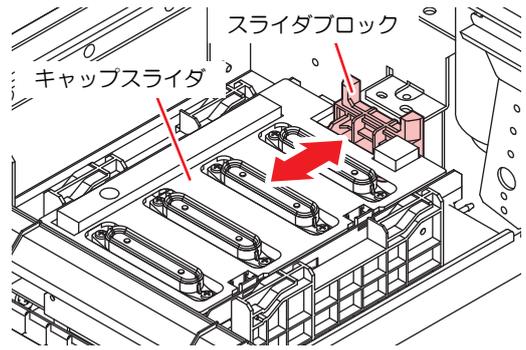
キャップゴムを清掃する

- ・キャップゴムに付着したインクを、メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
- ・メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。
- ・このとき、自動的に排路が洗浄されます。



重要!

・キャップゴム清掃後、キャップスライダが傾いていないか確認します。傾いている場合、スライダブロックを左右へ動かし、傾きを直します。



8

フロントカバーを閉め、**ENTER** キーを押す

9

メンテナンス液が、キャップ一杯に満たされる

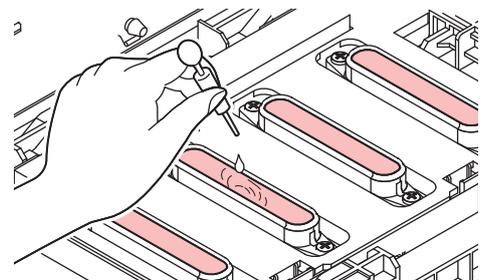
- ・洗浄液カートリッジが有効の場合、自動的にメンテナンス液をキャップに満たします。
- ・メンテナンス液がキャップ一杯になると、ディスプレイにメンテナンス液確認の指示が表示されます。

重要!

・フロントカバーが閉まっていないと、自動的にメンテナンス液が満たされません。フロントカバーが開いている場合は、必ず閉めてください。

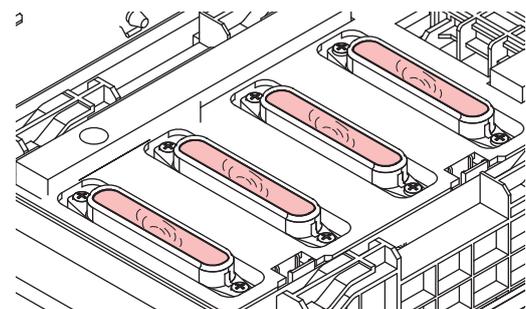


・洗浄液カートリッジが有効でない場合は、自動的にメンテナンス液がキャップに満たされません。フロントカバーを開け、スポイトを使ってメンテナンス液をキャップからあふれる寸前まで満たしてください。メンテナンス液を満たしたら、手順 11 からの操作をしてください。



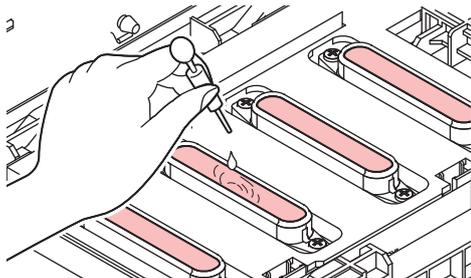
10

メッセージが表示されたら、フロントカバーを開け、キャップに満たされているメンテナンス液の量を確認する



4

- 重要!** ・メンテナンス液がキャップ一杯になっていない場合は、スポイトを使ってメンテナンス液をキャップからあふれる寸前まで満たしてください。



11 フロントカバーを閉め、**ENTER** キーを押す

12 **▲** **▼** を押して、メンテナンス液の放置時間を設定する

- ・設定値 : 1 ~ 99 分 (1 分単位)

13 **ENTER** キーを押す

- ・ノズルの洗浄を実行します。
- ・ノズルの洗浄が終了すると、ヘッドがメンテナンス位置に移動します。

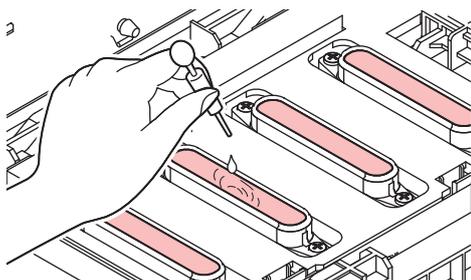
14 メンテナンス液が、キャップ一杯に満たされる

- ・洗浄液カートリッジが有効の場合、自動的にメンテナンス液をキャップに満たします。

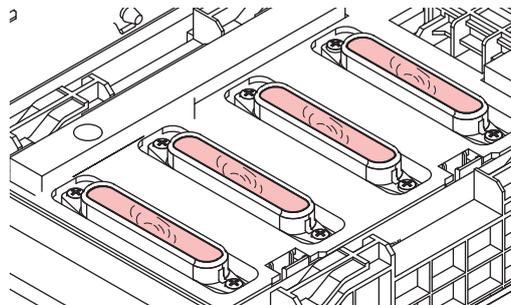
- 重要!** ・フロントカバーが閉まっていないと、自動的にメンテナンス液が満たされません。フロントカバーが開いている場合は、必ず閉めてください。



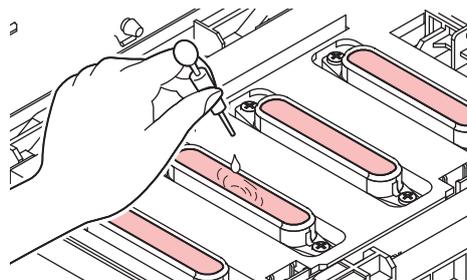
- ・洗浄液カートリッジが有効でない場合は、自動的にメンテナンス液がキャップに満たされません。フロントカバーを開け、スポイトを使ってメンテナンス液をキャップからあふれる寸前まで満たしてください。メンテナンス液を満したら、手順 16 からの操作をしてください。



15 終了メッセージが表示されたら、フロントカバーを開け、キャップに満たされているメンテナンス液の量を確認する



- 重要!** ・メンテナンス液がキャップ一杯になっていない場合は、スポイトを使ってメンテナンス液をキャップからあふれる寸前まで満たしてください。



16 フロントカバーを閉じ、**ENTER** キーを押す
・初期動作後、手順 2 の表示に戻ります。

長期間使用しなかった後に本機を使うときは

本機を長期間使用しなかった後、再度使う場合には、次の作業をしてください。

1 ヘッドクリーニング (ハード) を行い、ノズルの状態を確認する

- ・「ヘッドクリーニング」(P.2-26) を参照してください。

2 抜けがある場合は、ノズル洗浄を行う

- ・「ヘッドノズルの洗浄」(P.4-7) を参照してください。

ヘッド周辺の清掃

ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れの際には十分な注意が必要です。スライダ下部、ヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホコリが付着することがありますので、クリーンスティックなどでこすり落としてください。その際、ヘッドのノズル部分は絶対にこすらないようにしてください。

清掃に必要な道具

• クリーンスティック	• 手袋
• 保護メガネ	



- 清掃を行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- インクは有機溶剤を使用しています。皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **ENTER** キーを押す

- メンテナンスメニューが表示されます。

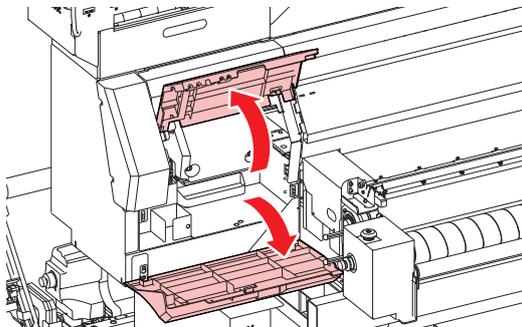
2 **ENTER** キーを2回押す

- “キャリッジアウト”が選択されます。

3 **▲ ▼** を押して“ヘッドメンテ”を選び、**ENTER** キーを押す

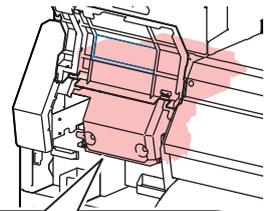
- キャリッジが本機の左側に移動します。

4 メンテナンスカバーを開く



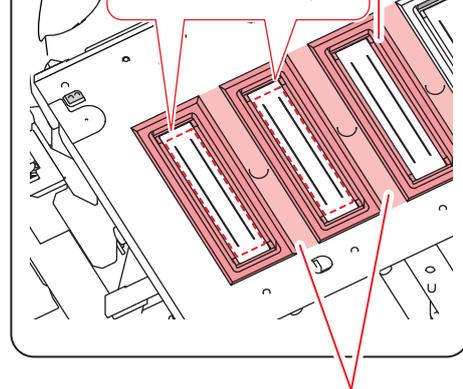
5 ヘッドの側面などに付着したインクをクリーンスティックで拭き取る

- ノズル部分は、絶対にこすらないでください。



ヘッドの側面(濃い灰色部分)をクリーンスティックで清掃します。

ノズル部分(絶対に触らないでください)



クリーンスティックまたはウェスで清掃します

6 清掃が終了したら、**ENTER** キーを押す

7 メンテナンスカバーを閉じ、**ENTER** キーを押す

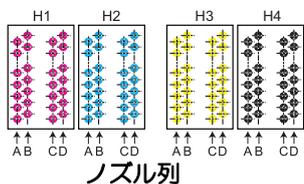
- 初期動作後、ローカルに戻ります。

ノズルリカバリ機能

特定ノズルのノズル抜けが直らない場合、そのノズルは使用せず他の正常なノズルをかわりに使用(ノズルリカバリ)してプリントすることができます。

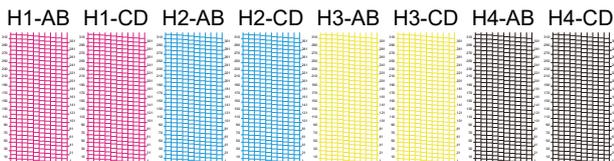
- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** → **(▼)** → **(ENTER)** キーを押す
 - ・メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 **(▲)** **(▼)** を押して“ノズルリカバリ”を選び、**(ENTER)** キーを押す
- 3 **(ENTER)** キーを2回押す
 - ・ノズルパターンのプリントを開始します。
 - ・“登録”を選択すると、プリントをしないで、ノズル列選択手順(手順4)に移ります。

ヘッドを上から見た図



ノズル列

ヘッド1のノズルパターン



重要! ・リーフメディアを使用する場合、A3 サイズ横置き以上のサイズのメディアをセットしてください。幅の狭いメディアをセットすると、途中までしかプリントされません。

- 4 **(▲)** **(▼)** を押してノズルリカバリをするノズル列を選び、**(ENTER)** キーを押す

登録ノズル選択

ヘッド番号 (H1~H4)	H1	AB	>	ノズル列
	H1	CD	>	
	H2	AB	>	
	H2	CD	>	
	***		>	

- 5 リカバリが必要なノズル番号を登録し、**(ENTER)** キーを押す

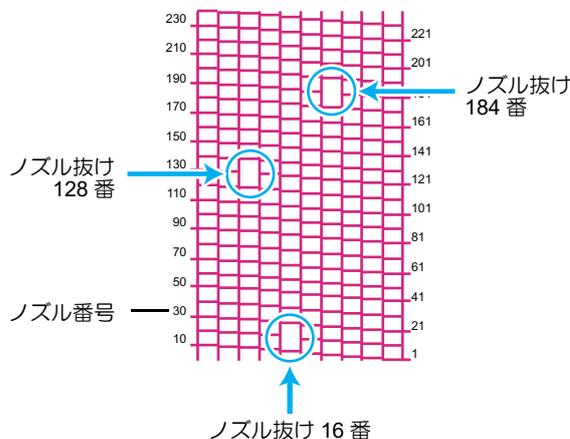
- (1) **(▲)****(▼)** を押して登録番号 (1~10) を選択し、**(ENTER)** キーを押します。
- (2) **(▲)****(▼)** を押してリカバリするノズル番号を登録し **(ENTER)** キーを押します。

Head1-AB	
No.1	16
No.2	128
No.3	184
No.4	OFF
No.5	OFF

リカバリノズル番号または OFF

登録番号: 1~10

リカバリノズル登録例



登録番号	リカバリノズル番号	状態
1	16	ノズルリカバリする
2	128	ノズルリカバリする
3	184	ノズルリカバリする
4	OFF	登録無し
5	OFF	登録無し

- 6 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

重要! ・1ノズル列あたり10個までノズルを登録できます。
 ・本機能を使用しても、プリント時間は変わりません。
 ・最低パスでプリントをした場合は、ノズルリカバリが反映されません。

設定値をリセットする

- 1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **ENTER** キーを押す
・メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 **▲▼** を押して“ノズルリカバリ”を選び、**ENTER** キーを押す
- 3 **▲▼** を押して“リセット”を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **▲▼** と **FUNC1** (PAGE>) **FUNC3** (<<) を押してリセットするノズル列を選び、**ENTER** キーを押す
・リセット確認のメッセージが表示されます。
- 5 **ENTER** キーを押す
- 6 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

リカバリできない条件を確認する

- 1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **ENTER** キーを押す
・メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 **▲▼** を押して“ノズルリカバリ”を選び、**ENTER** キーを押す
- 3 **▲▼** を押して“チェック”を選び、**ENTER** キーを押す
・判定条件入力画面が表示されます。

判定条件	
解像度	720 x 720
パス	8
スキャン速度	標準
MAPS4	>
重ね塗り	1



- ・ハイブリッド機能により2種類のインクをご使用の場合は、チェックするインク種類を選択してください。

判定条件	
インク選択	
:Sb420	

4 判定条件の各項目を、現在お使いの状態に合わせる

- (1) **▲▼** を押して変更する項目を選び、**ENTER** キーを押す
- (2) **▲▼** を押して設定値を変更し、**ENTER** キーを押す
- (3) (1)(2) を繰り返し、全ての項目を設定する

5 **FUNC2** キーを押す

- ・設定したプリント条件でノズルリカバリできるか、チェックを始めます。
- ・チェックが終わると、画面に判定結果が表示されます。

ノズルリカバリ可能な場合

判定結果	
判定結果	OK

ノズルリカバリ不可能な場合

判定結果	
判定結果	NG
HEAD1-AB	1
HEAD1-CD	0
HEAD2-AB	0
HEAD2-CD	2
判定結果	
HEAD3-AB	1
HEAD3-CD	0
HEAD4-AB	0
HEAD4-CD	0

ヘッド番号とノズル列

リカバリできないノズル数

6 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

テストプリント時にノズルリカバリを有効にするか設定する

以下の設定を“ON”にし、かつP.4-14「ノズルリカバリ機能」でリカバリするノズル番号を登録しておけば、テストプリントをする(P.2-24)ときにノズルリカバリ機能が有効になります。

- 1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** → **ENTER** キーを押す
・メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 **▲▼** を押して“ノズルリカバリ”を選び、**ENTER** キーを押す
- 3 **▲▼** を押して“テストプリント”を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **▲▼** を押して ON/OFF を選び、**ENTER** キーを押す
- 5 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

オートメンテナンス機能

本機を快適にお使いになるため、自動的に各種メンテナンスを行うように設定できます。ここでは、各種自動メンテナンスの実行間隔を設定します。

定期的に自動メンテナンスを行うことにより、インク詰まりなどのトラブルを防止することができます。

(オートメンテナンス機能)

オートメンテナンス機能には、以下の項目があります。

- 重要!**
- ・手動で各種メンテナンスを行った場合、手動メンテナンス終了後、オートメンテナンス機能で設定した時間が経過したら自動的に各種メンテナンスを開始します。
 - ・オートメンテナンス機能をお使いになるときは、必ずメンテナンス液がセットされていることを確認してください。メンテナンス液がセットされていないと、チューブ洗浄の動作を定期的に行わず、経路が詰まる恐れがあります。

機能名	説明
リフレッシュ	リフレッシュを実行するまでの間隔を設定します。
ポンプチューブ洗浄	排路洗浄の動作間隔を設定します。
クリーニング (間隔)	クリーニングを実行するまでの間隔を設定します。
クリーニング (タイプ)	クリーニングタイプを設定します。
ノズル洗浄	動作の設定を変更することはできません。

- 重要!**
- ・ワーニングメッセージ“! 廃インクタンク”が表示されている場合、オートメンテナンス機能で設定した動作は実行されません。必要に応じてP.4-21の操作をしてください。
 - ・装置前面の電源スイッチをオフにする場合は、廃インクタンクの確認をしてください。

リフレッシュ間隔を設定する

ノズル詰まり防止のため、ノズルから若干のインクを吐出する間隔を設定します。

- 1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** → **ENTER** キーを押す
・メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 **▲▼** を押して“オートメンテナンス”を選び、**ENTER** キーを押す
- 3 **ENTER** キーを押す
・“リフレッシュ”が選択されます。
- 4 **▲▼** を押してリフレッシュ間隔を設定し、**ENTER** キーを押す
・設定値：お使いのインク種によって、設定値が異なります。
- 5 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

チューブ洗浄間隔を設定する

インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを防止するため、インク排出路の洗浄を行う間隔を設定します。

- 重要!** ・オートメンテナンス機能のチューブ洗浄を行うには、必ずメンテナンス液がセットされている必要があります。メンテナンス液がセットされていないと、チューブ洗浄の動作を定期的に行わず、経路が詰まる恐れがあります。

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** → **(▼)** → **(ENTER)** キーを押す
・メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 **(▲)** **(▼)** を押して“オートメンテナンス”を選び、**(ENTER)** キーを押す
- 3 **(▼)** を押し、**(ENTER)** キーを押す
・“ポンプチューブ洗浄”が選択されます。
- 4 **(▲)** **(▼)** を押してチューブ洗浄をする間隔を設定し、**(ENTER)** キーを押す
・設定値：お使いのインク種によって、設定値が異なります。
- 5 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

クリーニング間隔とタイプを設定する

クリーニングタイプと、クリーニングを実行するまでの間隔を設定します。

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** → **(▼)** → **(ENTER)** キーを押す
・メンテナンスメニューが表示されます。
 - 2 **(▲)** **(▼)** を押して“オートメンテナンス”を選び、**(ENTER)** キーを押す
 - 3 **(▼)** を数回押して“間隔”または“タイプ”を選択し、**(ENTER)** キーを押す
 - 4 **(▲)** **(▼)** を押して設定値を選び、**(ENTER)** キーを押す
・設定値：お使いのインク種によって、設定値が異なります。
・タイプの設定値：ノーマル/ハード
-  ・反応染料インク Rc400、Rc500 をお使いの場合は、“ソフト”も設定可能です。
- 5 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

ノズル洗浄を中断する

ノズル洗浄中にプリントなどの作業をしたいときに、ノズル洗浄を中断することができます。



- ・ノズル洗浄を中断した場合は、設定済みの洗浄時間を待たずにヘッドクリーニングを実行します。

1 ノズル洗浄実施中に、**(END/POWER)** キーを押す

- ・ノズル洗浄中止の選択画面が表示されます。



2 **(▶)** を押して“中止”を選ぶ

- ・ノズル洗浄を中止し、ヘッドクリーニング(ノーマル)を始めます。
- ・ヘッドクリーニングが終了しローカルに戻ったら、プリントなどの作業を行ってください。



- ・そのままノズル洗浄を継続したい場合は、**[◀]**(継続)を選んでください。
- ・反応染料インク Rc400、Rc500 をお使いの場合は、ノズル洗浄中止後、ソフトクリーニングを始めます。

インク充填

インクの充填動作を行い、ノズル詰まりを解消します。

- 1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** → **ENTER** キーを押す
 ・メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 **▲▼** を押して “インク充填” を選び、**ENTER** キーを押す
- 3 **▲▼** を押して充填するヘッドを選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **ENTER** キーを押す
 ・自動的にインク充填を開始します。
- 5 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

消耗品の交換

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお問い合わせください。

消耗品は、弊社ウェブサイトにてご覧になれます。

<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>

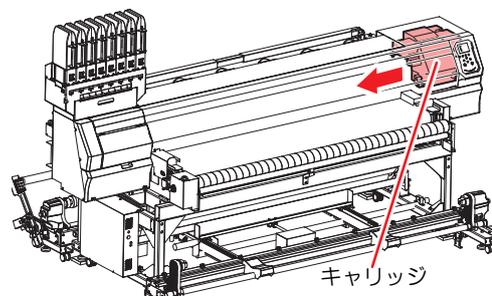
ワイパーを交換する

ワイパーは消耗品です。ディスプレイにワーニングメッセージ “ワイパー交換” が表示されたら、速やかにワイパーを確認・交換してください。

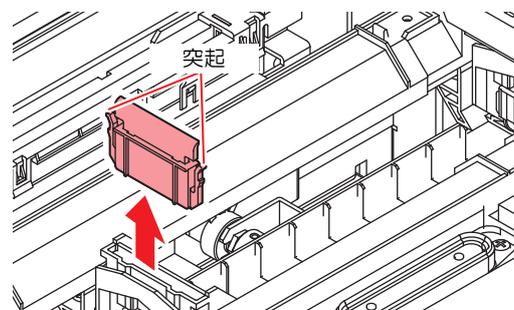
また、スライダ下面に付着したインクの清掃をしてください。

- 重要!**
- ・ワイパー交換のワーニングが表示された場合、ワイパーフィルム先端部にキズや毛羽立ち等がないか確認してください。ワイパーフィルム先端部にキズや毛羽立ちがない場合は、そのままお使いになれます。
 - ・クリーニングワイパーは別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。

- 1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** → **ENTER** キーを押す
 ・メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 **ENTER** キーを押す
 ・“ステーションメンテ” が選択されます。
- 3 **▲▼** を押して “ワイパー交換” を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **ENTER** キーを押す
 ・キャリッジがベルト上に移動します。



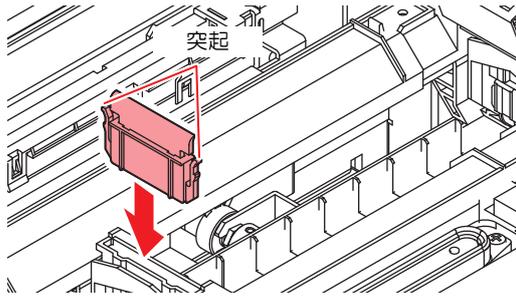
- 5 ワイパーを取り出す
 ・ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。



6

新しいワイパーを差し込む

- ワイパー両端の突起を持ち、差し込みます。



7

フロントカバーを閉じ、**ENTER** キーを押す

- 初期動作後、ローカルに戻ります。

スパウトゴムを交換する

エコケースには、2L インクパックからのインク漏れ低減のために、スパウトゴムが実装されています。スパウトゴムはサプライ品です。(品番：SPA-0317) 交換時期(半年)をワーニングでお知らせします。ワーニングが表示されたら、スパウトゴムを交換してください。



- 2L インクパックを交換するときは、必ず付属の保護メガネを着用してください。誤って、インクが目に入る可能性があります。

重要!

- スパウトゴムは、8セットすべて同時に交換してください。
- 使用環境や使用条件により、スパウトゴムが半年以内に劣化する場合があります。写真のように中央のすき間が広がった場合、ワーニングメッセージにかかわらず交換してください。

初期



使用可能



使用不可



- ワーニング表示以外で交換する場合、下記の手順でカウンタをリセットしてください。
- (1) ローカルで、**FUNC1** キーを押して「情報」を選び、**ENTER** キーを押す
- (2) 「使用状況」を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **FUNC3** キーを押す
- (4) 下記が表示されたら、**ENTER** キーを押して、カウンタをリセットする

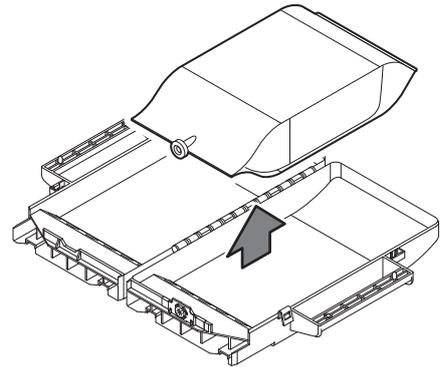
エコケース/スパウトゴム コウカン
クリア シマスカ? [ENT]

1

2L エコケースを開ける

2

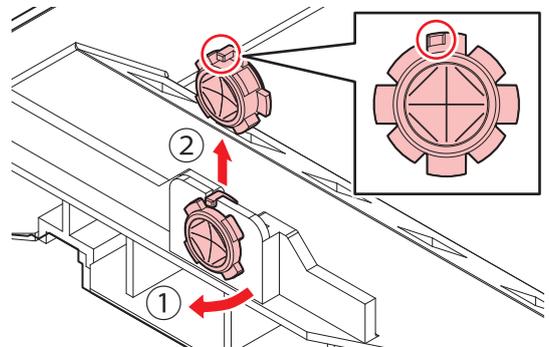
2L インクパックを取り出す



3

スパウトゴムを取り外す

- ペーパータオル等でおさえながら、2L エコケースのはめ込み穴からスパウトゴムを押し出します。



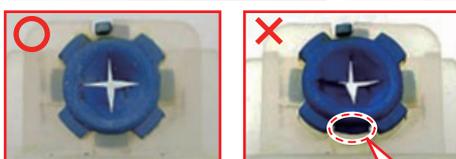
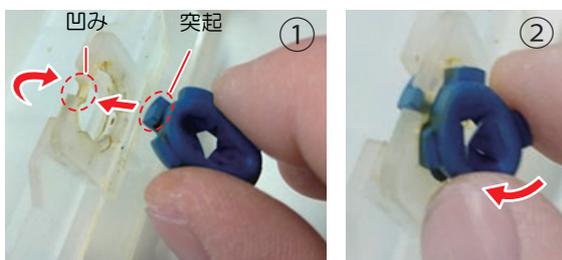
4

4 新品のスパウトゴムをエコケースの外側から取り付ける

- スパウトゴムの位置決め突起をエコケースの凹み位置に合わせて挿し込んでください。
- 取り付けるとき、ゴムの向きに注意してください。
- スパウトゴムが均等に納まるまでゴム全体を溝に押し込んでください。



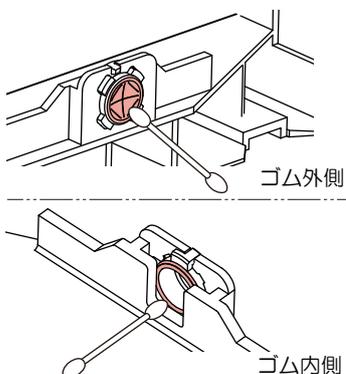
- スパウトゴム全体を携ませると、ケースの外側から挿し込みやすくなります。



リップが納まっていない状態。リップが正しく溝にはまっていないと、スパウトゴムの破損につながります。

5 スパウトゴム表面をメンテナンス液で十分に湿らせる

- メンテナンス液はインク種にあったものを使用してください。
- スパウトゴムを湿らさずにインクパックと本機台座に差し込むと、ゴムが破損する恐れがあります。



廃インクタンク確認メッセージが表示されたら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本機の右下にある廃インクタンクに溜まります。本機では、インクの排出量を累積カウントし、一定の量になったら確認を促すメッセージが表示されます。(廃インクタンク交換の目安としてお使いください。)



- 本体右下の2Lタンクの80%(1.6L)でメッセージが表示されます。

重要!

- 左側の廃インクタンクではインクなどの排出量を累積カウントしていません。タンクに汚水が80%以上溜まって、メッセージは表示されません。こまめに左側タンクの汚水量を確認し、汚水が溜まっていたら廃棄してください。

ローカルでの確認メッセージ

1 ディスプレイにワーニングメッセージ“廃インクタンク確認”が表示される

2 廃インクタンクを確認する

- 実際の量と誤差がある場合は、手順3以降の操作をしてください。
- 実際の量と誤差がなく、廃インクタンクを交換(廃棄処分)する場合は、「廃インクタンクを交換する」の手順を実行してください。(P.4-21)

3 ローカルで、**(FUNC1) (MENU) → (▼) → (ENTER)** キーを押す

- メンテナンスメニューが表示されます。

4 **(▲) (▼)** を押して“廃インクタンク交換”を選び、**(ENTER)** キーを押す

5 廃インク量の調整が必要な場合、**(ENTER)** キーを押す

6 **(▲) (▼)** を押してレベルを調整し、**(ENTER)** キーを押す

7 **(ENTER)** キーを押す

廃インクタンクを交換する

廃インクタンクが一杯になった場合は、次の作業をして廃インクタンクを交換し、メンテナンスメニューで廃インク情報を0%に設定してください。

廃インクタンク確認メッセージが表示される前(2Lタンクの80%(1.6L)に達する前)に廃インクタンクを交換する場合も、同様の作業をして廃インクタンクを交換してください。

1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** → **ENTER** キーを押す

・メンテナンスメニューが表示されます。

2 **▲** **▼** を押して“廃インクタンク交換”を選び、**ENTER** キーを押す

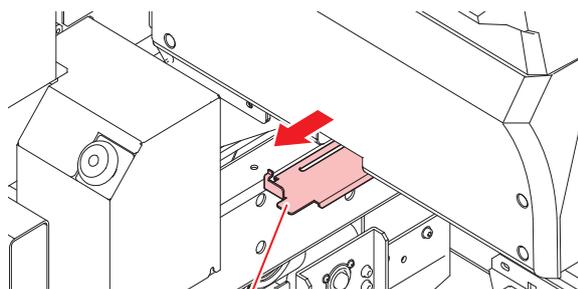
・廃インクタンク情報が表示されます。

3 **▲** **▼** を押してレベルを調整し、**ENTER** キーを押す

4 **ENTER** キーを押す

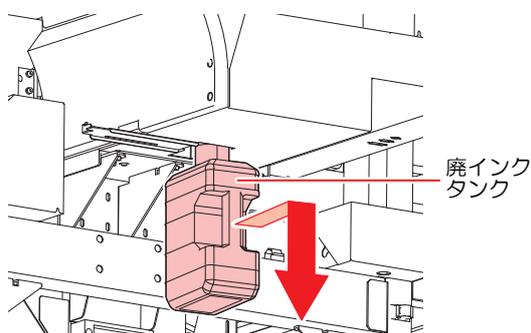
・本機で管理している廃インクタンク量がリセットされます。

5 廃インクタンクストッパーを手前に引く

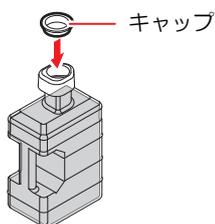


廃インクタンク
ストッパー

6 廃インクタンクの取っ手を持ち、手前に引いて取り出す

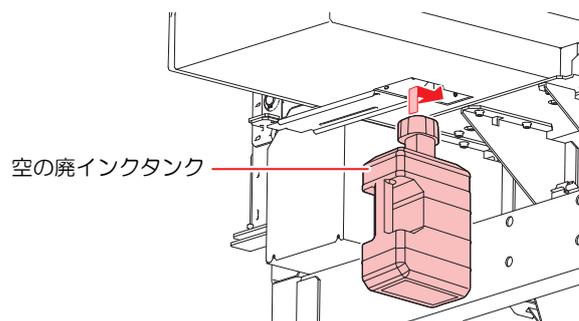


・取り出した廃インクタンクにキャップをはめてください。



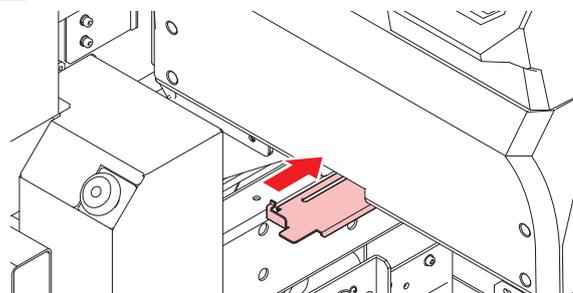
7 廃インクタンクを交換する

- (1) 新しい廃インクタンク (SPC-0117) を用意するか、現在の廃インクタンクの廃液を捨てる
- (2) 廃インクタンクの取っ手を持ち、差し込む



・廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

8 廃インクタンクストッパーを閉じる



9 **ENTER** キーを押す

- ・本機で管理しているインク排出量のリセットを行い、メッセージを解除します。

洗浄水を交換する

ベルト洗浄を行っても搬送ベルトとの汚れが残る場合は、洗浄水を交換してください。かけ流しで使用していない場合は、洗浄水の交換は毎日実施してください。

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU) →** **(ENTER)** キーを押す

・メンテナンスメニューが表示されます。

2 **(↑) (↓)** を押して “洗浄水交換” を選び、**(ENTER)** キーを押す

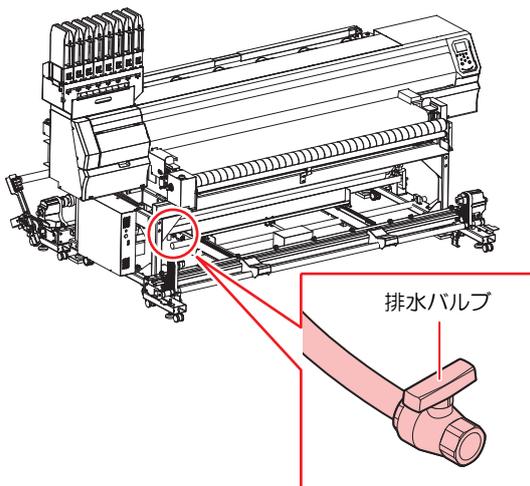
・洗浄水交換の設定画面が表示されます。

3 **(↑) (↓)** を押して “排水” を選び、**(ENTER)** キーを押す

4 **(ENTER)** キーを押す

・ディスプレイに “洗浄ユニット移動 しばらくお待ちください” と表示されます。

5 ディスプレイに “洗浄水を排水します 排水バルブを緩めてください” と表示されたら、排水バルブの下にバケツなどを置き、排水バルブを開ける



6 **(ENTER)** キーを押す

・排水が始まり、ディスプレイに “洗浄水排水中 しばらくお待ちください” と表示されます。

7 ディスプレイに “排水完了 排水バルブを閉じてください” と表示されたら、排水バルブを閉じる

8 **(ENTER)** キーを押す

・ディスプレイに “洗浄水を給水しますか?” と表示されます。

9 **(ENTER)** キーを押す

・ディスプレイに “洗浄水を給水します 排水バルブを閉じてください” と表示されます。

10 排水バルブを閉じ、**(ENTER)** キーを押す

11 ディスプレイに “洗浄水を給水します” と表示されたら、**(ENTER)** キーを押す

・給水が始まり、ディスプレイに “洗浄水給水中 しばらくお待ちください” と表示されます。



・給水中の水量が多すぎたり、少なすぎたりする場合は、給水バルブのcockで水量を調整してください。

12 ディスプレイに “給水完了” と表示されたら、**(ENTER)** キーを押す

13 **(ENTER)** キーを押す

・ディスプレイに “洗浄ユニットを戻す しばらくお待ちください” と表示されます。

・洗浄ユニットが待機位置に戻ると、洗浄水交換の設定画面が表示されます。

洗浄ユニットのメンテナンス

ベルト洗浄ユニットの清掃

ベルト洗浄ユニットをメンテナンス位置に移動し、洗浄ブラシやトレイ内の清掃を行います。

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** → **(▼)** → **(ENTER)** キーを押す

- ・メンテナンスメニューが表示されます。

2 **(▲)** **(▼)** を押して“ベルト洗浄ユニット”を選び、**(ENTER)** キーを押す

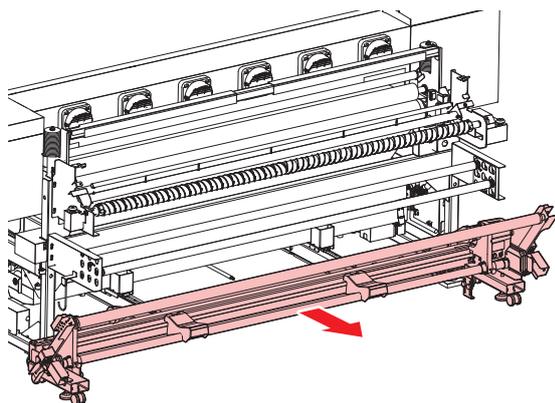
- ・洗浄ユニットメンテナンスの開始画面が表示されます。

3 **(ENTER)** キーを押す

- ・繰出しテンションバーを使用してメディアをセットしている場合、テンションバーが下がります。

4 繰出しユニットを取り外す

- ・メディアがセットしてある場合は、メディアを取り外してください。
- ・繰出しユニットを本機から取り外し、移動してください。



5 **(ENTER)** キーを押す

- ・洗浄ユニットの移動指示が表示されます。

6 **(ENTER)** キーを押す

- ・洗浄ユニットが本機の後方へ移動します。

7 洗浄ユニットを清掃します。



- ・洗浄トレイに水を流したい場合は、**[ENTER]** キーを押してください。給水バルブが開き、洗浄トレイに給水されます。
- ・水を止めたい場合は、もう一度 **[ENTER]** キーを押してください。給水バルブが閉じます。

重要!

- ・排水ホースが詰まっていないことを確認してから、給水バルブから水を流してください。排水ホースが詰まった状態で水を流すと、洗浄トレイから水があふれる原因となります。

8 清掃が終了したら **(END/POWER)** キーを押す

- ・終了の確認画面が表示されます。

9 **(ENTER)** キーを押す

- ・洗浄ユニット移動の確認画面が表示されます。

10 **(ENTER)** キーを押す

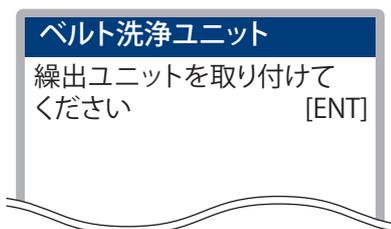
- ・洗浄ユニットが元の位置に移動します。

11 繰出しユニットを取り付ける

- ・取り外していた繰出しユニットを取り付けます。

重要!

- ・繰出しユニットの取り付けは、必ずこの画面で実施してください。



12 **(ENTER)** キーを押す

- ・メンテナンスの終了画面が表示されます。

13 **(ENTER)** キーを押す

吸水ローラーのクリーニング

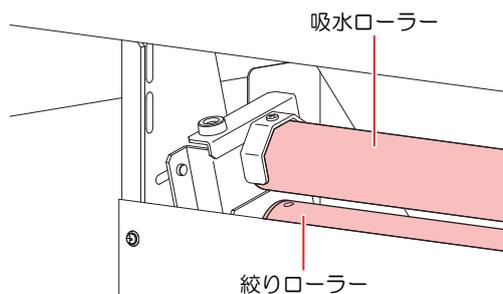
ベルト洗浄を使用していると、吸水ローラーに汚れが蓄積します。良質の作図品質を保つために、吸水ローラーのクリーニングを行ってください。



- ・吸水ローラーのクリーニング目安時期を設定すると、クリーニング時期を気にせず作業をすることができます。
- ・「メンテナンス目安時期を設定する (カウンターリミット)」の P.3-12 を参照してください。



- ・洗浄水で床が汚れないように、床にウェス等の紙を敷いてから作業してください。
- ・ゴム手袋を着用して、クリーニングしてください。



1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **ENTER** キーを押す

・メンテナンスメニューが表示されます。

2 **▲ ▼** を押して“ベルト洗浄ユニット”を選び **ENTER** キーを押す

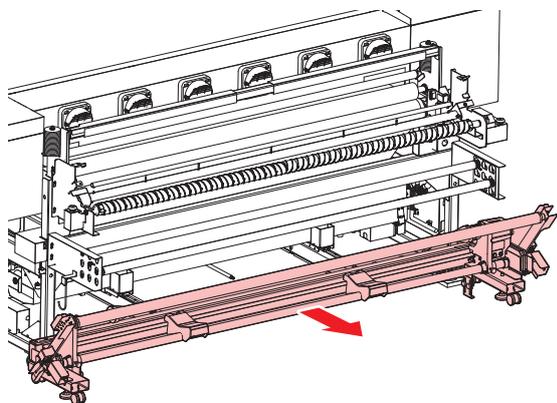
・ベルト洗浄ユニットの開始画面が表示されます。

3 **ENTER** キーを押す

・繰出テンションバーを使用してメディアをセットしている場合、テンションバーが下がります。

4 繰出ユニットを取り外す

・メディアがセットしてある場合は、メディアを取り外してください。
 ・繰出ユニットを本機から取り外し、移動してください。



5 **ENTER** キーを押す

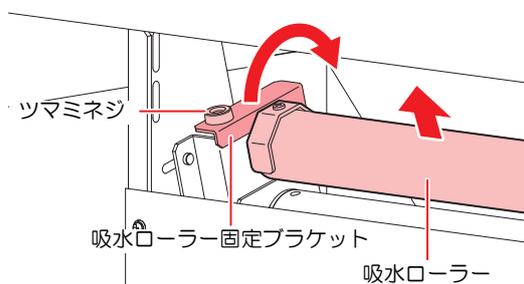
・洗浄ユニットの移動指示が表示されます。

6 **ENTER** キーを押す

・洗浄ユニットが本機の後方へ移動します。

7 ツマミネジを外し、左右の吸水ローラー固定ブラケットを回転させる

・吸水ローラーは本機背面中側にあります。



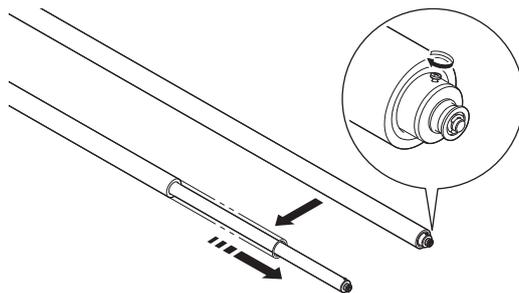
8 吸水ローラーを本機から外す

・吸水ローラーを外すときは、2人以上で外してください。



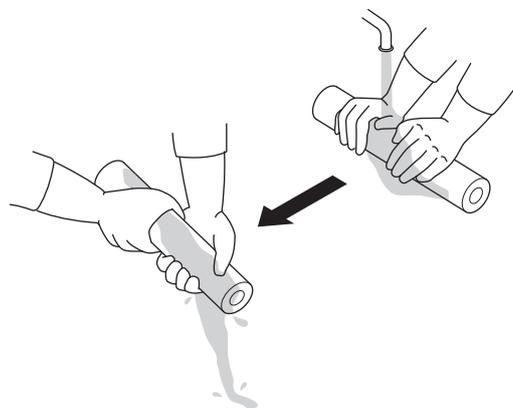
9 吸水ローラーに付いた水を取り除く

(1) 両端のネジをドライバーで外し、一コマずつ外して、クリーニングします。



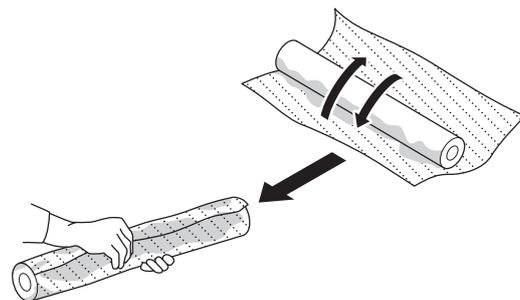
(2) 水道水などに付け、ローラーに付着した汚れを落とします。

重要! ・スポンジは、ねじらないようにしてください。



(3) 汚れが落ちたら、ベンコットなどのウェスなどにくるみ、水を吸い取ります。

重要! ・スポンジは、ねじらないようにしてください。



(4) 良く乾かしてから元に戻します。

10 吸水ローラーを元に戻す

・ワーニングメッセージが表示されている場合は、カウンターをリセットしてください。「カウンターのリセット」(P.4-32)

重要! ・吸水ローラーにすき間があかないように、中央に寄せて止めてください。

11 清掃が終了したら **END/POWER** キーを押す

・終了の確認画面が表示されます。

12

[ENTER] キーを押す

- ・洗浄ユニット移動の確認画面が表示されます。

13

[ENTER] キーを押す

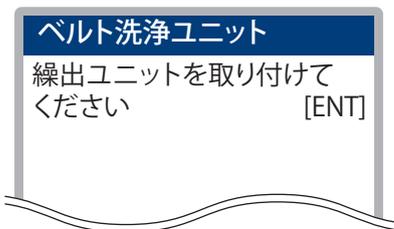
- ・洗浄ユニットが元の位置へ移動します。

14

繰出しユニットを取り付ける

- ・取り外していた繰出しユニットを取り付けます。

重要! ・繰出しユニットの取り付けは、必ずこの画面で実施してください。



15

[ENTER] キーを押す

- ・メンテナンスの終了画面が表示されます。

16

[ENTER] キーを押す

地張り剤の塗り替え

布の接着力が弱くなった場合は、地張り剤を塗りなおす必要があります。

本機は、工場出荷時に地張り剤を塗布してありますが、インク、糸くず、ホコリなどで接着力が低下した場合は、地張り剤の塗り替えが必要です。



・塗り替えの目安

作図した布に正面カバーから出てきた時点で浮きが発生していたら、塗り替え時期です。ディスプレイにワーニングメッセージ“ベルト地張り剤 塗りなおしてください”が表示されたら、速やかに地張り剤を塗りなおしてください。



・弊社純正の地張り剤は、溶剤系の地張り剤です。必ず有機溶剤用保護マスク、保護メガネ、手袋を着用して、地張り剤の塗り替えを行ってください。

・換気の悪い部屋、または密閉された部屋で地張り剤の塗り替えを行う場合は、必ず換気装置を設けてください。

・地張り剤を使用する場合、有機溶剤中毒予防規則を遵守してください。

また地張り剤の塗り替えを行う場合は、有機溶剤作業主任者技能講習を終了した方、または有機溶剤作業主任者が選任されている下で、作業を行ってください。

重要!

・布が使用前からたるんでいて、搬送ベルトに張り付けする（加圧ローラーを通した）時点で浮き・たるみが発生する場合は、地張り剤が原因ではありません。またその布は使用できません。

地張り剤を剥がす

地張り剤を剥がす際には以下の物がが必要です。

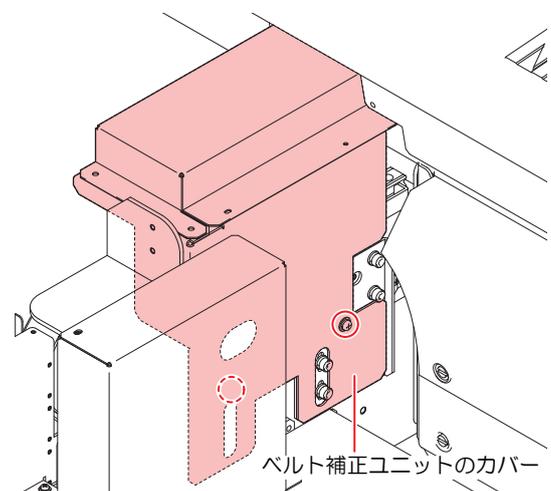
- ・使用するもの
ドクタ、手袋
- ・ご用意していただくもの
ウェス
灯油または軽油（約 500cc）
エタノール（約 200cc）
トレイのような形状の金属板または耐油性のある樹脂板



・口の小さな容器に灯油（軽油）、エタノールを移しておく便利です。

1

1 ベルト補正ユニットのカバーを外す



4

2 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **ENTER** キーを押す

・メンテナンスメニューが表示されます。

3 **▲▼** を押して“ベルト地張り剤”を選び、**ENTER** キーを押す

・ベルト地張り剤の設定画面が表示されます。

4 **▲▼** を押して“地張り剤を剥がす”を選び、**ENTER** キーを押す

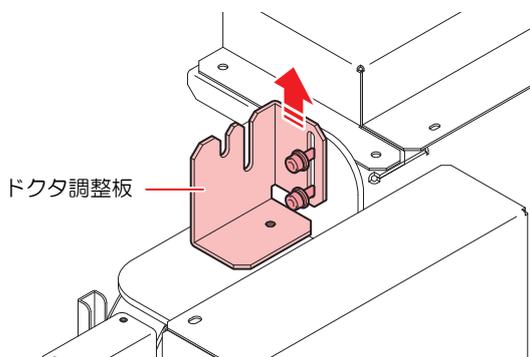
5 ディスプレイに“メディアを外してください”と表示されたら、搬送ベルト上に布がないことを確認し、**ENTER** キーを押す

6 ディスプレイに“加圧ローラーを上げてください”と表示されたら、装置背面の加圧ローラーを上げ、**ENTER** キーを押す

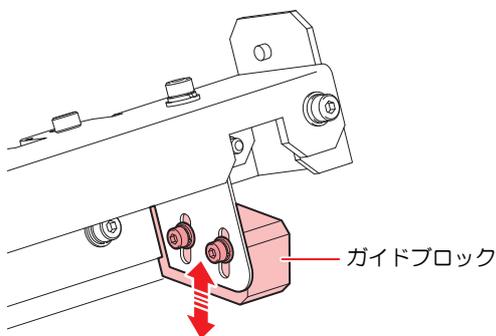
7 ディスプレイに“ドクタをセットしてください”と表示されたら、本機前面にドクタをセットする

・ドクタとベルトの間に、すき間をあけた状態でセットしてください。

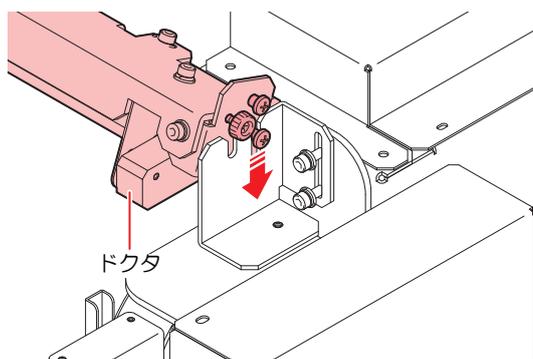
(1) ドクタ調整板 (左右両側) を緩め、上端に移動させて仮止めします。



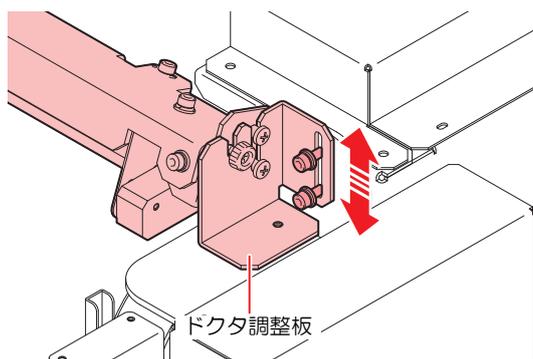
(2) ドクタのガイドブロック (左右両側) を自重で上下する程度に緩めます。



(3) ドクタを取り付け、ネジで固定します。



(4) ドクタ調整板の高さを、ドクタブレードが搬送ベルトにつき当たるあたりに調整し、固定します。



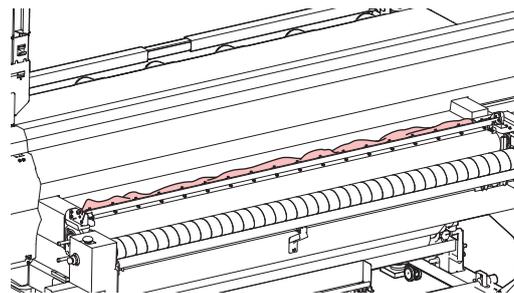
8 **▲▼** を押してフィード速度を設定し、**ENTER** キーを押す

・設定値：5～60 [mm/s]

・20mm/s を推奨します。



9 灯油をよくしみこませた布を、搬送ベルト上のドクタの内側に沿うように置く



10 **ENTER** を押す

・搬送ベルトが移動します。

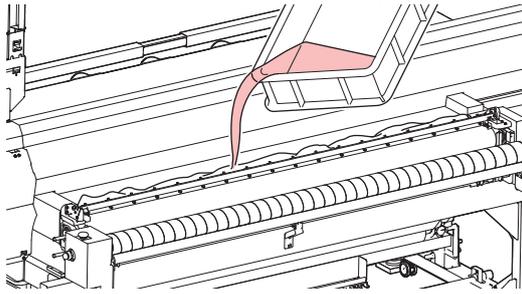
・搬送ベルトを一時停止する場合は、**FUNC2** (PAUSE) キーを押してください。

・フィード速度を変更する場合は、**FUNC1** (SPEED UP) **FUNC3** (SPEED DOWN) を押して調整してください。

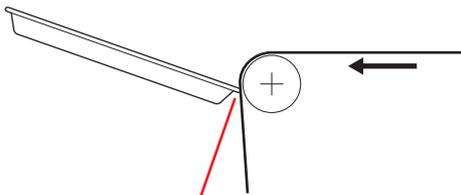


11 布の後ろ側に灯油または軽油を垂らす

- ベルト表面地張り剤に、灯油または軽油を十分にしみこませてください。

**重要!**

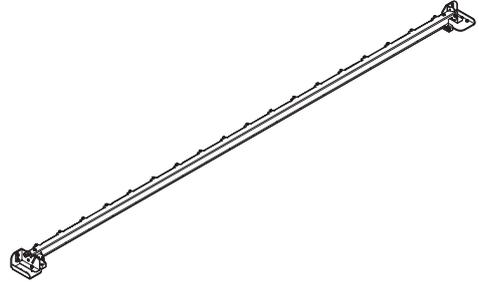
- 地張り剤を剥がす場合、灯油（軽油）を余計に垂らしすぎると、ドクタの端から漏れて搬送ベルトをつたって洗浄水受けに垂れることがあります。
- 灯油（軽油）が洗浄水と混ざると、ベルト洗浄をしながら作図する場合に、地張り剤の接着力を低下させる原因となります。
- 地張り剤を塗り替えてから急に接着力が落ちてしまった場合は、灯油（軽油）が洗浄水に混ざってしまった可能性があります。
- 地張り剤の剥離、塗布後は必ず洗浄トレイを確認し、洗浄水に灯油（軽油）が混ざっていないかを確認してください。
- 混ざっていることがわかった場合は、メンテナンスメニューの「洗浄水交換→洗浄トレイ清掃」で、洗浄トレイと洗浄ブラシを清掃してください。(P.4-31)
その後、洗浄水タンクの水を新しい水と交換してください。

12 板の端面を搬送ベルトの外周上に押し当て、灯油（軽油）でゲル状となった地張り剤をそぎ取る

端面のとがっていない物
(ベルトのキズ防止)

13 ベルト表面の灯油（軽油）をウェスでできるだけ拭き取る**14** エタノールをしみこませたウェスで残った油脂分を拭き取り、ベルト表面をきれいにする**15** **END/POWER** キー→**ENTER** キーを押し、搬送ベルトを止める**16** ディスプレイに“地張り剤カウンターリセットしますか？”と表示されたら**ENTER** キーを押す

- 地張り剤カウンターがリセットされます。

17 ドクタを外し、付着した地張り剤、ゴミ等を灯油（軽油）とウェスでクリーニングする**地張り剤を塗る**

地張り剤を塗る際には以下の物がが必要です。

- 使用するもの
ドクタ、手袋
幅2センチのビニールテープ
地張り剤（ポリックスレジン SX 1L）（別売）



- 弊社純正の地張り剤は、溶剤系の地張り剤です。必ず有機溶剤用保護マスク、保護メガネ、手袋を着用して、地張り剤の塗り替えを行ってください。
- 換気の悪い部屋、または密閉された部屋で地張り剤の塗り替えを行う場合は、必ず換気装置を設けてください。
- 地張り剤を使用する場合、有機溶剤中毒予防規則を遵守してください。
また地張り剤の塗り替えを行う場合は、有機溶剤作業主任者技能講習を終了した方、または有機溶剤作業主任者が選任されている下で、作業を行ってください。
- 地張り剤の塗り替え作業時は火気厳禁とし、周囲にある装置（ヒーター等）の電源は、必ずOFFにしてください。また、換気を必ず行ってください。

重要!

- 市販の地張り剤を使用する場合は、その溶剤成分と本機のベルト材質との相性を必ず確認してください。
使用する場合は、弊社代理店または各営業所にご相談ください。
- 本機正面右側にあるベルト補正ユニットの接触エリアとφ6穴近辺には、地張り剤が付着しないように注意してください。
装置が正常に動作しなくなります。



- 搬送不良の原因になることがあるため、地張り剤の重ね塗りは極力避けてください。
- 地張り剤の交換周期の目安は2週間です。（使用状況、メディアの種類によって異なります。）

1 □-カルで、**FUNC1** (MENU) → **ENTER** キーを押す

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **ENTER** キーを押して“ベルト地張り剤”を選び、**ENTER** キーを押す

・ベルト地張り剤の設定画面が表示されます。

3 ▲▼ を押し“地張り剤を塗る”を選び、
ENTER キーを押す

4 ディスプレイに“メディアを外してください”
と表示されたら、搬送ベルト上に布がないこ
とを確認し、ENTER キーを押す

5 ディスプレイに“加圧ローラーを上げてくだ
さい”と表示されたら、装置背面の加圧ロー
ラーを上げ、ENTER キーを押す

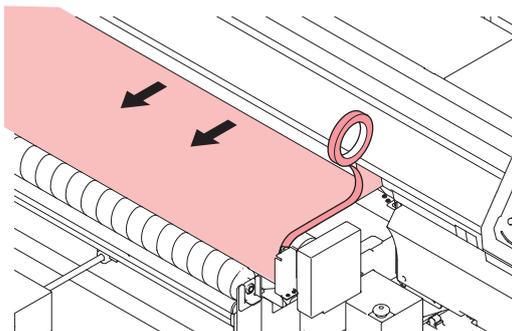
6 搬送ベルトの端にビニールテープを貼る



・搬送ベルトの左右両端の外周にテープを貼る必要
があります。
・必要に応じて、2名以上で作業したり、片方ずつ
繰り返したりしてください。

7 ENTER キーを2回押す

・搬送ベルトが移動し、1周すると止まります。搬
送ベルトを一時停止するときは、
FUNC2 (PAUSE) キーを押してください。
・フィード速度を変更する場合は、
FUNC1 (SPEED UP) FUNC3 (SPEED DOWN)
を押して調整してください。



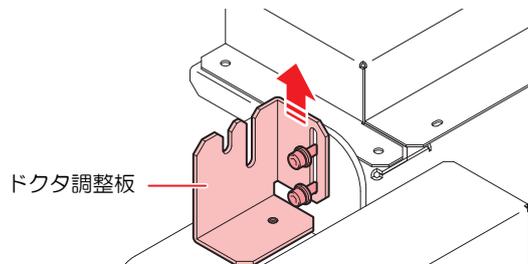
8 ENTER キーを押す

・テープの貼り付けに失敗した場合は、[END/
POWER]を選択してください。
その後、手順7をもう一度実施してください。

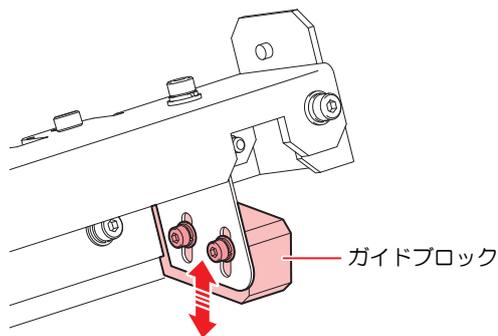
9 ディスプレイに“ドクタをセットしてくだ
さい”と表示されたら、本機前面にドクタをセッ
トする

・ドクタとベルトの間に、すき間がないようにセッ
トしてください。

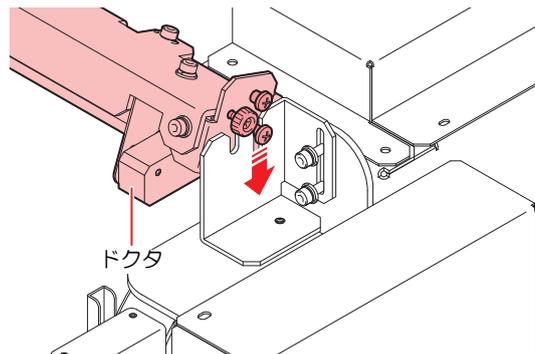
(1) ドクタ調整板 (左右両側) を緩め、上端に移
動させて仮止めします。



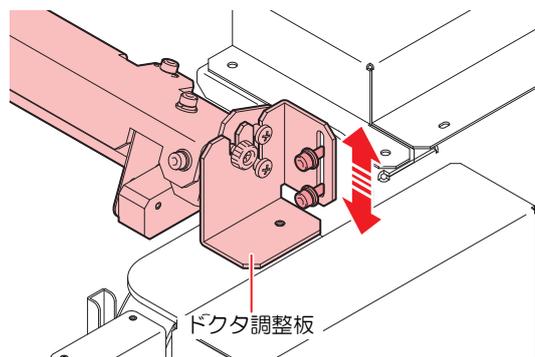
(2) ドクタのガイドブロック (左右両側) を自重
で上下する程度に緩めます。



(3) ドクタを取り付け、ネジで固定します。



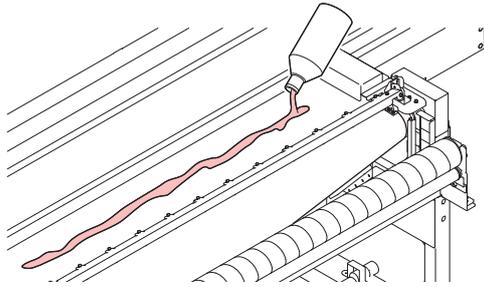
(4) ドクタ調整板の高さを、ドクタブレードが搬
送ベルトにつき当たるあたりに調整し、固定
します。



10 ▲▼ を押しフィード速度を設定し、
ENTER キーを押す

・推奨値：15 m/s

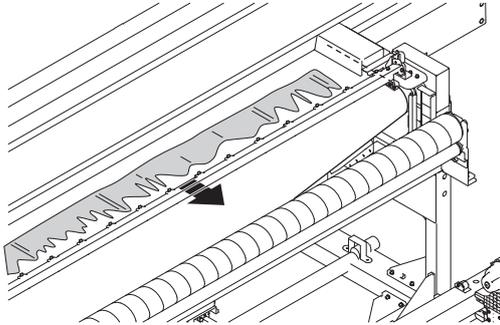
11 地張り剤 150 ~ 200cc をドクタのすぐ後ろ側
にほぼ均等に垂らす



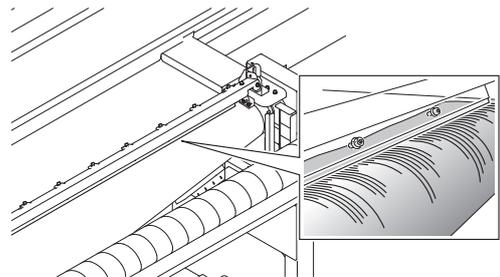
12

ENTER キーを押す

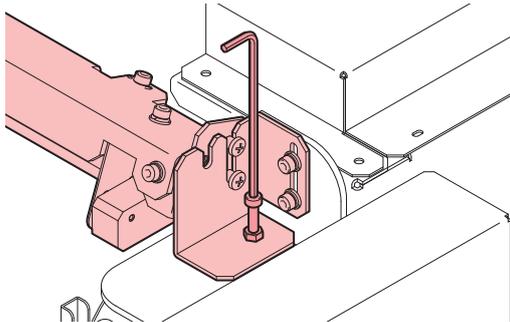
- 搬送ベルトが移動します。
- 地張り剤の粘度が高い場合はベルト速度を速くしてください。
- フィード速度を変更する場合は、**FUNC1** (SPEED UP) **FUNC3** (SPEED DOWN) を押して調整してください。
- 搬送ベルトを一時停止するときは、**FUNC2** (PAUSE) キーを押してください。移動を再開するときは**FUNC2** (START) キーを押してください。



- ドクタに溜まった地張り剤が減った所には、地張り剤を補充してください。
- ベルト全面に地張り剤を塗布してください。
- 地張り剤は全て使い切ってください。



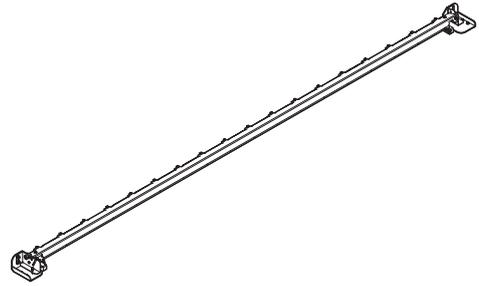
- 地張り剤が減らなくなってきたら、少しずつドクタの高さを上げて厚く塗ってください。



- 地張り剤に凹凸ができてしまうため、一度上げたドクタは下げないでください。

13

ドクタを外し、付着した地張り剤、ゴミ等を灯油（軽油）とウェスでクリーニングする

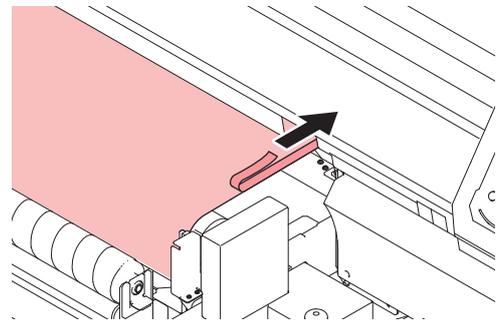


14

搬送ベルトの外周に貼ったテープを剥がす



- テープを剥がすときは、テープを装置後方に押すように剥がしてください。地張り剤がテープから剥離しやすくなります。



15

乾燥時間を設定する場合は、**ENTER** キーを押す



- 乾燥時間を設定すると、設定時間経過後に自動で搬送ベルトが止まります。
- 地張り剤カウンターはリセットされます。

16

▲ ▼ を押して、乾燥時間（時）を設定し **ENTER** キーを押す

17

▲ ▼ を押して、乾燥時間（分）を設定し **ENTER** キーを押す

- 乾燥時間のカウントが始まります。
- 止めたい場合は、**END/POWER** キーを押してください。

18

搬送ベルトに塗った地張り剤が乾いたら、**END/POWER** キー → **ENTER** キーを押す、搬送ベルトを止める

19

ディスプレイに“地張り剤カウンターリセットしますか？”と表示されたら **ENTER** キーを押す

- 地張り剤カウンターがリセットされます。

重要!

- 地張り剤乾燥後、粘着が強すぎる場合は、濡らした布でベルト表面を拭き、地張り剤を慣らしてください。そのまま使用すると、布が貼り付いて剥がれない可能性があります。

洗浄トレイとブラシの清掃

地張り剤の塗り替え作業で、洗浄水に灯油（軽油）が混入した場合は、中性洗剤で洗浄トレイと洗浄ブラシを清掃してください。
 清掃後は、洗浄トレイの水を新しい水と交換してください。

- 使用するもの
 中性洗剤



- 清掃を行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用して作業を行ってください。

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** → **(▼)** → **(ENTER)** キーを押す

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **(▲)** **(▼)** を押して “ 洗浄水交換 ” を選び、**(ENTER)** キーを押す

- 洗浄水交換の設定画面が表示されます。

3 **(▲)** **(▼)** を押して “ 洗浄トレイ清掃 ” を選び、**(ENTER)** キーを押す

4 **(ENTER)** キーを押す

- 洗浄ユニットが本機の後方へ移動します。

5 ディスプレイに “ 洗浄トレイ清掃 洗浄ブラシ回転開始 ” と表示されたら、洗浄トレイに中性洗剤を入れ、**(ENTER)** キーを押す

- 洗浄ブラシが回転し、中性洗剤を撹拌します。



- 洗浄ブラシが自動で回転します。手や衣服等が巻き込まれないよう注意してください。

6 洗浄トレイとブラシを清掃する

- 洗浄ブラシを停止したい場合は、**(FUNC2) (PAUSE)** キーを押してください。
- 洗浄ブラシの回転を再開したい場合は、**(FUNC2) (START)** キーを押してください。



- 洗浄トレイに水を流したい場合は、**[ENTER]** キーを押してください。給水バルブが開き、洗浄トレイに給水されます。
- 水を止めたい場合は、もう一度 **[ENTER]** キーを押してください。給水バルブが閉じます。

7 清掃が終了したら **(END/POWER)** キーを押す

- 終了の確認画面が表示されます。

8 **(ENTER)** キーを押す

- “ 洗浄水を排水しますか？ ” と表示されます。

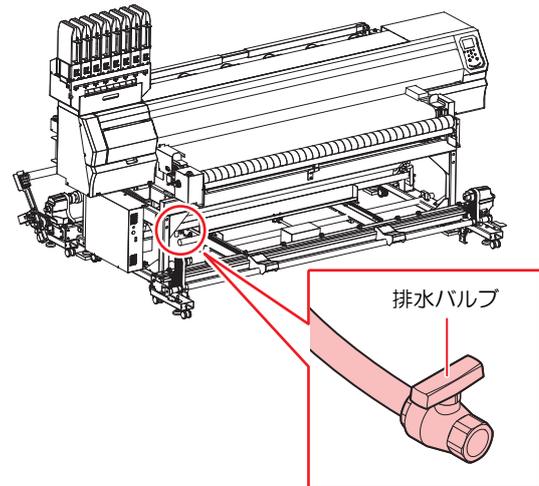
9 **(ENTER)** キーを押し、“ 排水実行 ” を選択する

- 洗浄水の排水メニューに移行します。



- 中性洗剤を使用せず、洗浄水を排水する必要がない場合は、**[END]** キーを押し、洗浄トレイ清掃を終了してください。

10 ディスプレイに “ 洗浄水を排水します 排水バルブを緩めてください ” と表示されたら、排水バルブの下にバケツなどを置き、排水バルブを開ける



11 **(ENTER)** キーを押す

- 排水が始まり、ディスプレイに “ 洗浄水排水中 しばらくお待ちください ” と表示されます。

12 ディスプレイに “ 排水完了 排水バルブを閉じてください ” と表示されたら、排水バルブを閉じる

13 **(ENTER)** キーを押す

- ディスプレイに “ 洗浄水を給水しますか？ ” と表示されます。

14 **(ENTER)** キーを押す

- ディスプレイに “ 洗浄水を給水します 排水バルブを閉じてください ” と表示されます。

15 排水バルブを閉じ、**(ENTER)** キーを押す

16 ディスプレイに “ 洗浄水を給水します ” と表示されたら、**(ENTER)** キーを押す

- 給水が始まり、ディスプレイに “ 洗浄水給水中 しばらくお待ちください ” と表示されます。



- 給水中の水量が多すぎたり、少なすぎたりする場合は、給水バルブのcockで水量を調整してください。

17 ディスプレイに “ 給水完了 ” と表示されたら、**(ENTER)** キーを押す

18 **(ENTER)** キーを押す

- ディスプレイに “ 洗浄ユニットを戻す しばらくお待ちください ” と表示されます。
- 洗浄ユニットが待機位置に戻ると、洗浄水交換の設定画面が表示されます。

搬送ベルトのクリーニング

搬送ベルトのクリーニングをします。

- 重要!** ・搬送ベルトをクリーニングする前に、必ず布を搬送ベルト上から外してください。

- 1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** → **ENTER** キーを押す
 - ・メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 **▲** **▼** を押して“ベルトクリーニング”を選び、**ENTER** キーを押す
 - ・ベルトクリーニングの設定画面が表示される。
- 3 ディスプレイに“メディアを外してください”と表示されたら、搬送ベルト上に布がないことを確認し、**ENTER** キーを押す
- 4 ディスプレイに“加圧ローラーを上げてください”と表示されたら、装置背面の加圧ローラーを上げ、**ENTER** キーを押す
- 5 **▲** **▼** を押して洗浄回数を設定し、**ENTER** キーを2回押す
 - ・設定値：1～99回
 - ・ベルトの洗浄が開始され、ベルト1周することに洗浄回数の表示が更新されます。

 ・洗浄を中止する場合は、[END/POWER] キーを押し、[ENTER] キーを押してください。
- 6 ディスプレイに“終了”と表示されたら、**ENTER** キーを押す
 - ・メンテナンスメニューが表示されます。

引き剥がしセンサのクリーニング

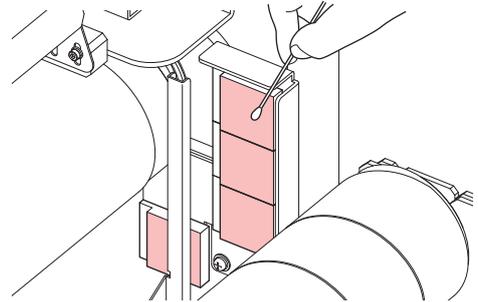
汚れによる引き剥がしセンサの誤動作を防止するため、定期的 (1週間に1回程度) に引き剥がしセンサのクリーニングを行ってください。

- 重要!** ・引き剥がしセンサは、プリント時に発生するインクミストや、布を乾燥するときに発生する蒸気などの影響で汚れます。

また、以下の症状が発生した場合にも、クリーニングを行ってください。

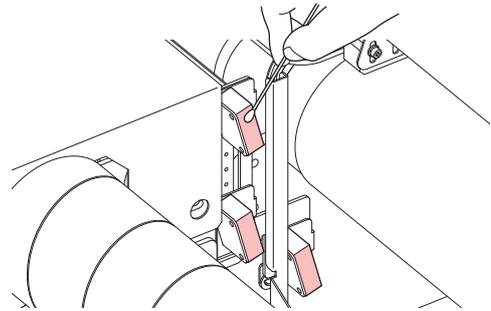
- ・布が引き剥がれずにアラームが鳴る。
- ・布がベルトに巻き込まれていないのにアラームが鳴る。

- 1 綿棒にメンテナンス液をしみこませ、反射板を拭く



- 2 手順1で拭いた反射板を、乾いた綿棒で拭き取る

- 3 メンテナンス液のしみこんだ綿棒で、引き剥がしセンサの発光面 (3つ) を拭く



- 4 手順3で拭いたレンズを、乾いた綿棒で拭き取る

カウンターのリセット

地張り剤、吸水ローラーのカウンターを初期化します。

- 1** ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** → **ENTER** キーを押す
・メンテナンスメニューが表示されます。
- 2** **▲** **▼** を押して“カウンターリセット”を選び、**ENTER** キーを押す
・カウンターリセットの設定画面が表示されます。
- 3** **▲** **▼** で“地張り剤”または“吸水ローラー”を選び、**ENTER** キーを押す
・カウンターがリセットされ、メンテナンスメニューが表示されます。

第5章 困ったときは



この章では ...

故障かな?と思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示するエラー番号の解消方法などを説明をしています。

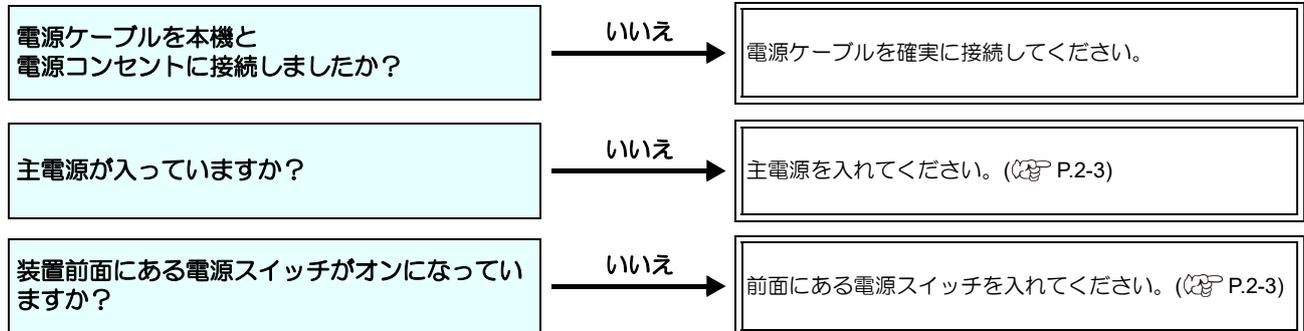
故障かな?と思う前に	5-2
電源が入らない	5-2
プリントできない	5-2
メディア詰まり/メディアが汚れる	5-2
画質不良が発生したときは	5-3
ノズル詰まりを解消したいとき	5-3
インク IC 異常が発生したら	5-3
インク漏れが発生したら	5-3
メッセージを表示するトラブル	5-4
ワーニングメッセージ	5-4
エラーメッセージ	5-8

故障かな？と思う前に

故障？と思う前にもう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

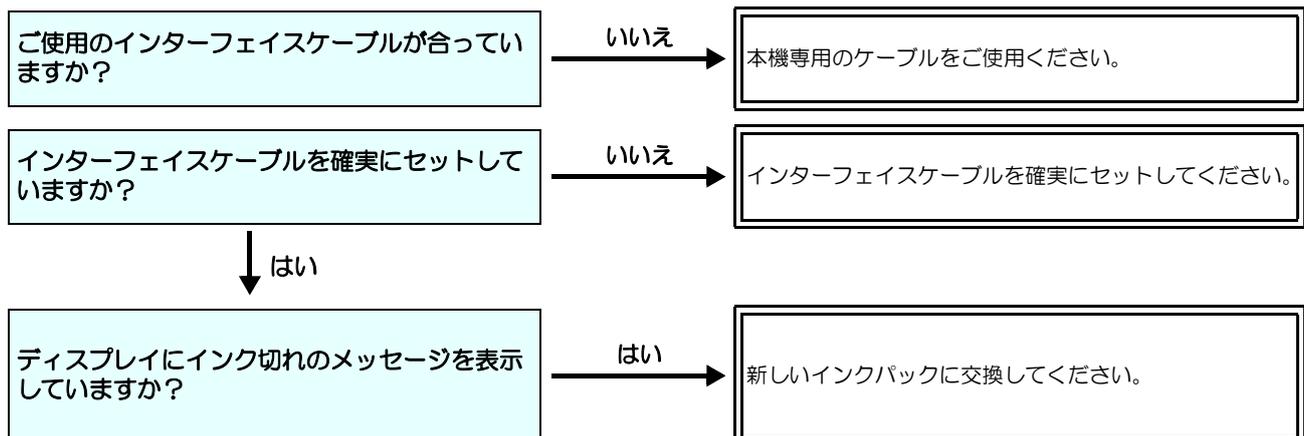
電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピュータのケーブル接続ミスによるものです。接続が適正かもう一度確認してください。



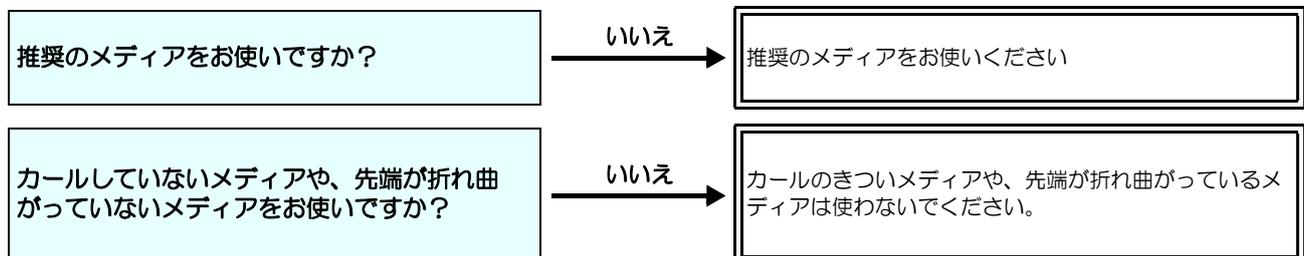
プリントできない

プリントができない場合は、データが適正に本機に送られていない場合があります。また、プリント機能に不良がある場合や、メディアのセット方法に問題がある場合などが考えられます。



メディア詰まり / メディアが汚れる

メディア詰まりやメディアの汚れは、ご使用のメディアやセット方法に問題があるなどが考えられます。



画質不良が発生したときは

ここでは、プリント品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

現象	対処方法
白スジ/カスレ/色の濃いスジが発生する(ヘッド移動方向)	(1) ヘッドクリーニングを行ってください。(P.2-26) (2) ステーション内部のメンテナンスをしてください。(P.4-6) (3) 「フィード補正」機能を実行してください。(P.3-5) (4) メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。
文字が用紙送り方向に2重、3重にブレる	(1) 「フィード補正」機能を実行してください。(P.3-5)
往復印字でズレが発生する	(1) 「ドット位置補正」機能を実行してください。(P.3-6)
プリント中にインク滴が落ちる	(1) ワイパーを清掃してください。(P.4-6) (2) インクキャップのクリーニングをしてください。(P.4-6) (3) ヘッドの周辺を清掃してください。(P.4-13) (4) ヘッドクリーニングの[ノーマル]を実行してください。(P.2-26) (5) 定期ワイピングを、設定してください。(P.3-11)

ノズル詰まりを解消したいとき

P.2-26 の操作でヘッドのクリーニングをしてもノズル詰まりが解消しない場合は、次の2つの項目を確認してください。

- P.4-7 の操作をして、ヘッドノズルの洗浄をしてください。
- P.4-13 の操作をして、ヘッドノズル面の洗浄をしてください。
- P.4-14 の操作をして、ノズルリカバリをしてください。

インク IC 異常が発生したら

インク IC に異常が発生したら、カートリッジ LED「赤」が点灯し、ワーニングメッセージが表示されます。プリント、クリーニング等、インク吐出に関する動作は全てできなくなります。速やかに新しいインクバックに交換してください。

重要! ・カートリッジ異常を表示したまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの防止機能が動作しなくなります。ノズルが詰まった場合、サービスマンによる修理が必要になります。

インク IC 異常の詳細を表示する

次の操作をして、IC 異常の内容を確認できます。

1 ローカルモードで、**ENTER** キーを押す

2 **ENTER** キーを押す

インク漏れが発生したら

インク漏れが発生した場合は、主電源スイッチをオフにして電源プラグを抜いてから、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージの内容によって対処してください。

ワーニングメッセージ

操作を実行したときに表示されるエラー

表示	原因	対処方法
実行できません :メディア未検出	メディア未検出のため、機能が実行できない。	• メディア検出後実行してください。
実行できません :MOTOR POWER OFF	カバーオープン後などモーターが OFF している。	• ローカルに戻り、初期化動作が完了してから機能を実行してください。
実行できません :インクエラーあり	インクエラーが発生している。	• 新しいインクパックに交換後、機能を実行してください。
実行できません カバーオープン	カバーが開いている。	• カバーを閉めてから、機能を実行してください。
実行できません プリントデータあり	データを受信している。	• データクリアを実行後、機能を実行してください。(P.2-28)
実行できません :非常停止スイッチ	非常停止スイッチが押されている。	• 非常停止スイッチを解除してから、機能を実行してください。
実行できません :洗浄ユニット原点	ベルト洗浄ユニットの原点が検出できない。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらく経ってから電源を ON してください。再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

ローカルで表示されるメッセージ

表示	原因	対処方法
プリント不可 / カートリッジ	複数のインクエラー (使用不可インク) が発生し、インクの供給 (プリントやクリーニングなど) が行えない。	• 新しいインクパックに交換してください。
廃インクタンク確認	廃インクタンクのカウントが規定量を超えた。	• 廃インクタンクの排液量を確認してください。 • メンテナンス・廃インクタンク交換を実行し、廃液量をリセットしてください。
ワイパー交換	ワイパー使用カウントが規定量を超えた。	• メンテナンス・ステーションメンテ・ワイパー交換を実行し、ワイパーを交換してください。
プリントデータあり	ローカルでプリントデータを受信した。	• リモートに移行し、プリントを実行します。またはデータクリアを実行し、印刷を中止します。
装置温度 / 高 ** °C	設置環境 (装置) の温度が高く、安定したプリントが行えない。	• 仕様 (20 °C ~ 35 °C) の範囲内に室温を調節してください。
装置温度 / 低 ** °C	設置環境 (装置) の温度が低く、安定したプリントが行えない。	

表示	原因	対処方法
洗浄カートリッジ無し	メンテナンス液カートリッジがセットされていない。 ワイパー洗浄やポンプチューブ洗浄が実行できない。(オートメンテナンス動作)	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンス液カートリッジをセットしてください。
洗浄液エンド	メンテナンス液の残量がない。 ワイパー洗浄やポンプチューブ洗浄が実行できない。(オートメンテナンス動作)	<ul style="list-style-type: none"> 新しいメンテナンス液カートリッジに交換してください。
NCU センサー感度低下	NCU のセンサ感度が低下してきている。	<ul style="list-style-type: none"> NCU の交換をお勧めします。 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
NCU カンドチョウセイエラー H	センサの感度を調整できない。	
NCU カンドチョウセイエラー L		
ノズル抜け検出 印刷停止しました	ノズルチェックでノズル抜けと判定されたため、プリントを停止した。	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドクリーニング(☞ P.2-26)ならびにノズル詰まりの対処(☞ P.5-3)を行ってください。
NCU トシュツイチケンシュツエラー ノズルチェック OFF	ノズルチェック実行中に NCU 関連のエラーが発生したため、印刷を停止してノズルチェック機能を OFF にした。	<ul style="list-style-type: none"> ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲がりが多い場合はクリーニングを実施し回復させてください。
NCU SN チョウセイエラー ノズルチェック OFF		<ul style="list-style-type: none"> ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲がりが多い場合はクリーニングを実施し回復させてください。ノズル状態を回復しても、再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
NCU センターイチケンシュツエラー ノズルチェック OFF	NCU のセンサ感度が低く、正常にノズル抜けを判定できない。 ノズルチェック機能が使用できない。	<ul style="list-style-type: none"> ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲がりが多い場合はクリーニングを実施し回復させてください。
NCU ケンシュツエラー (HW) ノズルチェック OFF		
NCU ケンシュツエラー (マーク) ノズルチェック OFF		
NCU 接続異常	NCU のユニットが接続されていない。 ノズルチェック機能が使用できない。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
NCU 交換	NCU のセンサ感度が低く、正常にノズル抜けを判定できない。 ノズルチェック機能が使用できない。	<ul style="list-style-type: none"> NCU の交換が必要です。 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
NCU インク吸収材交換	NCU のインク吸収材が満杯になった。	<ul style="list-style-type: none"> NCU のインク吸収材交換が必要です。 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
NCU エラー ノズルチェック OFF	ノズルチェック実行中に NCU 関連のエラーが発生したため、プリントを停止してノズルチェック機能を OFF にした	<ul style="list-style-type: none"> 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ヘッド高さ 調整	マシンに保存されているヘッド高さ設定値と現在のヘッド高さに違いがある。	<ul style="list-style-type: none"> ヘッド高さの設定を行ってください。(☞ P.2-5)
エコケースのスパウトゴムを交換してください。	エコケース (MBIS) のスパウトゴム交換時期になった。	<ul style="list-style-type: none"> エコケースからインクが漏れる場合があります。 スパウトゴムを交換してください。

表示	原因	対処方法
モーター直結ユニットを確認してください	繰出 / 巻取テンションバーの設定に対して、モーター直結ユニット・トルクリミッターの取り付けが正しくない。	<ul style="list-style-type: none"> テンションバーを使う場合はモーター直結ユニットを取り付けてください。 テンションバーを使わない場合はトルクリミッターを取り付けてください。
カバーを閉めてください	カバーが開いている。	<ul style="list-style-type: none"> カバーを閉めてから、機能を実行してください。
スイッチを解除してください	非常停止スイッチが押されている。	<ul style="list-style-type: none"> 非常停止スイッチを解除してください。
吸水ローラーを確認	吸水ローラーの給水量の確認時期に達した。	<ul style="list-style-type: none"> 吸水ローラーのクリーニングを行ってください。(P.4-31) その後メンテナンス・カウンターリセットを実行し、吸水ローラーのカウンターをリセットしてください。
ベルト地張り剤 残り 200m	地張り剤の交換時期が近づいている。	<ul style="list-style-type: none"> 新しく地張り剤を塗りなおしてください。(P.4-25) その後メンテナンス・カウンターリセットを実行し、地張り剤のカウンターをリセットしてください。
ベルト地張り剤 塗りなおし	地張り剤の交換時期に達した。	
加圧ローラーを下げてください	プリント開始時に加圧ローラーが上がっている。	
加圧ローラーを上げてください	電源を切るときやベルトクリーニングの実行時に加圧ローラーが下がっている。	
引き剥がしエラー メディアユニット位置を確認してください	引き剥がしセンサのエラーが発生した。	<ul style="list-style-type: none"> メディアが巻き込まれている場合は、手でメディアを引き剥がしてください。 巻取りモーターのスイッチで、引き剥がしたメディアを巻き取ってください。
洗浄水を給水してください	プリント中に洗浄ユニット内の洗浄水が不足し、プリントを停止した。	<ul style="list-style-type: none"> 洗浄ユニットに水を給水してください。
洗浄ユニットの水を交換してください	前回の洗浄水交換実施から、1週間が経過した。	<ul style="list-style-type: none"> 洗浄ユニットの洗浄水を、排出 / 給水してください。

インクエラー

インクエラーは、ローカルガイドンスでも表示されます。(P.3-28)

表示	原因	対処方法
インク IC 異常	インクパックのICチップが正常に読み込めない。	<ul style="list-style-type: none"> ワーニングが発生しているインク IC チップを再挿入してください。 再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
インク種類	インクパックのインク種類が充填してあるインクと異なる。	<ul style="list-style-type: none"> ワーニングが発生しているカートリッジのインク種類を確認してください。
インク カラー	インクパックのインクカラーが充填してあるインクと異なる。	<ul style="list-style-type: none"> ワーニングが発生しているカートリッジのインクカラーを確認してください。
カートリッジ異常	インクパックの IC チップの情報に異常が生じた。	<ul style="list-style-type: none"> MBIS・BS インク使用の場合。IC チップを交換してください。(パック交換と共にチップも必ず交換してください。) 共通 ノズル詰まりがないことを確認してください。(特にホワイトインク)
カートリッジ無し	IC チップがスロットに挿入されていない。	<ul style="list-style-type: none"> ワーニングが発生しているスロットにインク IC チップを挿入してください。 インク IC チップが正しく挿入されているか確認してください。 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
インク エンド	インクパックのインクがなくなった。	<ul style="list-style-type: none"> ワーニングが発生しているインクパックを交換してください。
インク ニアエンド	インクパックのインクが残りわずかなっている。	<ul style="list-style-type: none"> 間もなくインクがなくなります。ご注意ください。
インク 期限切れ	インクパックの使用有効期限が切れている。	<ul style="list-style-type: none"> 消費期限を過ぎました。ただし、翌々月まで使用することができます。
期限切れ(1ヶ月)	インクパックの有効期限切れになった。(期限切れから1ヶ月経過)	<ul style="list-style-type: none"> 消費期限より1ヶ月以上過ぎています。ただし、翌月まで使用することができます。
期限切れ(2ヶ月)	インクパックの使用有効期限が切れている(期限切れから2ヶ月経過)。	<ul style="list-style-type: none"> 消費期限より2ヶ月以上過ぎています。ワーニングが発生しているインクパックを交換してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージを表示する場合は、下の表に従って、エラーを取り除いてください。
それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

表示	原因	対処方法
ERROR 108 HD THERMIS[1234]	ヘッド温度制御に異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 108 HD CONNECT[1234]	ヘッドの接続に異常が発生した。	
ERROR 122 CHECK:SDRAM	メイン基板に異常が発生した。	
ERROR 128 HDC FIFO OVER	ヘッド制御基板に異常が発生した。	
ERROR 128 HDC FIFO UNDER		
ERROR 129 バッテリー コウカン	メイン基板の電池切れを検出した。	
ERROR 12a HDC SPEED	ヘッド制御基板に異常が発生した。	
ERROR 130 HD DATA SEQ		
ERROR 148 E-LOG SEQ	ログの制御に異常が発生した。	
ERROR 151 Main PCB V1R2	メイン基板の電源系統に異常が発生した。	
ERROR 152 Main PCB V2R5		
ERROR 153 Main PCB V3R3		
ERROR 154 Main PCB V05		
ERROR 157 Main PCB VTT		
ERROR 16e Main PCB V3R3B		
ERROR 18a Main PCB V_CORE		
ERROR 18c Main PCB V12		
ERROR 15f HEAD DRIVE HOT	COM ドライバが高温になっている。	
ERROR 171 NEW HEAD CONNECT	新しいヘッドの接続を認識した。	

表示	原因	対処方法
ERROR 18e FLS NOT COMP	ヘッド制御基板に異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 18f OFFSET START		
ERROR 18f OFFSET END		
ERROR 1ce SLIDER PCB V24	スライダ P 基板の電源に異常が発生した。	
ERROR 1cf SLIDER PCB V1R8		
ERROR 1d9 Main PCB V48-1	メイン基板の電源に異常が発生した。	
ERROR 1db Station4 PCB V48	ステーションIV基板の1枚目の電源に異常が発生した。	
ERROR 1dc Station4 PCB V24		
ERROR 1dd Station4 PCB V24-A		
ERROR 1db Station4-2 PCB V48	ステーションIV基板の2枚目の電源に異常が発生した。	
ERROR 1dc Station4-2 PCB V24		
ERROR 1dd Station4-2 PCB V24-A		
ERROR 1db Station4-3 PCB	ステーションIV基板の3枚目の電源に異常が発生した。	
ERROR 1dc Station4-3 PCB		
ERROR 1dd Station4-3 PCB		
ERROR 1de SLIDER PCB V1R2	スライダ P 基板の電源に異常が発生した。	
ERROR 1df SLIDER PCB V2R5		
ERROR 1e0 SLIDER PCB V3R3		
ERROR 1e1 SLIDER PCB V5		
ERROR 1e2 SLIDER PCB V48		
ERROR 1e6 PRAM サイズフック	メモリーサイズが不足している。	

表示	原因	対処方法
ERROR 201 コマンド エラー	プリントデータ以外のデータを受信した。 または送信したプリントデータに異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> データクリアを実行し、再度データを送信してください。 一度電源を再投入し、データを送信してください。 インターフェイスクーブルを確実に接続してください。
ERROR 202 パラメータ エラー	送信したプリントデータに異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> 規格に適合したインターフェイスクーブルを使用してください。
ERROR 206 プリント モード エラー	プリント不可能な条件のプリントデータを受信した。	<ul style="list-style-type: none"> RIPソフトのプリントデータ出力条件を確認してください。 プロファイルを確認してください。 再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 304 USB INIT ERR	USB の通信に異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度電源を再投入し、データを送信してください。 インターフェイスクーブルを確実に接続してください。規格に適合したインターフェイスクーブルを使用してください。
ERROR 305 USB TIME OUT		
ERROR 307 MCFD ファイル IF エラー	印刷条件データへのアクセス中に異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 401 モーター-アラーム X	X モーターに過大な負荷がかかった。	<ul style="list-style-type: none"> メディアのセット状態を確認してください。(搬送が問題なく行えるか) カバーを開け、キャリッジの移動に障害のあるものがないか確認してください。 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 403 X オーバー カレント	X モーターの過電流エラーを検出した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 402 モーター-アラーム Y	Y モーターに過大な負荷がかかった。	
ERROR 404 Y オーバー カレント	Y モーターの過電流エラーを検出した。	
ERROR 424 クリダシ テンションバー	繰出テンションバーのエラー。 <ul style="list-style-type: none"> テンションバー原点が見つけれなかった。 テンションバー角度変化が見られなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> メディアのセット状態を確認してください。 マニュアルSWでメディアを巻き取れることを確認してください。また、テンションバーが上がることを確認してください。上がらない場合は、カウンターウェイトを調整してください。(P.2-18)
ERROR 426 クリダシ イジヨウ	繰出テンションバーに異常が発生した。 <ul style="list-style-type: none"> テンションバーが最下点制御位置を一定時間外れた 	<ul style="list-style-type: none"> メディアが終了していないか確認してください。 メディアのセット状態を確認してください。 マニュアルSWでメディアを巻き取れることを確認してください。また、テンションバーが上がることを確認してください。上がらない場合は、カウンターウェイトを調整してください。(P.2-18)
ERROR 42A クリダシ LIMIT ケンシュツ	繰出テンションバーのLIMIT 位置を検出した。 <ul style="list-style-type: none"> テンションバーが最上点制御位置を一定時間外れた。 	<ul style="list-style-type: none"> メディアのセット状態を確認してください。 マニュアルSWでメディアを巻き取れることを確認してください。また、テンションバーが上がることを確認してください。上がらない場合は、カウンターウェイトを調整してください。(P.2-18)

表示	原因	対処方法
ERROR 44f マキトリ ロール センサ イジヨウ	巻取りユニット巻軸センサ異常 ・巻軸センサを正しく読めない。	<ul style="list-style-type: none"> マシンの設定の巻取ユニットと巻取テンションバーの設定が“ON”になっていることを確認してください。(P.2-4) メディアのセット状態を確認してください。 マニュアルSWで巻取装置が動作することを確認してください。
ERROR 450 クリダシ ロール センサ イジヨウ	繰出しユニット巻軸センサ異常 (巻軸センサを正しく読めない)	<ul style="list-style-type: none"> マシンの設定の繰出しユニットの設定が“ON”になっていることを確認してください。 メディアのセット状態を確認してください。 マニュアルSWで繰出し装置が動作することを確認してください。
ERROR 459 GRIPORG ミケンシュツ	補正ユニットのグリップ部の原点が検出できない。	<ul style="list-style-type: none"> [設定]-[ベルト補正]の設定が“ON”になっていることを確認してください。 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 472 ヘンイセンサーゲンテン	補正ユニットの変位センサ部の原点が検出できない。	
ERROR 473 グリップスベリ	フィード時、補正ユニットのグリップ部の原点がオフしない。あるいは変位センサが反応しない。	<ul style="list-style-type: none"> 搬送ベルトの右端に付着した地張り剤を清掃してください。 ベルト補正ユニットのグリップゴムに付着した地張り剤を清掃してください。(P.4-3「ベルト補正ユニットの清掃」) 頻発するときは、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 475 ベルトホセイエラー	ベルト補正ユニットの変位センサの値が正しくない。	
ERROR 46d 洗浄ユニット原点	洗浄ユニットの原点が検出できない。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 46f 引き剥がしセンサー	引き剥がしセンサ(たるみセンサ)の検出に失敗した。	<ul style="list-style-type: none"> 手でメディアを巻き取り、引き剥がしセンサ上にメディアがない状態にしてください。 巻取りモーターの回転方向スイッチが正しいか確認してください。 再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 470 引き剥がし異常	引き剥がし動作中エラー(センサ ON / OFF 連続検出)	<ul style="list-style-type: none"> メディアが左右均等に引き剥がせているか確認してください。 巻取りモーターの回転方向スイッチが正しいか確認してください。 手でメディアを引き剥がし、巻取りスイッチで巻き取ってください。
ERROR 471 メディア巻込み	引き剥がしセンサ EM(最下センサ)検出	<ul style="list-style-type: none"> メディアが洗浄ユニット付近まで巻き込まれていないか確認してください。 巻取りモーターの回転方向スイッチが正しいか確認してください。 手でメディアを引き剥がし、巻取りスイッチで巻き取ってください。
ERROR 509 HDC POSCNT	位置制御に異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 50a Y ゲンテン ケンシュツ	Y 原点検出(初期化動作)に異常が発生した。	
ERROR 50f L-SCALE BLACK	リニアスケール異常が発生した。	
ERROR 505 メディア ジャム	メディア詰まりが発生した。	<ul style="list-style-type: none"> メディアを取り除き、再セットしてください。 カバーを開け、キャリッジの移動に障害のあるものがないか確認してください。

表示	原因	対処方法
ERROR 528 ポンプモーター センサ	ポンプセンサ検出エラー	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 52f キャリッジ 原点 未設定	キャリッジの制御原点位置設定が行われていない。	
ERROR 530 ステーション 原点 未設定	ステーションの制御原点位置設定が行われていない。	
ERROR 536 ステーションロック	ステーションの動作異常を検出した。	
ERROR 537 洗浄液シャッター	メンテナンス液シャッターの動作異常を検出した。	
ERROR 53e 洗浄水フル	ベルト洗浄トレイ内の水が満杯になった。	<ul style="list-style-type: none"> 洗浄水の流入量を調整してください。 洗浄水排出経路が詰まっていないか確認してください。
ERROR 53f 洗浄水確認	ベルト洗浄トレイ内の水が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ベルト洗浄トレイ内に水を追加してください。
ERROR 602 カートリッジ エンド	インクエンド（使用不可、4色セットでクリーニング時のみ使用可）	<ul style="list-style-type: none"> 新しいインクに交換してください。
ERROR 608 インク IC イジョウ	インクパックの IC チップが正常に読めない。	<ul style="list-style-type: none"> カートリッジが正しく挿入されているか確認してください。 カートリッジを挿入しなおしてください。 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 627 カートリッジ セット	カートリッジがセットされていない。（一定時間以上セットされていない）	<ul style="list-style-type: none"> カートリッジをセットしてください。 カートリッジが正しく挿入されているか確認してください。
ERROR 628 カートリッジ イジョウ	インクパックの IC チップの情報に異常が生じた。 使用量が規定値を超えている。	<ul style="list-style-type: none"> MBIS・BS インク使用の場合。IC チップを交換してください。（パック交換と共にチップも必ず交換してください。） 共通 ノズル詰まりがないことを確認してください。（特にホワイトインク）
ERROR 650 NCU セツゾク イジョウ	NCU のユニットが接続されていない。 ノズルチェック機能が使用できない。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 651 NCU コウカン	NCU のセンサ感度が低く、正常にノズル抜けを判定できない。 ノズルチェック機能が使用できない。	<ul style="list-style-type: none"> NCU の交換が必要です。 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 652 NCU ケンシュツエラー (HW)	ノズル抜け、飛行曲がりが多発していて、NCU がインクの吐出を正常に認識できない。	<ul style="list-style-type: none"> ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲がりが多い場合はクリーニングを実施し回復させてください。
ERROR 653 NCU ケンシュツエラー (マーク)		
ERROR 654 NCU センターイチケンシュツエラー	NCU への吐出位置の調整に失敗した。	
ERROR 655 NCU トシュツイチケンシュツエラー		

表示	原因	対処方法
ERROR 656 NCU SN チョウセイエラー	センサの感度調整に失敗した。	<ul style="list-style-type: none"> ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲がりが多い場合はクリーニングを実施し回復させてください。 ノズル状態を回復しても、再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 657 NCU インクキュウシュウザイ コウカン	NCU のインク吸収剤が満杯になった。	<ul style="list-style-type: none"> NCU のインク吸収材交換が必要です。販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 658 NCU センサー カンド テイカ	NCU のセンサ感度が低下してきている。	<ul style="list-style-type: none"> NCU の交換をお勧めします。販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 65b NCU カンドチョウセイエラーH	センサの感度を調整できない。	
ERROR 65c NCU カンドチョウセイエラーL		
ERROR 901 ジッコウ デキマセン	何らかのエラーにより、機能が実行できない。	<ul style="list-style-type: none"> カバーを閉めてから実行してください。 メディアを検出してから実行してください。 インクエラーを解消してから実行してください。
ERROR 902 ミサクズ データ アリ	プリントデータが残っている。	<ul style="list-style-type: none"> データクリアを行ってから、実行してください。
ERROR 90d ヘッド センタク ナシ	搭載ヘッドに異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 90f プリント エリア フソク	プリントに必要なメディア幅またはメディア長さが足りない。	<ul style="list-style-type: none"> メディア幅の広い、またはメディア長さが十分なメディアに交換してください。 原点移動によりメディア幅が狭くなっている場合、原点を右にずらして有効メディア幅を広げてください。
ERROR 04 PARAM ROM	メイン基板に異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 91a ヘッド高さ 調整	マシンに保存されているヘッド高さ設定値と現在のヘッド高さの違いがある。	<ul style="list-style-type: none"> ヘッド高さの設定を行ってください。(P.2-5)

表示	原因	対処方法
ERROR D01 HCB POWER [1234]	HCB 基板の電源に異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR D02 HCB COMMON [1234]	HCB 基板の異常を検出した。	
ERROR D03 HCB HARD [1234]		
ERROR D04 HCB CMD [1234]	HCB 基板の通信に異常が発生した。	
ERROR D05 HCB WFM [1234]	印字している吐出波形の異常を検出した。	
ERROR D06 HCB VUP [1234]	HCB 基板のバージョンアップ失敗を検出した。	
ERROR D07 HCB FAN [1234]	HCB 基板のファンに異常が発生した。	
ERROR D08 HCB UKNWN [1234]	HCB 基板より未定義エラーを検出した。	
ERROR D09 HD MEMORY [1234]	ヘッド内蔵メモリーに異常を検出した。	
ERROR D0A HCB BUSY [1234]	HCB 基板 - スライダ P 基板間の通信に異常が発生した。	

SYSTEM HALT

表示	対処方法
SYSTEM HALT (*) 000 : メッセージ	<ul style="list-style-type: none">一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。再度表示する場合は番号を確認の上、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。(“000” はエラー No.)
SYSTEM HALT (*) 406 : WIPER ORG	<ul style="list-style-type: none">ワイパー周辺の清掃をしてください。一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。再度表示する場合は番号を確認の上、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

第6章 付録



この章では ...

本機の仕様一覧表や、機能の一覧表を記載しています。

仕様	6-2
本体仕様	6-2
インク仕様	6-3
インク種によるセットの違いについて	6-4
インクカートリッジのセット順	6-4
お問い合わせシート	6-5

仕様

本体仕様

項目		Tx300P-1800B
プリントヘッド部	方式	オンデマンドピエゾヘッド
	仕様	4ヘッドインライン
プリントモード (スキャンxフィールド)		540×360dpi/ 540×540dpi/ 540×720dpi/ 720×720dpi/ 720×1080dpi/ 720×1440dpi ^{*1}
使用可能インク		昇華転写インク :Sb420、昇華転写インク :Sb421、捺染顔料インク :TP400、分散染料インク :Dd400、酸性染料インク :Ac400、反応染料インク :Rc400、 Rc500
インク供給		インクパックからのチューブ供給 インクパック交換方式 : 2パック/1色によるトグル切換供給 (4色時 /6色時 :M, BI)
インク容量	4色	Y, M, BI, K (Sb420) : 2L インクパック各色 2本
		Y, M, BI, K (Sb421) : 2L インクパック各色 2本
		Y, M, C, K (TP400) : 2L インクパック各色 2本
	6色	Y, K, LBI, Lm : 2L インクパック各色 1本 M, BI : 2L インクパック各色 2本
		M, R, BI, C, Y, Lk : 2L インクパック各色 1本 K : 2L インクパック 2本
	8色	M, R, C, Gr, Y, K, V, P (Dd400) : 2L インクパック各色 1本
		M, R, BI, C, Y, Or, K, Lk (Ac400) : 2L インクパック各色 1本
		M, R, BI, C, Y, Or, K, Lk (Rc400) : 2L インクパック各色 1本
		M, R, BI, C, Y, Or, K, Lk (Rc500) : 2L インクパック各色 1本
	4+4色	Y, M, BI, K (Sb420) : 2L インクパック各色 1本 Y, M, C, K (TP400) : 2L インクパック各色 1本
Y, M, BI, K (Sb421) : 2L インクパック各色 1本 Y, M, C, K (TP400) : 2L インクパック各色 1本		
使用可能メディア		綿、絹、ポリエステルなど
最大プリント範囲		1880mm
ロールメディア サイズ	最大幅	1900mm
	最小幅	210mm
	厚さ	1.0mm 以下
	ロール外径 ^{*2}	Φ250mm 以下
	ロール重量 ^{*1,*3}	40kg 以下 (2~3インチ紙管) 34kg 以下 (1~1.5インチ紙管)
	紙管内径	1~1.5インチ, 2~3インチ
	プリント面	内巻き / 外巻き不問
	巻終わり処理	紙管にテープ止め、または弱粘着
リーフメディア サイズ	最大幅	1900mm
	最小幅	210mm
プリントマージン	リーフメディア	左右 : 20.0 mm (デフォルト値) 前 : 120 mm 後 : 150 mm
	ロールメディア	左右 : 20.0 mm (デフォルト値) 前 : 140 mm 後 : 170 mm
距離精度	絶対精度	± 0.3 mm または指定距離の ± 0.3 % の大きい方
	再現性	± 0.2 mm または指定距離の ± 0.1 % の大きい方
直角度		± 0.5 mm / 1000 mm
メディアスキュー		5 mm 以下 / 10 m
ヘッド高さ調整		2~7mm まで、手動無制限調整
排紙		ロール巻取装置標準 (内巻き / 外巻き 切り替え可能)
廃インクタンク		ボトル式 (2000 cc)
インターフェイス	印刷データ 転送機能	USB 2.0、Ethernet 1000BASE-T
	メール機能	Ethernet 10 BASE-T / 100 BASE-TX / 1000BASE-T
コマンド		MRL- IV

項目		Tx300P-1800B
騒音	待機時	58 dB 以下 (FAST-A, 前後左右 1m)
	動作連続音	65 dB 以下
	動作不連続音	70 dB 以下
適合規格		VCCI-classA, FCC ClassA, CE マーキング (EMC 指令、機械指令、RoHS 指令、低電圧指令), CB レポート, RoHS 対応
電源仕様		本体: AC100 ~ 120/ 200 ~ 240V 12A/8A 50/60Hz
消費電力		本体: 1440W (AC100 - 120V), 1920W (AC 200 ~ 240V 時)
設置環境	使用可能温度	20 °C ~ 30 °C
	相対湿度	35 ~ 65% Rh (結露なきこと)
	精度保証温度	20 °C ~ 25 °C
	温度勾配	±10 °C / h 以下
	粉塵	オフィス相当
	最高動作高度	2000 m
重量		627kg
外形寸法	幅	3183mm
	奥行き	1912mm
	高さ	1844mm

*1. お使いになるインク種により、プリント可能なプリントモードは異なる。

*2. メディア巻き取り後の外形および重量

*3. ただしロールの左右を保持したとき、ロールがたわまないこと。

インク仕様

項目	昇華転写インク Sb420	昇華転写インク Sb421	捺染顔料インク TP400	分散染料インク Dd400	酸性染料インク Ac400	反応染料インク Rc400	反応染料インク Rc500
形態	2L インクパック						
色	ブラック (K) ブルー (Bl) マゼンタ (M) イエロー (Y) ライトブルー (LBl) ライトマゼンタ (Lm)		ブラック (K) シアン (C) マゼンタ (M) イエロー (Y) レッド (R) ブルー (Bl) ライトブラック (Lk)	ブラック (K) シアン (C) マゼンタ (M) イエロー (Y) レッド (R) グレー (Gr) バイオレット (V) ピンク (P)		ブラック (K) シアン (C) ブルー (Bl) マゼンタ (M) イエロー (Y) オレンジ (Or) レッド (R) ライトブラック (Lk)	
インク容量	2L						
有効期限	有効期限は、インクパックに記載されている通り。 ただし、開封後は有効期限内であっても3ヶ月以内。						
保存温度	保存時	10 ~ 35 °C (1日の平均気温) ・容器は密閉した状態で保管すること。 ・乾燥した換気の良い冷暗所に保管すること。					
	輸送時	0 ~ 40 °C ・0 °Cより低温になる場所、40 °Cより高温になる場所は避けること。					

重要!

- ・インクパックや2Lエコケースを分解したり、インクを詰め替えないでください。
- ・インクは、寒い場所で長時間放置すると凍結する場合があります。
- ・水性インクをお使いの場合、インクが凍結すると変質して使用できなくなります。インクが凍結しない環境で保管してください。

インク種によるセットの違いについて

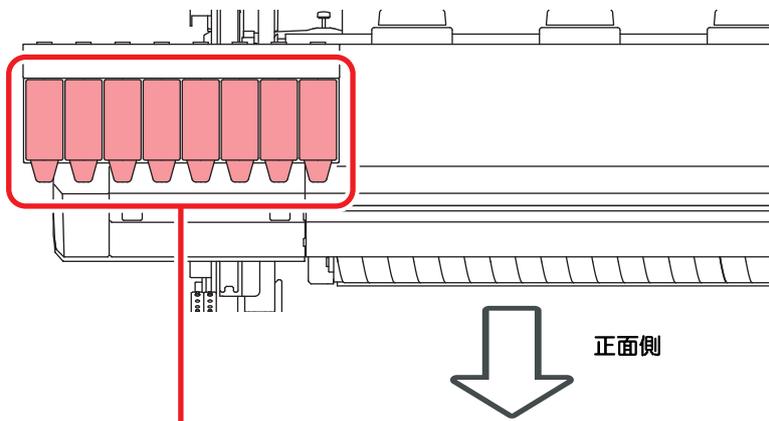
ご使用になるインク種によって、設定値やインクカートリッジのセット順が異なります。

インクカートリッジのセット順

お使いになるインクセットによって、インクステーションにセットするインクカートリッジの順番が異なります。



- ・インクステーション下にあるカートリッジのラベルに合わせ、インクカートリッジをセットしてください。



4色モデル	昇華転写インク：Sb420	M	M	Bl	Bl	Y	Y	K	K
	昇華転写インク：Sb421	M	M	Bl	Bl	Y	Y	K	K
	捺染顔料インク：TP400	M	M	C	C	Y	Y	K	K
6色モデル	昇華転写インク：Sb420	M	M	Bl	Bl	Y	K	LBl	Lm
	昇華転写インク：Sb421	M	M	Bl	Bl	Y	K	LBl	Lm
7色モデル	捺染顔料インク：TP400	M	R	Bl	C	Y	Lk	K	K
8色モデル	分散染料インク：Dd400	M	R	C	Gr	Y	K	V	P
	酸性染料インク：Ac400	M	R	Bl	C	Y	Or	K	Lk
	反応染料インク：Rc400	M	R	Bl	C	Y	Or	K	Lk
	反応染料インク：Rc500	M	R	Bl	C	Y	Or	K	Lk
4+4色モデル	昇華転写インク：Sb420 捺染顔料インク：TP400	Sb420				TP400			
		M	Bl	Y	K	M	C	Y	K
	昇華転写インク：Sb421 捺染顔料インク：TP400	Sb421				TP400			
		M	Bl	Y	K	M	C	Y	K

お問い合わせシート

プリンタの故障、異常動作については、このシートをお使いください。
下記の必要事項をご記入の上、弊社営業所までFAXでお送りください。

御社名	
ご担当者名	
お電話番号	
プリンタ機種名	
お使いのOS	
マシン情報 ^{*1}	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

*1. 「第3章 便利な使い方」の、「情報を表示させる」をご覧ください、必要な情報をご記入ください。(P.3-28)

索引

E

END/POWER キー 2-3

L

LAN ケーブル 1-9
LED ポインタ 2-20

M

MAPS4 機能 (AUTO) を設定する 3-9
MAPS4 機能 (MANUAL) を設定する 3-9
MAPS4 の設定 3-8
MAPS4 機能
MAPS 機能が有効になる条件 3-9

P

PG 着弾調整の設定 3-16

T

Temporary の使い方 3-4

U

USB2.0 インターフェイスケーブル 1-8
USB 2.0 インターフェイスについての
注意事項 1-8

あ

安全インターロック viii
安全にお使いいただくために vi
ご注意とお願い vii
使用上の警告と注意 vi
使用上のご注意 vii
設置上のご注意 viii

い

イベントメール機能 3-20
イベントメール機能を有効にする 3-20
イベントを設定する 3-20
インク交換レポート 3-27
インク充填 4-18
インクバック取り扱い上のご注意 1-13

え

エラーメッセージ 5-8
エラー履歴 3-27

お

オートクリーニングの設定 3-10
オートパワーオフの設定 3-15
オートメンテナンス機能 4-16
クリーニング間隔とタイプ 4-17
チューブ洗浄間隔 4-17
ノズル洗浄を中断する 4-17
リフレッシュ間隔 4-16
お手入れ上のご注意 4-2
お問い合わせシート 6-5
おねがい v

か

加圧ローラーのウェイト調整 2-20
外装のお手入れ 4-2
確認フィードの設定 3-18
各部の名称とはたらきについて 1-4
キャッピングステーション 1-8
キャリッジ 1-8
操作パネル 1-6
装置前面 1-4
装置背面 / 側面 1-5
メディアセンサー 1-7
重ね塗りの設定 3-7
乾燥時間の設定 3-8
乾燥フィードの設定 3-17

き

キーブザーの設定 3-18
キャッピングステーションのメンテナンス 4-6
インク排出路の洗浄 4-9
長期間使用しない場合 4-10
ヘッドノズルの洗浄 4-7
ワイパーとキャップの清掃 4-6

く

クリーニング実行タイミング 3-10
繰出 / 巻取装置について 2-17
繰出 / 巻取ユニットの設定 2-4

け

ケーブルを接続する 1-8
言語の設定 3-17
原点を変更する 2-20
件名を設定する 3-20

こ

故障かな？と思う前に 5-2
インク IC 異常が発生したら 5-3
画質不良が発生したときは 5-3
電源が入らない 5-2
ノズル詰まりを解消したいとき 5-3
プリントできない 5-2
メディアが汚れる 5-2

メディア詰まり	5-2
ご注意	v

さ

サーバーを設定する	3-21
作業の流れ	2-2

し

時刻の設定	3-17
受信障害	v
主電源スイッチ	2-3
仕様	6-2
インク仕様	6-3
本体仕様	6-2
使用環境温度	1-2
使用状況	3-27
使用時間	3-27
スパウトゴム	3-27
廃インクタンク情報	3-27
プリント長情報	3-27
プリント面積情報	3-27
ワイピング情報	3-27
情報メニュー	3-27
情報メニュー一覧表	3-27
情報を表示させる	3-28
消耗品の交換	4-18
初期状態に戻す	3-23

せ

設置場所について	1-2
設定メニュー	3-2
設定メニュー一覧表	3-3

た

単位(温度/長さ)の設定	3-17
--------------	------

ち

直結ユニットを交換する	2-12
-------------	------

つ

使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する	3-4
------------------------	-----

て

データクリア	2-28
データをプリントする	2-27
定期ワイピングの設定	3-11
テストプリント	
テストプリントに関する注意事項	2-24
テストプリントの前に確認してください	2-24
ヘッドの配列とテストパターンとの関係	2-24
テストプリントをする	2-24

テストメールを送信する	3-22
電源ケーブル	1-10
電源を入れる	2-3
電源を切る	2-3
電源を切るときのご注意	2-3
テンションバーを使わずにロールメディアをセットする	2-12, 2-13, 2-14
電波障害自主規制	v

と

登録した内容をリセットする	3-5
ドットの位置がずれたら	2-27, 3-6
トッププロワの設定	3-15
取扱説明書について	v
トルクリミッター	2-17

に

日常のお手入れ	4-2
---------	-----

ぬ

布押さえの調節方法	2-11
布巻きローラ	2-6

ね

ネットワーク経由で印刷を行う	1-9
ネットワークの設定	3-19

の

ノズル洗浄を中断する	4-17
ノズルチェック	
印刷中ノズルチェックの設定	3-26
印刷中ノズルチェックの流れ	3-25
自動ノズルリカバリの設定	3-26
「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生時の印刷動作	3-25
判定条件の設定	3-26
ノズルチェックメニュー	3-24
ノズルチェックメニュー一覧表	3-24
ノズルリカバリ機能	4-14
設定値をリセットする	4-15
テストプリント時にノズルリカバリを有効にするか設定する	4-16
リカバリできない条件を確認する	4-15

は

バージョン	3-27
廃インクタンク確認メッセージ	4-19
廃インクタンクを交換する	4-19
パターンプリント	2-27, 3-6

ひ

引き剥がしセンサの位置調整	2-21
引き剥がしローラーの清掃	4-2
引き剥がしを使いメディアをセットする	2-14
引き剥がしを使わずにメディアをセットする	2-14

ふ

フィード速度の設定	3-8
フィード補正の設定	2-26, 3-5
プリント完了後の動作	2-28
プリント結果	2-24
プリント条件を登録する	3-4
プリント中にメディア送りを補正したいとき	3-6
プリントを開始する	2-27
プリントを中止する	2-28

へ

ヘッドクリーニング	2-26
テストプリントの結果に合わせてヘッド クリーニングを行う	2-26
ヘッドクリーニングについて	2-26
ヘッド周辺の清掃	4-13
ヘッド高さを調整する	2-5
ベルト洗浄ユニットの清掃	4-21
ベルト補正ユニットの清掃	4-3

ほ

補正パターン	3-5
本機の移動	1-2

ま

マーク表示	vi
マシン設定メニュー	3-13
マシン設定メニュー一覧表	3-14
マニュアルメディア幅設定	2-15

め

メールアドレスを設定する	3-20
メッセージを表示するトラブル	5-4
メディア厚さ入力	2-16
メディア検出の設定	3-16
メディア残量入力	2-15
メディア残量表示の設定	3-16
メディア残量プリントについて	2-15
メディア端ガイドをセットする	2-13
メディアについて	1-14
使用可能メディアサイズ	1-14
メディア取り扱い上の注意	1-14
メディアのムダを減らす	2-28
メディアをセットする	2-4
メニューモードについて	1-16
ノットレディモード	1-16
メニューモード	1-16

リモートモード	1-16
ローカルモード	1-16
メンテナンス液	4-2
メンテナンスニュー	4-4
メンテナンスメニュー一覧表	4-5

よ

余白フィード方式の設定	3-18
-------------------	------

り

リスト	3-27
-----------	------

ろ

ロール置き台	1-4
ロールメディアをセットする	2-7, 2-13
ロジカルシークの設定	3-7

わ

ワーニングメッセージ	5-4
インクエラー	5-7
操作を実行したときに表示されるエラー	5-4
ローカルで表示されるメッセージ	5-4
ワイパーを交換する	4-18

Tx300P-1800B 取扱説明書

2021 年 5 月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング
〒 389-0512
長野県東御市滋野乙 2182-3

